

平成29年 7月 24日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 特別の教科 道徳

代表者 呉市立広南小学校

氏名 松浦 祐司

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方の示し方
方法	○オリエンテーションのページの示し方

新	調査・研究内容					
	年	ページ数	オリエンテーションの タイトル	示し方		
東 書	第1学年	全1頁	○ 「どうとくのじか んはね…」	○ 道徳での3つの学習活動をイラストで示して いる。		
	第2 ～ 6学年	全8頁	○ 「これから一年間 で学ぶこと」 ○ 「道徳の学習を進 めるために」	○ 見開きに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ 内容項目と教材名を示している。 ○ 見開きの上段に、道徳の学習の流れを「1気 づく」「2考える話し合う」「3ふり返る見つめ る」「4生かす」の4つで示している。 【例】第3学年 「どうとくは、心について考える時間だよ。思っ たことをすなおに話そう。自分の考えも、友だ ちの考えも、だいじにしよう。」 【例】第5学年 「道徳は、心について考え、自分の心をゆたかに していく時間だよ。思ったことをすなおに話そ う。みんなで話し合っ、考えを深めよう。そ して、自分を見つめよう。」 【例】第6学年 「道徳は、心について考え、自分の心を豊かにし ていく時間だよ。思ったことをすなおに話そ う。みんなで話し合っ、考えを深めよう。そ して、自分をすなおに見つめよう。」 ○ また、下段の左ページ下には、「話し合いの約 束」を示している。		
		内2頁			○ 「道徳の時間が始 まるよ！」	○ 見開きに、道徳での6つの学習活動をイラス トで示している。
		内2頁			○ 「ちょっとみんな で話し合ってみよ う」	○ 見開きに、ショートストーリーを基に、話し 合う視点を示し、自分の考えを書く欄を2箇所 設けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は、1ページに学習活動がイラストで示されている。また、第2学年以上は、計8ページで構成されている。 ・内容項目や教材名、学習の流れや約束、学習活動、ショートストーリーを基に話し合う視点を示し、自分の考えを書くページが見開きで各2ページずつ示されている。 						

学 図	全 学 年	全2ページ	○ 「道徳の学習を始めよう」	○ 見開きに、道徳の学習活動のイラストや吹き出しを使い、考える視点等を示している。 【例】第2学年 「お話を読んで心にのこったこと。先生や友だちと話して考えたこと。そんなことを思いうかべながら、今までの自分をふりかえったり、これからの自分を見つめたりしよう。生きていく上で大切なことや、自分のよりよい生きかたを見つけていこう。」 【例】第4学年 「お話を読んで思ったこと感じたこと、考えたことなどを、先生や友達と伝え合ったり、話し合ったりして、さらに広く、深く、自分のものにしよう。これまでの自分をふり返り、そして、これからの自分を見つめよう。生きていくうえで大切なことを考え、自分の生き方に生かしていこう。」 【例】第6学年 「教材を通して、自分の心を見つめてみよう。そのときに思ったことや感じたこと、考えたことを、先生や友達と話し合おう。そして、いろいろなものの見方や考え方と出会い、自分の考えをさらに広く深いものにしよう。よりよく生きるために、自分の中に『生きる軸』を築こう。」
		教科書「活動」全2ページ		○ 教科書「活動」では、見開きに、教科書「読みもの」と教科書「活動」の2冊の授業での使い方を示している。 【例】第6学年 「『活動』には、考えを深めていくための発問が用意してあります。みんなで考えを出し合いながら、新しい自分を見つけましょう。」
<p>・教科書「読みもの」では、全学年とも見開き2ページで構成されており、考える視点等がイラストや吹き出し等で示されている。</p> <p>・教科書「活動」では、全学年とも見開き2ページで構成されており、教科書「読みもの」と教科書「活動」の使い方が示されている。</p>				
教 出	第1学年	全2ページ 内1ページ	○ 「どうとくのがくしゅうがはじまるよ」	○ 今の自分について書く欄（6項目）と、「がんばりたいこと」を書く欄を設けている。 ○ 道徳の学習では、どのような学びをするのかについて示している。 【例】第1・2学年 「どうとくでは、みなさんがたいせつにしているきもちやかんがえをはっぴょうし、ともだちのかんがえをきいたり、しつもんしたりしながら、はなしあいをします。」

教出	第2～6学年	全2ページ 内1ページ	<p>○ 「〇年生の道徳の学習が始まるよ」</p> <p>○ 今の自分について書く欄（6項目）と、第2～4学年は「目標とがんばりたいこと」、第5・6学年は「なりたい自分の姿と、そのためのほしいところ」を書く欄を設けている。</p> <p>○ 道徳の学習では、どのような学びをするのかについて示している。</p> <p>【例】第2学年 「どうとくでは、みなさんが大切にしている気持ちや考えをはっぴようし、友だちの考えを聞いたり、しつもんしたりしながら、話し合いをします。」</p> <p>【例】第4学年 「どうとくでは、みなさんがすすんでどうとく的なおこないができるように、気持ちや思いを発表し、友達の考えを聞いたり、しつもんしたりしながら、話し合いをします。」</p> <p>【例】第6学年 「道徳では、みなさんのまわりのさまざまな問題について、自分の思いや考えを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」</p>
	<p>・全学年とも、見開き2ページで構成されている。右ページには「今の自分について」及び目標等を書き込む欄があり、左ページには道徳の学習ではどのような学びをするかについて示されている。</p>		
光村	第1学年	なし	
	第2～6学年	全2ページ	<p>○ 見開きに、「話し合って考えよう」「演じて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」という4つの学習活動について、イラストや吹き出しを使い、考える視点などを示している。</p> <p>【例】第4学年 「どうとくの時間は、今よりももっとよい生き方ができるよう、考えていく時間です。」 「考えたことを、毎日の生活の中で生かしていこう。」</p> <p>【例】第6学年 「道徳の時間は、『自分の心にある考え』を、見つけて、語り合って、よりよい生き方を探していく時間です。」 「考えたことを、毎日の生活の中で生かしていこう。」</p>
<p>・第1学年には、オリエンテーションのページはない。第2学年以上は、見開き2ページで構成されており、学習活動や考える視点等がイラストや吹き出しで示されている。</p>			

日 文	全 学 年	全4ページ 内2ページ	○ 「道徳のとびら」	○ 見開きに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示している。また、第2学年以上は、例題を基に、道徳の意義について示している。 【例】全学年 『道徳』ってどんなことを学習するの？ 『道徳』では、よりよく生きるためにたいせつなことについてみんなで考えるよ。
		内2ページ	○ 「道徳の学び方」	○ 見開き上段に、イラストや写真を使い、道徳の学びを「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の3つで示している。 ○ 見開き下段に、写真や吹き出しを使い、学習活動を「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう（第1学年は『かんがえたことをノートにかいてみてもいいね。』）」の3つで示している。 【例】全学年 「よりよく生きるためにたいせつなことについて、どのように考えればいいのか。」
		別冊 全1ページ	○ 「道徳ノートのとびら」 ○ 「自分のことを書いてみよう」	○ 4つの視点ごとに内容項目を記載し、特に学びたいものに印をつける欄を設けている。 【例】全学年 「よりよく生きるためにたいせつなことの中で、あなたはとくにどれを学びたいのかな。」 ○ 自分のこと（5項目）について、書く欄を設けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも計4ページで構成されている。視点ごとの1年間に学ぶ内容項目、学習の流れや学習活動が、イラストや写真、吹き出し等を使って、それぞれ見開き2ページで示されている。 ・別冊ノートでは、全学年とも、自分の学びたいことや自分のことについて書き込むページが1ページずつ設けられている。 				

光 文	全 学 年	全8 内2	○ 「さあ、道徳の学 習が始まります」	○ 見開きに、4つの視点ごとに、道徳の時間で 学ぶ内容を示している。 【例】第2学年 「どうとくのがくしゅうでは、こんなことをかん がえます。」 【例】第6学年 「六年生の道徳では、次のようなことについて考 えます。道徳の学習を通して、どんな自分にな りたいか、考えてみましょう。」
		内2	○ 「道徳の時間は、 こんな時間です」	○ 見開きに、イラストや吹き出しを使い、道徳 の学び方を「問いをもつ（第1・2学年では 『といを見つける』）」「考える」「話し合う」「ま とめる」の4つの流れ及び「やってみる」で示 している。 【例】第2学年 「どうとくのかんでは、みんなとはなしあい、 よくかんがえましょう。」 【例】第6学年 「道徳の時間では、クラスみんなで考え、話し 合う中で、考えを広げたり、深めたりしていく ことが大切です。」
		内2	○ 「いろいろな場面 で……」 ○ 「あなたは、どん な自分になりたいで すか」	○ 見開きに、イラストや吹き出しを使い、道徳 で学んだことが生活に生かされる流れを示して いる。 【例】第2学年 「せいかつの中でも、かんがえたりやってみたり しましょう。」 【例】第6学年 「道徳の時間だけではなく、生活の中でも、問い について考えたり、考えたことを実行してみた りしましょう。そこで、どんなことに気づくで しょうか。」
		内2	○ 「この本の使い 方」	○ 見開きに、教科書の使い方や道徳のノートの 例を示している。
		<p>・全学年とも8ページで構成されている。視点ごとの学ぶ内容、学習の流れや方法、道徳の時間以外の活動との関連を促すページ、教科書の使い方が、イラストや吹き出し等を使って、それぞれ見開き2ページで示されている。</p>		

学研	全学年	全4ページ 内1ページ	○ 「道徳の学習が始まるよ」	○ イラストや吹き出しを使って学習活動を示し、第4学年は、「道徳の学習でがんばりたいこと」、第5・6学年は、「道徳でがんばりたいこと」について書く欄を設けている。 【例】第2学年 「話し合ったり、えんぎしたり、書いたりして考えるよ。」 「しぜんやどうぶつ、いのちのことを考えるよ。」 「自分や友だちのことを考えるよ。」 【例】第4学年 「みんなの考えをよく聞いて、自分の考えをもっとふくらませよう。」 「少ない人数で話し合ってみよう。」 「自分の意見を表現してみよう。」 「書く活動を通して、自分の心の中に語りかけてみよう。」 【例】第5・6学年 「いろいろな生き方についてみんなで考えよう」 「語り合い、考えを練ろう」 「学んだことをまとめよう」
		内1ページ 内2ページ	○ 「自分のことを書いてみよう」 第1・2学年 ○ 「ゆたかな心をつたえよう」 第3・4学年 ○ 「大きな心を育てよう」 第5・6学年 ○ 「心をきたえ自分らしくかがやこう」	○ 自分のこと（6～11項目）について書く欄を設けている。 ○ 見開きに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。
<p>・全学年とも4ページで構成されている。最初の見開き2ページには、右ページに学習活動をイラストや説明で示し、左ページに自分のことについて書き込む欄が設けられている。次の見開き2ページには、4つの視点ごとに1年間に学ぶ内容項目と教材名が示されている。</p>				
廣あかつき	第1学年 第2～6学年	全1ページ	○ 「どうとくのじかんがはじまるよ」	○ 子どもの写真2枚とイラストと共に、道徳の時間の意義について示している。 【例】 「どうとくのじかんはえやしんをみたりはなしをよんだりしてかんじたことやかんがえたことをともだちとはなしあうたのしいじかんです。」
		全3ページ 内1ページ	○ 「道徳の時間はこんな時間」	○ 子どもの写真2枚とイラストと共に、道徳の時間の意義について示している。 【例】第2学年 「どうとくの時間は自分の心をしっかりとそだてる楽しい時間です。」 【例】第3学年 「どうとくの時間は、新しい自分に出会うことができる楽しい時間です。」 【例】第4学年 「どうとくの時間はあなたの心の成長をおうえんする時間です。」 【例】第5学年 「道徳の時間はこれからのあなたを支える時間です。」 【例】第6学年

廣あかつき

	<p>内2頁</p>		<p>「道徳の時間はあなたの未来を照らす時間です。」 ○ 見開き2ページに、道徳の学習について、6つの学習活動で示している。 【例】第2学年 「自分のかんじたことや考えたことをつたえましょう」 「ともだちのはっぴょうをよく聞きましょう」 「いろいろな答えがあります」 「みんなで考えて話し合しましょう」 「自分を見つめましょう」 『『どうとくノート』』に書きましょう」 【例】第3学年 「自分で感じ、考えて、自分の意見をつたえましょう」 「友だちの意見をよく聞きましょう」 「いろいろな答えがあります」 「みんなで考え、話し合しましょう」 「自分を見つめましょう」 『『どうとくノート』』に書きましょう」 【例】第4学年 「自分で感じ、考えて、自分の意見を伝えましょう」 「他の人の意見をよく聞きましょう」 「いろいろな答えがあります」 「みんなで考え、話し合しましょう」 「自分を見つめ、考えましょう」 『『どうとくノート』』に書きましょう」 【例】第5・6学年 「自分で感じ、考えたことを伝え、他の人の意見をよく聞きましょう」 「さまざまな答えがあります」 「すばらしさや問題点を見つけ、考えましょう」 「みんなで考え、話し合しましょう」 「自分を見つめ、考えましょう」 『『道徳ノート』』に書きましょう」</p>
<p>全学年</p>	<p>別冊全1頁</p>	<p>○ 「今の自分を見つめて」</p>	<p>○ 今の自分について書く欄を設けている。(6～8項目)</p>
<p>・全学年とも、道徳の時間の意義について示されたページが1ページ、それに加えて、第2学年以上では、道徳の学習活動が見開き2ページで示されている。 ・別冊ノートの1ページ目に、今の自分を見つめて書き込むページが設けられている。</p>			

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	基礎・基本の定着
視点	②主題名の示し方
方法	○教材ごとの主題の記載の仕方及び具体例

著書	調査・研究内容		
	主題の記載の仕方	具体例	
		教材名	主題名
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目を扱う教材は、同じ主題名を示している。 ○ 教材名のすぐ右横に示している。 ○ 色別の4つの視点のマークの下に示している。 	「はしの うえの おお かみ」 「七つの ほし」 「花さき山」 「雨のバスていりゅう所 で」 「手品師」	「しんせつ」 「うつくしいもの」 「美しいもの、気高いも の」 「やくそくやきまり」 「せいじつに明るいい心 で」
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名のすぐ右横に示している。 ○ 色別の4つの視点の枠内に、マーク、内容項目の文字及び教材番号の下に示している。 	「はしの 上の おおか み」 「七つの星」 「花さき山」 「雨のバスていりゅう所 で」 「手品師」	「しんせつな ころろ で」 「うつくしいものをか んじて」 「心にさく花」 「みんなが気持ちよく」 「せいじつな生き方と は」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目を扱う教材は、同じ主題名を示している。 ○ 同じ内容項目の教材を続けて扱う場合、先に扱う教材の本文右側に、帯状に色付けた部分があり、その中に主題名を示している。 ○ 色別の4つの視点の枠内に、マークの上に示している。 ○ 見開きで示された本文の左ページの左上にも横書き文字で示している。 	「はしの 上の おおか み」 「七つの ほし」 「花さき山」 「雨のバス停りゅう所で」 「手品師」	「あたたかい ころろ で」 「すがすがしい ころ ろ」 「美しいものにふれて」 「社会のきまりを守っ て」 「誠実に明るいい心で」
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 4つの視点のマークの下に学習のまとまりごとの色で、教材名と比べると小さな文字で示している。 	「はしの うえの おお かみ」 「ひしゃくぼし」 「花さき山」 「雨のバス停留所で」 「手品師」	「あいてに しんせつ に」 「うつくしい ころろ」 「人の心の美しさ」 「きまりは何のために」 「自分の心に誠実に」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名の右横に示している。 ○ 4つの視点のマークの下に視点ごとの色で色付けた枠を設け、中心部に教材名、その右隣に主題名を示している。 	「はしの うえの おお かみ」 「七つの 星」 「花さき山」 「雨のバスていりゅう所 で」 「手品師」	「しんせつは いい きもち」 「うつくしい 心」 「よさの花をさかせよ う」 「みんなが気持ちよく」 「明るく生きる」

光文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名の右横に、視点のマークと同系色の色で色付けした部分があり、その中に視点のマーク、マークの下に主題名を示している。 	「はしの うえの おお かみ」 「ひしゃくぼし」 「花さき山」 「雨のバスていりゅう所 で」 「手品師」	「やさしい ところ」 「うつくしい ところ」 「心のうつくしさ」 「社会のきまり」 「誠実に生きる」								
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目を扱う教材は、同じ主題名を示している。 ○ 教材文には、主題名は示していない。 ○ 巻頭の見開き2ページの中で、主題ごとに教材名をまとめ、示している。 <table border="1" data-bbox="288 622 711 824"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>見開きページのタイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・2</td> <td>ゆたかなところ (第2学年は「心」) をそだてよう</td> </tr> <tr> <td>3・4</td> <td>大きな心を育てよう</td> </tr> <tr> <td>5・6</td> <td>心をきたえ自分らしくかがやこう</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色別の4つの視点のマークと文字で示している。 	学年	見開きページのタイトル	1・2	ゆたかなところ (第2学年は「心」) をそだてよう	3・4	大きな心を育てよう	5・6	心をきたえ自分らしくかがやこう	「はしの 上の おおか み」 「七つぼし」 「花さき山」 「雨のバス停留所で」 「手品師」	「おもいやり」 「きれい ふしぎ」 「美しいものにふれよう」 「決まりやマナーを守ろう」 「誠実に生きる」
学年	見開きページのタイトル										
1・2	ゆたかなところ (第2学年は「心」) をそだてよう										
3・4	大きな心を育てよう										
5・6	心をきたえ自分らしくかがやこう										
廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名のすぐ右横に示している。 ○ 4つの視点ごとに色でラインが引かれ、その中に主題名を示している。 	「はしの 上の おおか み」 「七つの ほし」 「花さき山」 「雨のバス停りゅう所で」 「手品師」	「あいての ことを かんがえて」 「うつくしい ものに ふれて」 「おらの花がさいている」 「いつもとちがう母の 顔」 「大切なもの」								

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	基礎・基本の定着
視点	③ねらいに迫るための発問の示し方
方法	○発問の記載箇所や数、具体例

発行者	調査・研究内容		
	発問の記載箇所	数	具体例
東書	【第1・2学年】 ○ 冒頭の教材名の下	1	○ キャラクター「こころん」と共に記載している。 【第1学年】「かぼちやの つる」 ・だれかが わがままを いうと、まわりの ひとは どう かんじますか。
	【第3～6学年】 ○ 教材文の終わり	2	○ キャラクター「こころん」と共に記載している。 【第4学年】「花さき山」 ・花さき山にさく一面の花を見て、あやはどんな気持ちになったのでしょうか。 ・人の心の美しさを感じたことがありますか。それは、どんなことですか。 【第6学年】「手品師」 ・たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師の気持ちを書いて、話し合ってみましょう。 ・あなたは、そうしたほうがよいと思ったことを行動に移せたことはありますか。
学図	【全学年】 ○ 教科書「活動」の中	2 3	○ 「やってみようアクティブ」「かんがえよう」「みつめようアクティブ」等のマークと共に記載している。 【第1学年】「かぼちやの つる」 ・みんなから ちゅういされたとき、かぼちやは どんな ふうに おもって いたのでしょうか。 ・つるを きられたかぼちやは、なきながら どんな ことをおもったのでしょうか。 ・やりすぎて しまって こうかいした ことや、がまんしてよかった ことを はっぴょうしましょう。 【第3学年】「花さき山」 ・「おらの花がさいてるな。」と思うあやは、どんな気持ちでいるのでしょうか。 ・「美しい心」とは、どんな心でしょうか。 【第5学年】「手品師」 ・「手品師」になったつもりで「男の子」と「友人」の間に立って二人と話し、手品師の心の様子を考えましょう。 ・友人のさそいを断り、男の子の前で手品を演じている時の手品師の気持ちは、どんなだったのでしょうか。 ・自分自身にせいじつに行動して、気持ちがよいと思ったことについて話し合ってみましょう。

教出	<p>【全学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の教材名の左横 ○ 教材文の終わり 	2 8	<p>○ 続けて同じ内容項目を扱う場合は、その中で最初に掲載されている教材の主題名左横に記載している。</p> <p>○ 教材文の終わりの「学びの手引き」に記載している。</p> <p>【第1学年】「かぼちゃの つる」 〈まなびのてびき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつばちに ちゅういされた とき、かぼちゃは どんな きもちだったでしょう。 ・こいぬに ふまれた とき、かぼちゃは どんな きもちだったでしょう。 ・ぼろぼろ ぼろぼろ なみだを ながした とき、かぼちゃは どんな きもちだったでしょう。 ・かぼちゃが した ことの、こまった ところは どこでしょう。 ・どう すれば よかったか、かぼちゃに おしえてあげましょう。 ・かぼちゃから どんな ことを まなびましたか。みんなではなしあってみましょう。 <p>【第3学年】「花さき山」 〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんは、人の心の美しさに感動したことはありますか。美しいものに感動するのはなぜか、考えてみましょう。 <p>〈学びの手引き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がさかせた花を見て、あやはどう思ったでしょう。 ・花さき山一面に花がさいたわけを知って、あやはどう思ったでしょう。 ・花さき山に花をさかせられる人はどんな人でしょう。みんなで話し合ってみましょう。 ・どうして、人は美しいものに感動するのでしょうか。自分の考えをまとめてみましょう。 <p>【第6学年】「手品師」 〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんは誠実に明るいい心で過ごしていますか。誠実に生きるとはどのようなことでしょうか。 <p>〈学びの手引き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人からステージへの出演の電話を受けたとき手品師はどのようなことを考えていたでしょう。 ・手品師はどうして男の子のところへいったのでしょうか。話し合ってみましょう。 ・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。 ・誠実に生きるとは、どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。
光村	<p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わり 	2 3	<p>○ 「かんがえよう」のコーナーに、めあてと共に記載している。</p> <p>【第1学年】「かぼちゃの つる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃが みんなの いう ことを きかなかったのは、どうしてでしょう。 ・ぼろぼろ なみだを こぼして ないた とき、かぼちゃは どんな ことを かんがえたでしょう。 ・かぼちゃが つるを のばす とき、どんな ことを かんがえれば よかったのでしょうか。

<p style="text-align: center;">光村</p>	<p>【第2～6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の主題名の下 ○ 教材文の終わり 	<p style="text-align: center;">4 5 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭のキャラクター「こころん」の吹き出しの中に記載している。 ○ 「考えよう」のコーナーに、めあてと共に記載している。 ○ 「つなげよう」のコーナーのキャラクター「きらりん」の吹き出しの中に、記載している。 <p>【第4学年】「花さき山」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花さき山って、どんな山なんだろう。 <p>〈考えよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この話を読んで、どんなところに心を動かされましたか。 ・「この赤い花は、どんな祭り着の花もようよりも、きれいだべ。」と言われて、あやはどんなことを思ったでしょう。 ・この話に出てくる人の中から、一人を選んで、その人に手紙を書いてみましょう。 <p>〈つなげよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このお話を読んで感じたことを、家族に伝えよう。 <p>【第6学年】「手品師」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれかと約束したのに守れなかったことって、ある？ <p>〈考えよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人の「いい話」を聞きながら、手品師は、どんなことを思っていたでしょう。 ・手品師は、どんな思いから、たった一人のお客様の前で手品をするを選んだのでしょうか。 ・「誠実に生きる」とは、どんな生き方でしょう。 <p>〈つなげよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実さって、どうして大切なんだろう。
---------------------------------------	---	--	---

目 文	<p>【全学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の主題名の下 ○ 教材文の終わり ○ 別冊「道徳ノート」の中 	3 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭のキャラクター「ココロウ」と共に記載している。 ○ 「学習の手引き」にキャラクター「ココロウ」と共に記載している。また、イラストや、児童二人が会話する写真と共に記載している。 ○ 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」として、キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」の吹き出しの中に記載している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、教材文の終わりに記載している発問と同じ発問を記載している。(文末を少し変えて記載している発問もある。) <p>【第1学年】「かぼちやの つる」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わがままですよ。」と ちゅういされるのは、どんな ときですか。 <p>〈かんがえて みよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぼちやは、ぼろぼろ なみだをこぼしながら、どんな ことをおもったのだろう。 <p>〈みつめよう いかそう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわりの 人の ちゅういを きいて、がまんする ことができたときの ことを、おもいだして みよう。 <p>【第4学年】「花さき山」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「花さき山」を知っていますか。 <p>〈考えてみよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花さき山に花がさく理由を聞いたあやは、どんなことを考えたのかな。 <p>〈見つめよう生かそう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の心の中にあるすばらしいものや美しいものって、どんなものだろう。 <p>【第6学年】「手品師」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手品師」というお話をとおして、みんなで考えましょう。 <p>〈学習の手引き〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター「ココロウ」と共に記載している。 ・「明るく生きる」ことについて、手品師になりきって考えてみよう。 ○ イラストや、児童二人が会話する写真と共に記載している。 ・迷いに迷っている手品師の気持ちについて考えましょう。 ・チャンスを見送って、男の子との約束を果たそうと決心する手品師。その決め手となった思いは何でしょう。 ・たった一人のお客様の前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだったでしょう。 <p>〈見つめよう生かそう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この学習をとおして、どんな生き方が大切だと思ったかな。
--------	---	--------	---

光 文	<p>【全学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の教材名の左横 ○ 教材文の下段 ○ 教材文の終わり 	4 5 7	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「わんだ先生」「トリー」の吹き出しの中に記載している。 ○ 「まとめるマーク」「ひろげるマーク」と共に、記載している。 <p>【第1学年】「かぼちゃの つる」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゅういされたのに きかなかったり、わがママを したりすると、どう なる しまうのでしょうか。 <p>〈下段〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびと する ことは、わるい ことかな。 ・つるが きれて しまって、かぼちゃは どんな ことを かんがえたのかな。 <p>〈終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃは どう したら よかったのか、かんがえて まとめましょう。 ・わがママを しない ために これから どんな ことに きをつけたいか、いえで はなしあいましょう。 <p>【第3学年】「花さき山」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心がうつくしいとはどういうことか考えてみましょう。 <p>〈下段〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山ンばはこわそうだね。 ・「あや」や「あんちゃん」のどのような心が、花さき山の花をさかせたのだろうか。 ・この「花さき山」はどこにあるのかな。 <p>〈終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この話を読んで、どのようなことをかんじましたか。 ・花さき山の花をさかせられそうな人を見つけて、しょうかいし合いましょう。 <p>【第5学年】「手品師」</p> <p>〈冒頭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは、本気でなやんだことがありますか。 <p>〈下段〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子に、「きっと来るよ。」と答えたとき、手品師は、どのようなことを思っていたのかな。 ・「友人」から電話をもらって、手品師がなやんだのは、どんなことだったのかな。 ・手品師は、なぜ大劇場に出られるチャンスをことわったのかな。 ・手品師は、どのような思いで、男の子の前で手品をしているのでしょうか。 <p>〈終わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手品師の生き方をどう思いますか。また、あなたはどのような生き方がしたいですか。 ・「誠実に生きる」とは、どういうことだと思いますか。みんなで話し合ってみましょう。
--------	---	-------------	---

<p>学研</p>	<p>【全学年】 ○ 教材文の 終わり</p>	<p>1 3 4</p>	<p>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。 【第1学年】「かぼちゃの つる」 ・ないて いる かぼちゃさんの きもちを いってましょ う。 ・かぼちゃさんに、どんな ことをおしえて あげますか。</p> <p>【第4学年】「花さき山」 ・「おまえがきのうさかせた花だ」と言われて、あやはどんな気 持ちになったでしょう。 ・「自分の花」をさがしてみましよう。「あのとき自分の花をさが せたのではないか」と思うことはありますか。</p> <p>【第5学年】「手品師」 ・友人からのさそいの電話がかかってきたとき、手品師は心の中 でどんなことを考えたでしょう。 ・自分が手品師だったら、どんなことを大切にしますか。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>【全学年】 ○ 教材文の 終わり</p> <p>○ 別冊「道徳 ノート」の中</p>	<p>3 3 5</p>	<p>○ 「考えよう話し合おう」のコーナーに記載している。 ○ 第3学年以上は「考えよう話し合おう」のコーナーに「学習の 道すじ」と表し、めあてと共に記載している。 【第1学年】「かぼちゃの つる」 ・かぼちゃの つるは、どんな おもいで、ぼろぼろ なみだを こぼして ないたのでしょうか。 ・どうして わがままを しない せいかつが たいせつなので しょう。</p> <p>【第4学年】「花さき山」 (学習の道すじ) ・物語のどんなところが心に残りましたか。 ・あやは、どんなときに(今花さき山で、おらの花がさいてるな) と思うのでしょうか。 ・花さき山の花が美しいのはどうしてでしょうか。 ・あなたが「美しい」と感じる心は、どのような心ですか。</p> <p>【第6学年】「手品師」 (学習の道すじ) ・手品師は、どのようなことを考えて迷っていたのでしょうか。 ・手品師はどのように考えて、友人のさそいをきっぱりと断った のでしょうか。 ・「ぼくにとっては」という手品師の言葉の意味を、生き方とし て考えてみましょう。 ・人に対して誠実に応えることができたとき、どんな気持ちにな りますか。</p> <p>○ 内容項目ごとに記載している。 【第1学年】 「きそく 正しく 気もちよい まい日を」 ・日づけを かいて、きちんと できた日は ☆に いろを ぬ りましよう。 【第4学年】 「美しいものに感動して」 ・人間の力をこえたものの美しさや気高さに感動したときのこと を書きとめておきましよう。 【第6学年】 「誠実に明るい心で」 ・誠実に生きることは、どうして大切なのでしょう。</p>

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	○問題解決的な学習として取り上げている内容項目，問題場面での発問例

発行者	調査・研究内容	
	問題解決的な学習として取り上げている内容項目	問題場面での発問例
東書	<p>【第6学年】</p> <p>○ 「修学旅行の夜」 (A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p> <p>○ 「アマゾン川」 (D20 自然愛護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「修学旅行の夜, 人にめいわくをかけないように気をつけておしゃべりする。」ことは, 「自由」か「自分勝手」のどちらでしょうか。2つの立場に分かれて議論してみましょう。それぞれの理由も考えてみましょう。 ・自由と自分勝手のちがいはなんですか。 ・自分をふり返ってみて, 自由ではなく自分勝手だったことはないでしょうか。 ・飼えなくなった生き物を多摩川へにがす人の気持ちについて考えましょう。 ・「アマゾン川」はどうして生まれるのでしょうか。 ・自然や生き物とふれ合ううえで, 大切にしたい心とはなんですか。 ・あなたが考える, 解決していく必要のある自然環境の問題はなんですか。
	<p>【第5学年】</p> <p>○ 「駅前広場はだれのもの」 (C12 規則の尊重)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場のきまりを守れなかった人, 置かれた自転車をめいわくだと思っている人になりきって, 気持ちを伝え合ってみましょう。とちゅうで, 立場の交代をしましょう。 ・駅前広場の自転車が, へってきているのはどうしてなのでしょう。 ・きまりや約束は, だれのため, なんのためにあるのでしょうか。 ・きまりや約束が守られる学校や社会にするために, あなたはどんなことを心がけたいと思いますか。
	<p>○ 「くずれ落ちたダンボール箱」 (B7 親切, 思いやり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」は, おばあさんのこまっている様子を見ながら, どんなことを考えたのでしょうか。 ・もしショッピングセンターからの手紙が来なかったとしても, 次にこまっている人を見かけたとき, 「わたし」は親切にできるのでしょうか。また, その理由も考えてみましょう。 ・人に親切にできたときや, したいと思ってもできなかったときの自分をふり返り, そのときの気持ちを考えてみましょう。 ・これから自分が人に親切にするとき, どんなことを大切にしていきたいと思いますか。
	<p>【第4学年】</p> <p>○ 「お母さんのせいきゅう書」 (C14 家族愛, 家庭生活の充実)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんのせいきゅう書は, なぜ0円だったのでしょうか。 ・たかしは, お母さんのせいきゅう書をくり返

<p>東書</p>	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「なかよしだから」 (B 9 友情, 信頼) 	<p>し読んだあと、お母さんにどんな言葉をかけたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族との生活で、あなたはどんなことを大切にしたいと思いますか。 ・「なかよしだから、なお教えられないよ。」という実さんのことばについて、「ぼく」はどんなことを考えたでしょう。 ・「ぼく」にとって、実さんはどんな友だちででしょうか。 ・もっとよい友だちになるために、あなたはどんなことをしたいですか。
<p>・ 問題を見つけて考える教材には、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、問題を解決するための「考えるステップ」を設けている。</p>		
<p>学図</p>	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「羊飼いの指輪」 (A 1 善悪の判断, 自律, 自由と責任) ○ 「だから言ったのに」 (A 3 節度, 節制) ○ 「イエローカード」 (C 1 2 規則の尊重) ○ 「放置自転車」 (C 1 2 規則の尊重) ○ 「エルトゥールル号のきせき」 (C 1 8 国際理解, 国際親善) <p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「マメちゃんの幸せ」 (A 1 善悪の判断, 自律, 自由と責任) ○ 「たんていのつもりが……」 (A 3 節度, 節制) ○ 「夕焼けチャイム」 (C 1 2 規則の尊重) ○ 「マリアン・アンダーソン」 (C 1 3 公正, 公平, 社会正義) ○ 「みんなで『ありがとう 六年生!』」 (C 1 6 よりよい学校生活, 集団生活の充実) ○ 「ゴールドンルール」 (C 1 8 国際理解, 国際親善) <p>【第4学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「われた花びん」 (A 2 正直, 誠実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・もしもあなたがこの指輪を持っていたら、どんなことを思いますか。 ・順一はどのような考えから「だいじょうぶ。食事のことは全てぼくにお任せなさい。」と言ったのでしょうか。 ・レッドカードをかかげられた時、翔太はどのように思ったでしょう。 ・自転車を歩道にとめるのをやめた時の正人は、どのように考えていたのでしょうか。 ・トルコ政府は危険な中で、なぜ二機の飛行機を飛ばしたのでしょうか。 ・マメちゃんを放す準備をしている時、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・あやしい人を見かけた勇介と幸太はどのようなことを考えて行動に移したのでしょうか。 ・「でも……。」と言いながらも、博人と遊んでいる勇紀は、どんなことを思っていたのでしょうか。 ・受付で順番をぬかされ、最後には「この学校は、黒人を入学させません。」と言われたマリアンは、どんなことを考えたでしょう。 ・一回めの準備の後、さやかと裕子が一、二年生に思っていたことは、どんなことでしょうか。 ・お姉さんが言った紅茶のゴールドンルールを聞いた時、「ぼく」はどんなことを感じたでしょう。 ・花びんがわれてしまった時、「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。

- 「アスレチック公園」
(A 3 節度, 節制)
- 「少しだけなら」
(A 3 節度, 節制)
- 「できるようにになりたい」
(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「ええことするのは, ええもんや!」
(B 6 親切, 思いやり)
- 「絵葉書と切手」
(B 9 友情, 信頼)
- 「雨のバスでいりゅう所で」
(C 1 1 規則の尊重)
- 「ひとりぼっちの登君」
(C 1 2 公正, 公平, 社会正義)
- 「みそしると自転車」
(C 1 4 家族愛, 家庭生活の充実)

【第3学年】

- 「まどガラスと魚」
(A 2 正直, 誠実)
- 「良太のるすばん」
(A 3 節度, 節制)
- 「千羽づるのおみまい」
(B 6 親切, 思いやり)
- 「貝がら」
(B 9 友情, 信頼)
- 「同じなかまだから」
(B 9 友情, 信頼)
- 「大なわとび」
(C 1 2 公正, 公平, 社会正義)
- 「ブラッドレーのせいきゅう書」
(C 1 4 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「ヒキガエルとロバ」
(D 1 8 生命の尊さ)

【第2学年】

- 「思いきって」
(A 1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

- ・「ぼく」はどうして「もう帰ろうよ。」と言っているのでしょうか。
- ・「少しだけなら……」と言っているあつしは, どんな気持ちでいるのでしょうか。
- ・「もういい。わたしやめる。」と言っているよしえは, どんな気持ちでいるのでしょうか。
- ・坂道で車いすをおしている時, マナブはどんなことを思っていましたか。
- ・まよっているひろ子は, どんなことを考えているのでしょうか。
- ・知らんぷりをしてまどの外をじっと見つめているお母さんの横顔を見て, よし子さんはどんなことを思ったでしょう。
- ・登君の様子がちょっと心に引っかかったぼくの思いについて考えましょう。
- ・いつもとはちがう家の中の様子に気付いた時, 「わたし」はどんなことを思ったでしょう。
- ・隼人はどうして何回もまどガラスを見に行っていたのでしょうか。
- ・受話器を持つ手がふるえた時, 良太はどんなことを思ったでしょう。
- ・「じゃあぼくも手つだうよ。」と言ったかずおは, どんなことを考えていたでしょう。
- ・おみまいに来た中山君は, どんなことを思っていたのでしょうか。
- ・とも子はどうして, ひろしに「光夫君を外して勝とうなんて, おかしいわ。」と言ったのでしょうか。
- ・だまってげた箱の方へ行くよう子を見て, みち子はどんなことを感じたのでしょうか。
- ・「やったぞ。」とよろこんだブラッドレーは, どんな気持ちだったのでしょうか。
- ・「石をぶつけるより, もっとおもしろいぞ。」と言っている時, アドルフはどんな気持ちでいたでしょう。
- ・「ぼく」はどうして「やっぱりいいや。」と言ったのでしょうか。

・ 問題解決的な学習に適した教材には, 教科書「活動(第1・2学年は「かつどう」)」の中に, 「はなしあおう」マークを付けて示している。

<p>教出</p>	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「青い海を取りもどせ」 (C14 勤労, 公共の精神) ○ 「フラスコで育てた花」 (D20 自然愛護) ○ 「天から送られた手紙」 (A6 真理の探究) <p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ほのぼのテスト」 (B7 親切, 思いやり) ○ 「ブータンに日本の農業を」 (C18 国際理解, 国際親善) <p>【第4学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校の自まを大切に」 (C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実) <p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ペランダのツバメ」 (D19 自然愛護) ○ 「悪いのはわたしじゃない」 (C12 公正, 公平, 社会正義) <p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みほちゃんと, となりのせきのますだくん」 (B9 友情, 信頼) 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの社会は, さまざまな人のはたらきによって支えられています。私たちは社会のために, どのようなことができるでしょうか。 ・私たちが住んでいる日本には豊かな自然があります。豊かな自然かん境をどのように守り, 未来につなげていくのか考えましょう。 ・私たちの身のまわりには解き明かされていないなぞがたくさんあります。そうしたなぞを, 先人はどのように探究してきたのでしょうか。 ・相手の気持ちを考えて行動することは, よりよい人間関係をつくるために大切なことです。相手の気持ちを考えた行動とはどのような行動でしょうか。 ・世界にはたくさんの国があり, それぞれに多様な文化をもっています。日本人としてこれらの国々とどのようにつき合っていけばよいのでしょうか。 ・みんなで気持ちのよい学校をつくっていくために, わたしたち一人一人がどうすればよいか考えてみましょう。 ・みなさんは, 自ぜんのすばらしさやふしぎさを感じたことはありますか。身近にある自ぜんや動植物とどのようにかかわっていくか, 考えてみましょう。 ・なかまはずれはどうして起きるのでしょうか。どうすればみんながなかよしでいられるか, 考えてみましょう。 ・友だちとなかよくするには, どうしたらよいのでしょうか。みんなで考えてみましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決的な学習ができるよう, 教材の終わりに, 「学びの手引き」を設けている。 ・ 冒頭の教材文に主題名がある教材については, 主題名の次に考えさせたい内容を示している。 	
<p>光村</p>	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「海のゆりかご—アマモの再生」 (D20 自然愛護) ○ 「コスモスの花」 (B10 友情, 信頼) ○ 「六年生の責任って？」 (C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を大切にしなければならないのは分かっているけど, どうすればいいんだろう。 ・ 友達とよりよい関係を築くには, どうすればいいんだろう ・ 六年生として, 君が, 下級生や先生からたよりにされていると思うのは, どんなことかな。

光村	<p>【第5学年】</p> <p>○ 「どうすればいいのだろう」 (C13 公正, 公平, 社会正義)</p> <p>○ 「一ふみ十年」 (D20 自然愛護)</p> <p>【第4学年】</p> <p>○ 「ひとりぼっちのYちゃん」 (C12 公正, 公平, 社会正義)</p> <p>【第3学年】</p> <p>○ 「たった一言」 (A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p> <p>【第2学年】</p> <p>○ 「クラスの大へんしん」 (C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>	<p>・公正・公平に行動するためには, どんな心が必要なのだろう。</p> <p>・わたしたちを取りまく環境について, 考えたことがあるかな。</p> <p>・友だち一人一人を大切にすることってどういうことかな。</p> <p>・友だちとよりよい関係をきずくには, どうすればいいのかな。</p> <p>・「クラスの大へんしん」と「およげないりすさん」を読んで, 友だちを大切にすることについて考えてみよう。</p>
<p>・ 問題解決的な学習ができるよう, 教材の終わりに「考えよう」のコーナーを設け, 学習のめあて等を示している。</p>		
日文	<p>【第6学年】</p> <p>○ 「クラスのきまり」 (C12 規則の尊重)</p> <p>○ 「ほんとうのことだけど……」 (A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p> <p>○ 「自分を守る力って？」 (A3 節度, 節制)</p> <p>○ 「わたしのせいじゃない」 (C13 公平, 公正, 社会正義)</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 「たのむよ, 班長」 (C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>	<p>・「よりよいきまり」について, 考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 自分なりに考えよう。 3 問題について話し合おう。 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。 <p>・「自由と責任」について, 考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 自分なりに考えよう。 3 問題について話し合おう。 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。 <p>・「自分を守る力」について, 考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 問題について考えよう。 3 ちがう問題について話し合おう。 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。 <p>・「いじめをたち切る正義」について, 考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 自分なりに考えよう。 3 問題について話し合おう。 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。 <p>・「集団での役割」について, 考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 自分なりに考えよう。 3 問題について話し合おう。 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。

- 「通学路」
(C12 規則の尊重)

- 「すれちがい」
(B11 相互理解, 寛容)

- 「これって不公平？」
(C13 公正, 公平, 社会正義)

【第4学年】

- 「ちこく」
(B10 相互理解, 寛容)

- 「雨のバスでいりゅう所で」
(C11 規則の尊重)

- 「いじりといじめ」
(C12 公正, 公平, 社会正義)

【第3学年】

- 「もっと調べたかったから」
(A3 節度, 節制)

- 「まどガラスと魚」
(A2 正直, 誠実)

- 「ぼくのボールだ」
(C12 公正, 公平, 社会正義)

- ・「たいせつなきまり」について、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 自分なりに考えよう。
- 3 問題について話し合おう。
- 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。

- ・「相手の立場もたいせつにすること」について、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 自分なりに考えよう。
- 3 問題について話し合おう。
- 4 問題を解決するときにたいせつな考え方について話し合おう。

- ・「公平と不公平」について、考えてみよう。

- 1 話し合いの準備をしよう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題についてさらに考えよう。
- 4 学級全体で意見を共有しよう。

- ・相手のことを考えるということについて、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

- ・みんなが気持ちよく生活することについて、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

- ・だれとでも分けへだてなくせつすることについて、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

- ・わかっているけど、ついやってしまうことについて考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

- ・自分に正直であることについて、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

- ・みんなが楽しく生活することについて、考えてみよう。

- 1 問題をつかもう。
- 2 問題について考えよう。
- 3 問題の解決をめざそう。

日文	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「あぶないよ」 (A3 節度, 節制) ○ 「一りん車」 (C10 規則の尊重) ○ 「ある 日の くつばこで」 (A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任) <p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やめるよ」 (A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あんぜんに くらす ために」, どんな ことが たいせつだろう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 もんだいを つかもう。 2 もんだいについて 考えよう。 3 もんだいの かいけつを めごそう。 ・「きまりを まもる」には, どんな ことが たいせつだろう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 もんだいを つかもう。 2 もんだいについて 考えよう。 3 もんだいの かいけつを めごそう。 ・「正しいと 思う こと」を するには, どうすれば いいのだろう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 もんだいを つかもう。 2 もんだいについて 考えよう。 3 もんだいの かいけつを めごそう。 ・「ゆうきを 出す」ことについて かんがえて みよう。 <ol style="list-style-type: none"> 1 いけない ところを 見つけよう。 2 いけない ところについて かんがえて みよう。
<p>・ 問題解決的な学習ができる教材には, 目次及び該当ページに, 虫眼鏡マークを付けて示し, 教材の終わりに, 「学習の手引き」を設け, 学習展開例を示している。</p>		
光文	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「勇太への宿題」 (A4 個性の伸長) ○ 『マナーからルールへ, そしてマナーへ』 (C12 規則の尊重) ○ 「温かいおまんじゅう」 (B9 礼儀) ○ 「陽子, ドンマイ!」 (B10 友情, 信頼) ○ 「鑑真和上」 (A5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○ 「いらなくなったきまり」 (C12 規則の尊重) ○ 「ブランコ乗りとピエロ」 (B11 相互理解, 寛容) ○ 「誠実な人—吉田松陰—」 (A2 正直, 誠実) ○ 「地球があぶない」 (D20 自然愛護) ○ 「本当にだいじょうぶ?」 (A3 節度, 節制) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「短所を改め, 長所をのばしていくためには, どうしたらよいのでしょうか。」 ・『マナー』と『ルール』はどうちがうのでしょうか。『たばこのポイ捨て』の例から考えてみましょう。」 ・「本当の礼儀」とは, どんな礼儀なのでしょうか。 ・男女関係なく, 信頼し合い, 助け合っていくためには, どのようなことが大切なのでしょうか。 ・どうすれば, 目標に向かって最後までやりぬくことができるのでしょうか。 ・クラスのみみんなが気持ちよく生活するために, 大切なことは何でしょうか。 ・「広い心」とは, どのような心をいうのでしょうか。 ・「誠実な人」とは, どんな人のことをいうのでしょうか。 ・わたしたちの住む地球では, たくさんの自然破壊が起きています。自然を守るために, 何ができるのでしょうか。 ・だれにでも, 「弱い心」があります。「弱い心」を自分でコントロールするためには, どうしたらよいのでしょうか。

- 「お茶の心」
(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
 - 「いちばん近い自然『里山』」
(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
 - 「フーバーさん」
(C18 国際理解, 国際親善)
 - 「めざせ, 百八十回!」
(A4 個性の伸長)
 - 「生命のメッセージ」
(D19 生命の尊さ)
 - 「命と向き合う人生」
(D19 生命の尊さ)
 - 「負けないで」
(D19 生命の尊さ)
 - 「大空に飛び立つ鳥」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
 - 「友のしょうぞう画」
(B10 友情, 信頼)
 - 「花びんのある駅」
(C14 勤労, 公共の精神)
 - 「羽ばたけ, 折り鶴」
(D19 生命の尊さ)
- 【第5学年】
- 「帰ってきた, はやぶさ」
(A6 真理の探究)
 - 「ひみつのトレーニング」
(A3 節度, 節制)
 - 「シンボルマークにこめられたものは」
(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
 - 「助け合い傘」
(B8 感謝)
 - 「氷上の挑戦—浅田真央—」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

- ・日本に古くから伝わる茶道。そこにこめられた「お茶の心」とは、どんな心なのでしょう
- か。
- ・「自然と調和した暮らし」とは、どのような暮らしのことをいうのでしょうか。里山の例から考えてみましょう。
- ・外国の文化や歴史を理解し、世界の人々と親しくなるために、大切なことは何でしょうか。
- ・自分の短所を改め、長所をのばしていくために大切なことは、何でしょうか。
- ・わたしたちは、限りある命を、どのように生きていったらよいのでしょうか。
- ・坂本さんは、なぜそれまでに、命を守ろうとするのでしょうか。
- ・「命をかがやかせて生きる」とは、どのように生きることをいうのでしょうか。
- ・「自由っていいな」と、思ったことはありませんか。でも、本当に自由は、いいものなのでしょうか。
- ・「真の友情」とは、どんな友情なのでしょうか。
- ・「みんなが使う場所」には、どんな場所がありますか。みんなが気持ちよく使うために、自分にできることは何でしょうか。
- ・広島市の平和記念公園にある「原爆の子の像」や、そなえられた折り鶴には、どのような願いがこめられているのでしょうか。
- ・わたしたちの住む地球は、どのようにして誕生したのでしょうか。そのなぞを解き明かそうとしている人たちは、どんな思いをもっているのでしょうか。
- ・百メートル走の記録をどんどのぼしている由紀さんには、どんなひみつがあるのでしょうか。
- ・みなさんは、自分の住んでいる地域のマークを知っていますか。それらには、どのような意味があるのでしょうか。
- ・わたしたちの生活は、多くの人たちのささえがあって成り立っています。どんな人たちに、どのようにささえられているのでしょうか。
- ・困難にぶつかったとき、すぐあきらめてしまうことはありませんか。あきらめない心をもち続けるには、どうしたらよいのでしょうか。

- 「みんなの劇」
(B11 相互理解, 寛容)
 - 「いっしょに何をしようかな」
(C18 国際理解, 国際親善)
 - 「ドッジボールを百倍楽しくする方法」
(B10 友情, 信頼)
 - 「『スイミー作戦』『ガンジー作戦』」
(C13 公正, 公平, 社会正義)
 - 「短所も長所」
(A4 個性の伸長)
 - 「セルフジャッジ」
(C12 規則の尊重)
 - 「約束」
(B11 相互理解, 寛容)
 - 「生きる力を引き出す笑い」
(D19 生命の尊さ)
 - 「藤井駅のホームのできごと」
(B7 親切, 思いやり)
 - 「自然を守るエゾリス」
(D20 自然愛護)
 - 「心の管理人」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
 - 「ふるさと一六年生を送る会」
(C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実)
 - 「ミレーとルソー」
(B10 友情, 信頼)
 - 「富士観測所を作るために」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
 - 「うばわれた自由」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
 - 「バスと赤ちゃん」
(B7 親切, 思いやり)
- ・運動会や学習発表会などをよりよいものにするために, 大切なことはどんなことでしょうか。
 - ・他の国の人たちと親しく付き合うには, どのようにすればよいでしょうか。
 - ・「よい友だち」とは, どのような友だちだと思いますか。
 - ・「いじめ」はどうして起こるのでしょうか。「いじめ」や偏見に出合ったときに, どんな心がけや行動が大切か考えましょう。
 - ・「自分らしさ」とよく言われるけど, 自分らしさってどういうことなのだろう。
 - ・きまりは何のためにあるのでしょうか。
 - ・携帯電話やスマートフォンが原因で, 友だちとの間に問題が起こることがあります。そうならないように, わたしたちはどんなことに気をつければよいのでしょうか。
 - ・元気に, よりよく生きるというのは, どのような生き方でしょうか。
 - ・みなさんの周りに, 「親切だなあ」と思う人はいますか。その人は, なぜ親切な行動ができるのでしょうか。
 - ・自然には, わたしたち人間には, 想像もつかないようなしくみがあります。例えば, 北海道のゆたかな大地は, 小さなリスに守られています。そこには, どのようなしくみがあるのでしょうか。
 - ・「自由」とは, どのようなことなのでしょうか。
 - ・学校には, 毎年行われているいろいろな行事があります。あなたの学校では, どのようなことが続けられていますか。また, その行事はどうして続けられているのでしょうか。
 - ・友だちだからできることとは, どのようなことでしょうか。
 - ・友だちだから, やらないことや言わないこともあるのでしょうか。
 - ・努力してもものごとをなしとげるためには, どのようなことが大切なのでしょうか。
 - ・「自由」と「わがまま」のちがいは, 为什么呢。
 - ・思いやりがある人とは, どのような人でしょうか。

- 「妹の手紙」
(D19 生命の尊さ)
- 「ホペイロのヤマさん」
(D22 よりよく生きる喜び)

【第4学年】

- 「貝がら」
(B10 相互理解, 寛容)
- 「サッカーボール」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
- 「かさ」
(B6 親切, 思いやり)
- 「自分たちにできるエコ活動」
(C11 規則の尊重)
- 「早起きは三文の徳」
(A3 節度, 節制)
- 「ブラジルからの転入生」
(B9 友情, 信頼)
- 「石油列車, 東北へ向かって走れ!」
(B7 感謝)
- 「ぼくはMVP」
(A2 正直, 誠実)
- 「学級新聞作り」
(B10 相互理解, 寛容)
- 「心の体温計」
(A3 節度, 節制)
- 「せきが空いているのに」
(B6 親切, 思いやり)
- 「良太のはんだん」
(C12 公正, 公平, 社会正義)
- 「雨のバスていりゅう所で」
(C11 規則の尊重)
- 「祭り日」
(B9 友情, 信頼)

光文

- ・わたしたちの命は、多くの人たちのささえ合いによって守られている、かけがえのないものです。かけがえのない命を大切にして生きるとは、どういうことでしょうか。
- ・社会にはいろいろな職業があり、自分の仕事に喜びを感じながら働いている人たちがたくさんいます。どのような喜びがあるのか考えてみましょう。
- ・新しい友だちのことを知るには、どうすればよいのでしょうか。
- ・「よいこと」と「悪いこと」の区別は、どうやってつけるのでしょうか。
- ・あなたは、人に親切にされたことがありますか。親切な人とは、どのような人でしょうか。
- ・きまりは何のためにあるのか、自分たちの生活を見直して考えましょう。
- ・あなたはいつも早起きをしていますか。早起きをすると、どんなよいことがあるのでしょうか。
- ・よい友だちになるには、どんなひけつがあるのでしょうか。
- ・わたしたちの生活は、たくさんの人にささえられています。どんな人にささえられているのでしょうか。
- ・「正直」とは、どういうことでしょうか。だれかにうそをつかないことだけが、正直なのでしょうか。
- ・他の人といっしょに、よりよいものを作るためには、どのようなことが大切なのでしょうか。
- ・あなたは日ごろの生活の中で、「度がすぎる」と思ったことや、だれかにそう言われたことはありますか。「度がすぎる」とは、どういうことなのでしょうか。
- ・人に「親切にする」とは、どういうことでしょうか。
- ・クラスのみんなで何かに取り組むときに大切なのは、どんなことでしょうか。
- ・わたしたちのまわりには、さまざまなルールがあります。ルールは何のためにあるのでしょうか。
- ・すばらしい合奏や合唱は、心にひびいてきます。どうすれば心をつなげて、すてきな音楽を生むことができるのでしょうか。

- 「ノーベル賞の生みの親—アルフレッド・ノーベル—」
(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「図書館で」
(C 1 1 規則の尊重)
- 「お礼の手紙」
(B 8 礼儀)
- 「レスキュー隊」
(D 1 8 生命の尊さ)
- 「かつおぶし」
(C 1 6 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 【第3学年】
- 「友だち屋」
(B 9 友情, 信頼)
- 「電話のおじぎ」
(B 8 礼儀)
- 「千ばづる」
(A 2 正直, 誠実)
- 「清作のおてつだい」
(C 1 4 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「はた・らく」
(C 1 3 勤労, 公共の精神)
- 「わたしのしたこと」
(B 6 親切, 思いやり)
- 「いただきます」
(D 1 8 生命の尊さ)
- 「ないた赤おに」
(B 9 友情, 信頼)
- 「うみねことたんぼぼ」
(D 1 8 生命の尊さ)
- 「こまるのはだれ? これでいいのかな?」
(C 1 1 規則の尊重)
- 「みんなでつくろう! がっきゅうルールブック」
(C 1 1 規則の尊重)
- 「花さき山」
(D 2 0 感動, 畏敬の念)

- ・みなさんには、がんばっていることがありますか。どうすれば、「がんばる力」がわいてくるのでしょうか。
- ・わたしたちの身の回りには、「見えないきまり」があります。「見えないきまり」とは何か、考えましょう。
- ・あなたは、年上の人に手紙を書いたことがありますか。友だちに書く手紙とのちがいは、何でしょうか。
- ・命をすくう仕事に、ほこりとじょうねつをもって取り組んでいる人たちがいます。「命をかける」とは、どういうことか考えましょう。
- ・「昔からつたわるもの」と聞いて、どんなものを思いうかべますか。「昔から伝わるもの」には、どんなよさがあるのでしょうか。
- ・友だちになるときに、大切なことは何だと思えますか。
- ・れいぎ正しい人とはどういう人でしょうか。考えてみましょう。
- ・しょうじきなすがたとは、どのようなすがたでしょう。
- ・かぞくのために「自分にできること」には、どのようなことがありますか。
- ・「はたらく」という言葉には、どのようなみがあるのでしょうか。
- ・親切とおせっかいのちがいを考えていきましょう。
- ・「いただきます」は、何をいただいているのでしょうか。「いのちのつながり」から考えてみましょう。
- ・友だちだからできることは何でしょう。
- ・「生きる力」とはどのような力でしょう。
- ・きまりがあればいつもうまくいくのでしょうか。きまりは何のためにあるのでしょうか。
- ・きまりをまもることには、どのようなよさがありますか。
- ・心がうつくしいとはどういうことか考えてみましょう。

- 「お母さん、かぜでねこむーちびまる子ちゃんー」
(C14 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「生きたれいぎ」
(B8 礼儀)
- 「四人五きやく」
(C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実)
- 「やくそくだもん」
(C11 規則の尊重)
- 「お日さまの心で」
(C12 公正, 公平, 社会正義)
- 「台風の日」
(A3 節度, 節制)
- 「おばあちゃんのコースター」
(B6 親切, 思いやり)
- 「こまったときは, おたがいさま」
(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

【第2学年】

光文

- 「学校たんけん」
(B6 親切, 思いやり)
- 「できるね ポンタくん」
(A3 節度, 節制)
- 「そこだね ポンタくん」
(A3 節度, 節制)
- 「おもいきって いってごらん」
(B8 礼儀)
- 「やさい村の 子どもたち」
(C11 公正, 公平, 社会正義)
- 「わたしたちも しごとを したい」
(C12 勤労, 公共の精神)
- 「なかよしで いたい」
(B9 友情, 信頼)
- 「三べん かんがえて」
(A3 節度, 節制)
- 「ピーマンマンと よふかし大まおう」
(A3 節度, 節制)
- 「ぐみの木と 小鳥」
(B 親切, 思いやり)
- 「くっかくし」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

- ・かぞくにはどのようなすてきなところがありますか。
- ・れいぎは何のためにあるのでしょうか。
- ・友だちと力を合わせるとは, どういうことでしょうか。
- ・やくそくはどうしてまもるのでしょうか。
- ・だれとでもなかよくするために, 大切なことは何でしょうか。
- ・自分のまわりにあるきけんから, みをまもるためには, どうしたらよいのでしょうか。
- ・あいての気持ちを考え, 分かろうとすれば, 自分の心もとどくでしょうか。
- ・日本人のよさとは, どのようなところでしょうか。
- ・年下の 人に やさしくするために, どんな ことに 気をくつけたら よいですか。
- ・学校で きもちよく すごす ためには, どう したら よいのでしょうか。
- ・いえで きもちよく すごす ためには, どう したら よいのでしょうか。
- ・あいさが じょうずに できない とき があります。どう したら じょうずに できるのでしょうか。
- ・だれとでも なかよくするには, どう すれば よいのでしょうか。
- ・みんなの やくに 立つ しごとには, どんな ものが ありますか。
- ・なかよしの ともだちなのに, けんかを し て しまうのは なぜでしょうか。
- ・どんな お金の つかいかたが, むだづかい に なるのでしょうか。
- ・どうして, はやね はやおきを しないと いけないのでしょうか。
- ・おもいやりの ころとは, どんな ころ だと おもいますか。
- ・「しては いけない こと」には, どんな こと がありますか。それは なぜ いけないのでしょうか。

○ 「レッドカード」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

○ 「おかあさんとの やくそく」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

○ 「小さな できごと」
(B8 礼儀)

○ 「おりがみ名人」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

○ 「とくべつな たからもの」
(B6 親切, 思いやり)

○ 「小さな ゆきうさぎ」
(B6 親切, 思いやり)

○ 「しあわせの 王子」
(D19 感動, 畏敬の念)

【第1学年】

○ 「おたんじょうび れっしゃ」
(D17 生命の尊さ)

○ 「わきだした みず」
(D17 生命の尊さ)

○ 「きんの おの」
(A2 正直, 誠実)

○ 「もみじがり」
(C15 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

○ 「はしの うえの おおかみ」
(B6 親切, 思いやり)

○ 「ルールが ないと どう なるの？」
—スマホや ゲームきを つかう とき—
(C10 規則の尊重)

○ 「エマさんの こたえあわせ」
(C16 国際理解, 国際親善)

○ 「ひつじかいと おおかみ」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

○ 「きいろい ベンチ」
(C10 規則の尊重)

・「しては いけない こと」を しない ためには, どう すれば よいでしょうか。

・よい おこないを する ためには, どんな ことに 気をつけたら よいでしょうか。

・どうして れいぎ 正しくする ことが たいせつなのでしょう。

・じぶんが 立てた もくひょうを やりと げるには, どんな ことが たいせつ でしょうか。

・あたたかい ところとは, どんな ところで しょうか。

・しんせつに すると, だれが いい きもち になるのでしょうか。

・こころの うつくしい 人とは どんな 人 でしょうか。

・どうして おたんじょうびを お祝いする のでしょうか。

・ひとの いのちを じぶんの ことのように かんがえられる ひとが います。どんな ひと でしょうか。

・うそや ごまかしを しては いけないのは どうして でしょうか。

・もみじがりに いった ことが ありますか。どうして もみじがりを するのでしょうか。

・やさしい ひととは, どんな ひとだと おもいますか。

・わたしたちの ぐらしの なかには, たくさん の ルールが あります。ルールが ある わけを かんがえましょう。

・どんな くにの なまえを して いますか。がいこくから きた ひとと なかよくするには どんな ことが たいせつ でしょうか。

・どうして うそを ついて しまうのでしょうか。

・みんなが つかう ものには きまりが あります。どうして きまりが あるのでしょうか。

光文

・ 問題の解決に取り組むことができるよう、冒頭の主題名の横や教材文の下段に、問いを示している。

【第6学年】

- 「チョモランマ清掃登山隊」
(D20 自然愛護)
- 「光をともした『魔法の薬』」
(A6 真理の探究)
- 「ラグビー日本代表のかがやき」
(C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実)

【第5学年】

- 「もったいない」
(D20 自然愛護)
- 「植物とともに 牧野富太郎」
(A6 真理の探究)
- 「おもしろければいいの」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

【第4学年】

- 「百点を十回取れば」
(A2 正直, 誠実)
- 「友達のしょうこ」
(A3 節度, 節制)
- 「へらぶなつり」
(B10 相互理解, 寛容)

【第3学年】

- 「明るくなった友だち」
(B9 友情, 信頼)
- 「しんぱんは自分たちで」
(C12 公正, 公平, 社会正義)
- 「みんなの学級会」
(B10 相互理解, 寛容)

【第2学年】

- 「おふろプール」
(C13 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「オレンジ色の木のみ」
(C10 規則の尊重)
- 「みんなのニュースがかり」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

【第1学年】

- 「じゃんけんぼん」
(C11 公正, 公平, 社会正義)
- 「げんきでね, あげはくん」
(D18 自然愛護)
- 「みっちゃんの やくそく」
(C10 規則の尊重)

- ・【深めよう】 清掃登山を続ける野口さんを支えているのは、どんな思いだろう。
- ・【深めよう】 大村さんが研究を続けられたのは、どんな思いがあったからだろうか。
- ・【深めよう】 集団をかがやかせるために、自分は何ができるだろう。
- ・【深めよう】 「もったいない」から、どんな大切なことが見えてくるだろう。
- ・【深めよう】 富太郎さんが植物の研究を続けられたのは、どんな心があったからだろうか。
- ・【深めよう】 情報の発信者として、大切なことはなんだろう。
- ・【深めよう】 てつろうは、なぜ正直に先生に言ったのだろう。
- ・【深めよう】 よく考えて、自分の心や行動を決められるだろうか。
- ・【深めよう】 何度もあやまる健二と、耳をかそうとしない明。二人の気持ちを考えてみましょう。
- ・【深めよう】 友だちのために、どんなことができるだろう。
- ・【深めよう】 不公平を起こさないために、どんなことが大切なのだろう。
- ・【深めよう】 みんなで話し合うときに、大切なことはなんでしょう。
- ・【ふかめよう】 家での自分は、どんな自分かな。
- ・【ふかめよう】 マーくんは、なぜ木のはを食べってしまったのかな。
- ・【ふかめよう】 けいすけさんは、どうすればよかったのかな。
- ・【ふかめよう】 こうきさんは どう すればよかったのかな。
- ・【ふかめよう】 「わたし」は どんな ことをおもって、あげはくんに はなしかけているのかな。
- ・【ふかめよう】 みっちゃんは、どう すればよかったのかな。

学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大あわてのダンプ」 (A 3 節度, 節制) 	<ul style="list-style-type: none"> ・【ふかめよう】ダンプカーが あわてたのは、なぜかな。
廣あか つき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「深めよう」のコーナーを教材の終わりに設け、問題解決的な学習の道筋を示している。 <p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自由という名の席」 (C 1 2 規則の尊重) ○ 「達也の転校」 (A 3 節度, 節制) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両のおくで言い合う男女それぞれの言い分を、あなたはどのように思いますか。 ・ 修司の情報通信機器の使い方には、どのような問題があるのでしょうか。 <p>[別冊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誠実に生きることは、どうして大切なのでしょうか。(4ページ) ・ 科学者や発明家たちが、どれほど失敗をくり返しても、研究を続けられるのは、どのような思いがあるからなのでしょう。(12ページ) ・ 「相手の立場に立つ」とはどういうことなのでしょう。(16ページ) ・ 「本当の思いやり」とはどういうものだと思いますか。(16ページ) ・ どうして礼儀作法は大切なのでしょうか。(20ページ) ・ あなたにとって本当の友情とはどんなものなのでしょう。(22ページ) ・ たがいに分かり合うためには、どんなことが大切でしょうか。(24ページ) ・ 法やきまりはどうして必要なのでしょうか。(28ページ) ・ 集団の中で自分の役割を果たすためには、どんなことが大切なのでしょう。(36ページ) ・ 国や郷土の伝統や文化を守っていくことには、どんな意味があるのでしょうか。(38ページ) ・ 他の国の人々と、たがいに深く理解し合っていくためには、どんなことが大切なのでしょう。(40ページ) ・ 命とは、どういうものなのでしょう。(44ページ)
	<p>【第5学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「法やきまりはだれのもの」 (C 1 2 規則の尊重) ○ 「金曜日の班活動」 (A 1 善悪の判断, 自律, 自由と責任) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中で、法やきまりが守られていない例をあげながら、どうして法やきまりが必要なのかを考えてみましょう。 ・ 三人の班活動は、どうすればうまくいくのでしょうか。 <p>[別冊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い目標に向かっていくためには、どんなことが大切なのでしょう。(10ページ) ・ 親切にしたいと思っても、行動できないことがあるのはどうしてでしょう。(16ページ) ・ いじめ、差別、かたよった見方をなくすためには、どのような心が必要なのでしょう。(30ページ) ・ 伝統や文化を受けつぎ、発展させていくことは、どうして大切なのでしょう。(38ページ)

【第4学年】

- 「もどらない本」
(C11 規則の尊重)
- 「正しいことは勇気をもって」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

【第3学年】

- 「森のげいじゅつてん」
(B9 友情, 信頼)
- 「きよしのなやみ」
(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)

【第2学年】

- 「みんなの ニュースがかり」
(C12 勤労, 公共の精神)

・他の国の人と接するときには、どんなことを大切にしたらよいでしょう。

(40ページ)

- ・命を大切に生きていくということは、どういうことなのでしょう。(44ページ)
- ・どうして自然を大切にすることが必要なのでしょう。(46ページ)

・こうなってしまったのは、だれの、どのようなところに問題があったからでしょうか。

・正しいと思っていることでも、なかなか実行できないことがあるのはどうしてでしょう。

【別冊】

・正しいと思ったことをしっかりと行う自信や勇気がもてないのはどうしてでしょう。
(2ページ)

・見ず知らずの人にも、親切な人はたくさんいます。どのような思いで、親切にしているのでしょうか。(14ページ)

・「真心のこもった礼ぎ」とは、どのようなものなのでしょう。(18ページ)

・あなたにとって本当の友達とは、どのような人でしょう。(20ページ)

・他の国の人たちと分かり合うためには、どのようなことが大切なのでしょう。
(38ページ)

・自然かんきょうを守っていくことが大切なのは、どうしてでしょう。(44ページ)

・あなたにとって、友だちとは、どのような人でしょう。

・正しいと思うことを自信をもって行うには、どのような心がひつようなのでしょうか。

【別冊】

・正しいと分かっているながら、なかなかできないのはどうしてでしょう。
(2ページ)

・たがいによりよく分かり合うためには、どうすればよいのでしょうか。(22ページ)

・はたらくことは、どうして大切なのでしょう。(30ページ)

・たくさんのちがいがあつた他の国と、なかよくするにはどうすればよいのでしょうか。(38ページ)

・みんなが おこつた わけを 考えた けいすけくんは、どんな ことに 気づいたのでしょうか。

【別冊】

・うそを つなかいで、すなおに あやまる ほうが よいのは、どうしてでしょう。(4ページ)

・ともだちを たくさん つくつて、みんなと なかよく するには、どうすれば よいのか

<p>廣あか つき</p>	<p>【第1学年】 ○ 「みんなで つかう ばしょなのに」 (C10 規則の尊重)</p>	<p>でしょう。(20ページ) ・電車や バスの 中のように, たくさんの 人が いる 場しよでは, どのように す ごせば よいのでしょうか。(24ページ) ・もっと よい 学きゅうに するには, どう すれば よいのでしょうか。 (32ページ)</p> <p>・いけない ことを して いるのは だれ でしょう。どんな ことが いけないので しょう。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決的な学習ができるよう, 教材の終わりに, 「考えよう話し合おう」のコーナーを設け, 「学 習の道すじ」の中で, 学習のめあて等を示している。 ・ 別冊「道徳ノート」に, 問題解決的な学習を促す発問を記載している。 	

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤体験的な学習を取り入れた工夫
方法	○体験的な学習として取り上げている内容項目、活動例

発行者	調査・研究内容	
	教材名, 内容項目	活動例
東書	<p>【第1学年】</p> <p>○「うかんだ うかんだ」 A5 希望と勇気, 努力と強い意志</p> <p>○「もう すぐ 二ねんせい」 C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p>	<p>○「がんばりシール」 がんばっていることを友だちと教え合い, 「これからも がんばってね。」と友だちに言う。言われてどんな気持ちになったか, 顔のマークに色をぬる。思ったことをみんなの前で発表する。</p> <p>○「1ねん〇くみのいいところ さがし」 となりの人と学級のよいところを探しシートに書く。他の人とシートを見せ合って, いいと思ったことを, シートに書き加えていく。これが一番だと思ったことをみんなの前で発表する。</p>
	<p>【第2学年】</p> <p>○「ぼく」 D17 生命の尊さ</p> <p>○「学きゅうえんの さつまいも」 B6 親切, 思いやり</p>	<p>○「じぶんへの しょうじょう」 自分のよいところ, すきなところを賞状に書く。グループで順番に発表し, 感じたことを話し合う。</p> <p>○「ありがとうカード」 グループの友だちと「ありがとうカード」を渡し合う。もらったカードを読んで思ったことを書き, 学級全体で発表する。</p>
	<p>【第3学年】</p> <p>○「あいさつをすると」 B8 礼儀</p> <p>○「一りん車にのれた」 A5 希望と勇気, 努力と強い意志</p>	<p>○「さいこうにうれしい『おはよう!』」 グループで「さいこうにうれしい『おはよう!』」について話し合い, やってみる。その後, 気づいたことや考えたことについて発表し合う。</p> <p>○「『がんばっているでしょう』をあげよう」 グループの友だちと「がんばっているでしょう」を渡し合い, もらったりあげたりしてどう感じたか発表する。</p>
	<p>【第4学年】</p> <p>○「ぼくらだってオーケストラ」 B9 友情, 信頼</p> <p>○「目ざまし時計」 A3 節度, 節制</p>	<p>○「あなたのやさしさにありがとう」 グループの友だちと「やさしくしてくれてありがとうカード」を渡し合う。カードを読んで感じたことや気づいたことを書き, 学級全体で発表する。</p> <p>○「もっとこうすれば, きちんとできる」 4人組になり, 自分の頑張りや反省点を話し, 大きな声で励まし合う。感想を書き, 学級全体で発表する。</p>
	<p>【第5学年】</p> <p>○「かれてしまったヒマワリ」 C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p>	<p>○「やりとげた仕事」 自分がやりとげた仕事をシートに書く。先生がシートを読み, だれのことか当てる。感じたことや思ったことを発表する。</p>

<p>東書</p>	<p>○「心のレシーブ」 B10 友情, 信頼</p> <p>【第6学年】 ○「あこがれのパティシエ ～好きな道を歩む」 A4 個性の伸長</p> <p>○「言葉のおくりもの」 B10 友情, 信頼</p>	<p>○「5年組 心のサーブ」 グループの友達のよいところを発表し、「ナイス ○○さん!」とかけ声をかけて拍手をする。順 番にグループ全員に心のサーブを贈り、感じた ことや思ったことを発表する。</p> <p>○「しょうらいの夢を語ろう」 将来どんな自分になりたいか、そのためにがんば っていることをシートに書く。4人組のグル ープでシートを回し、友だちに励ましの言葉 を書く。学級全体で感じたことや気づいたこと を話し合う。</p> <p>○「言葉のプレゼント」 4人組のグループで、友だちに応援や励ましの 言葉を使う。もらった人は「言葉のプレゼント、 ありがとう。」と言う。気づいたことや感じたこ とをシートに書き、学級全体で発表する。</p>
<p>・ 「出会う・ふれ合う」マークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>		
<p>学図</p>	<p>【第1学年】 ○「金の おの」 A2 正直, 誠実</p> <p>○「かぼちゃの つる」 A3 節度, 節制</p> <p>【第2学年】 ○「ありときりぎりす」 A5 希望と勇気, 努力と強い意志</p> <p>○「ぐみの木と小鳥」 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「まいちゃんのえがお」 B8 礼儀</p> <p>○「ゆっきと やっち」 B9 友情, 信頼</p> <p>【第3学年】 ○「言葉のまほう」 B8 礼儀</p> <p>【第5学年】 ○「手品師」 A2 正直, 誠実</p> <p>○「本物のプレゼント」 B7 親切, 思いやり</p> <p>【第6学年】</p>	<p>○金の おのを見せられたきこりは、どんな ことを かんがえたでしょう。</p> <p>○みんなから ちゅういされたとき、かぼちゃは どんな ふうに おもって いたのでしょうか。</p> <p>○きりぎりすに「ぼくといっしょにあそぼうよ。」 とさそわれたとき、ありはどんな気持ちになり ましたか。</p> <p>○あなたに できる ことは どんなことでは う。えんぎを して みましよう。 ・ ないて いる 小さい 子に 声を かけて みよう。</p> <p>○男の子、まいちゃん、「わたし」のやく役になっ て、「わたし」の気持ちを考えてみましよう。</p> <p>○やっちに「先に行けよ。」と言われた 時、ゆっ きは どんなことを 考えたでしょう。</p> <p>○言いあらそいになった時と、自分の悪さをみど めて声をかけ合った時とでは、「ぼく」の気持ち はどうちがっているでしょう。</p> <p>○「手品師」になったつもりで「男の子」と「友 人」の間に立って二人と話し、手品師の心の様 子を考えましよう。</p> <p>○ジムからプレゼントされたくしを見たデラは、 どんなことを思ったでしょう。</p>

学図	<ul style="list-style-type: none"> ○「私の知らないところで」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任 ○「思いやりのかたち」 B7 親切, 思いやり ○「だれが拾うの？」 C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハルカとミキはどんな気持ちからメールを送ったのでしょうか。 ○おばあさんに席をゆずろうとした時の「ぼく」と、「あっ, だいじょうぶ？」と立ち上がろうとした時の「ぼく」の心を考えましょう。 ○教室の真ん中で半分に分かれ, それぞれ植山君と木島さんの立場に立って, 意見を言ってみましょう。
<p style="text-align: center;">・ 「やってみよう」のマークを使い, 教科書「活動」の中に示している。</p>		
教出	<p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「なかなおり」 B9 友情, 信頼 ○「はしの 上のおおかみ」 B6 親切, 思いやり ○「こくばんとうばん」 C12 勤労, 公共の精神 <p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「れいぎ正しい あいさつ」 B8 礼儀 ○「よいのかな」 C10 規則の尊重 ○「教えて いいのかな」 A3 節度, 節制 ○「はりきりパンダとだらだらパンダ」 A5 希望と勇気, 努力と強い意志 ○「およげないりすさん」 B9 友情, 信頼 ○「金のおの」 A2 正直, 誠実 ○「きゅう食当番」 B6 親切, 思いやり ○「ぼんたとかんた」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任 ○「ありがとうはだれがいう？」 B7 感謝 	<ul style="list-style-type: none"> ○ぼくは なんと なんて あやまったのでしょうか。 やって みましょう。 ○一本ばしの 上で おこったことを おおかみ, うさぎ, くまのやくに なって, 三人で えんじてみましょう。 ○「わたし」と あおいさんは, かおを見あわせて にっこり わらった あと, なんと いったでしょう。 「わたし」と あおいさんに なって, えんじて みましょう。 ○友だちの 家に いった ときの あいさつを して みましょう。 ○「わたし」と しょうたさんは, 顔を見合わせた あと, なんと いったでしょう。 「わたし」と しょうたさんに なって やって みましょう。 ○みなさんが 「ぼく」だったら, このような 電話に, どのように うけ答えを しますか。 二人で やって みましょう。 ○だらだらパンダにいう言ばを考えたら, 二人で, パンダとあやちゃんになってやってみましょう。 ○りすさんたちは, しまへいくとちゅう, どのような話をしたのでしょうか。 それぞれのどうぶつになって, やって みましょう。 ○正直なきこりに金のおのとぎんのおのをわたすとき, めがみさまは, なんと いったのでしょうか。 二人で, きこりとめがみさまになって, やって みましょう。 ○「わたし」は一年生に なんと いったのでしょうか。 ○「わたし」は, ひろきさんに, なんと いったのでしょうか。 ○ぼんたになって, かんたを止めて みましょう。 ○いろいろな場めんをつくって, みんなで「ありがとう。」を いて みましょう。

<p>○「ゆかみがき」 C12 勤労, 公共の精神</p> <p>○「日本のたから 富士山」 C15 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度</p> <p>【第3学年】</p> <p>○「わたしたちの『わ』」 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「わたしの妹 かな」 C14 家族愛, 家庭生活の充実</p> <p>○「どうしていけないのかな」 B8 礼儀</p> <p>○「自分をコントロール」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任</p> <p>○「悪いのはわたしじゃない」 C12 公正, 公平, 社会正義</p> <p>○「ドッジボール大会」 C12 公正, 公平, 社会正義</p> <p>○「ヒキガエルとロバ」 D18 生命の尊さ</p> <p>○「たっ球は四人まで」 B9 友情, 信頼</p> <p>【第4学年】</p> <p>○「ほっとけないよ」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任</p> <p>○「あいさつでつながる」 B8 礼儀</p> <p>○「学校の歴史」 B7 感謝</p> <p>○「かっこいいせなか」</p>	<p>○なおやさんとあやかさんは, えがおになって, なんといいたのでしょうか。二人の気持ちを考えて, やってみましょう。</p> <p>○自分がまなさんだったら, お父さんの話のあとに, なんといいますか。まなさんとお父さんになって, 話のつづきをやってみましょう。</p> <p>○ひろみさんをつたってあげる場面をえんじてみましょう。</p> <p>○ひろみさんがことわる場面をえんじてみましょう。</p> <p>○ひろみさんを見守る場面をえんじてみましょう。</p> <p>○お母さんが作ってくれたりよう理を選んでいるとき, ゆいは, かなになんというでしょう。ゆいになってかなに話しかけてみましょう。</p> <p>○まなみさんと店員のおじさんになってえんじてみましょう。</p> <p>○まなみさんとお客のおばあさんになってえんじてみましょう。</p> <p>○まなみさんはどういえばよかったのでしょうか。もう一度えんじてみましょう。</p> <p>○自分が中学生のお兄さんにいうとしたら, どのようにいいですか。「やめなよ!」のあとになんというか, やってみましょう。</p> <p>○自分だったら, れなものにかけよって, なんと声をかけますか。やってみましょう。</p> <p>○自分がしゅうへいだったら, ありさたちになんと言をかけますか。しゅうへいになってやってみましょう。</p> <p>○ロバがヒキガエルを助けたとき, ロバやヒキガエルはどんな気持ちだったでしょう。ロバとヒキガエルになってやってみましょう。</p> <p>○自分がしゅんだったら, 次の日, とおるになんと言いますか。やってみましょう。</p> <p>○いっしょにくつ箱に向かいながら, 「わたし」とゆかさんはどんな会話をしたでしょう。「わたし」とゆかさんになってやってみましょう。</p> <p>○二人一組になって, あいさつをしてみましょう。</p> <p>○二人一組になって「ありがとう」といってみましょう。感しゃしている理由もいってみましょう。</p> <p>○自分がゆうだいだったら, しょうさんになんと</p>
---	---

教出

<p>教出</p>	<p>C13 勤労，公共の精神</p> <p>○「仲間だから」 B9 友情，信頼</p> <p>○「ブラッドレーのせい求書」 C14 家族愛，家庭生活の充実</p> <p>○「だまっていればわからない」 A2 正直，誠実</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「心をつなぐあいさつ」 B9 礼儀</p> <p>○「知らない間のできごと」 B10 友情，信頼</p> <p>○「ルールだから守らなければいけない」 C12 規則の尊重</p> <p>【第6学年】</p> <p>○「青い海を取りもどせ」 C14 勤労，公共の精神</p> <p>○「安全についてみんなで考えてやってみよう」 A3 節度，節制</p> <p>○「ブランコ乗りとピエロ」 B11 相互理解，寛容</p> <p>○「米百俵」 C17 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度</p> <p>○「情報について考えよう」 C12 規則の尊重</p>	<p>いって声をかけますか。やってみましょう。</p> <p>○自分がゆいだったら，たくやさんになんといっ て声をかけますか。このお話の続きをやってみ ましょう。</p> <p>○自分がブラッドレーだったら，お母さんになん といいですか。お話の続きをやってみましょう。</p> <p>○心の中の自分自身との話し合いをえんじてみま しょう。</p> <p>○おばあさんにあやまる場面をえんじてみましょ う。</p> <p>○三人であやまりにいく場面をえんじてみましょ う。</p> <p>○朝のあいさつをしてみましよう。</p> <p>○病院での，静かなあいさつをしてみましよう。</p> <p>○お客様に対する，あいさつをしてみましよう。</p> <p>○時や場面を考えて，それに応じたあいさつをし てみましよう。</p> <p>○自分がみかさんやあゆみさんだとしたら，電話 でどのように話しますか。二人一組になって話 してみましよう。</p> <p>○あなただったら，注意してくれた先生になん といいですか。先生との会話をやってみましよう。</p> <p>○あなただったら，わたろうとしている三年生に どのように声をかけますか。やってみましよう。</p> <p>○「ぼく」がいったことに対して，お母さんは なんといいたでしょう。お母さんとのやりとりを やってみましよう。</p> <p>○青い海を取りもどしたときに，ダイバーと漁師 はどのような会話をしたでしょう。それぞれの 役になってやってみましよう。</p> <p>○家にいて地しんが起きたとき，どのように行動 しますか。</p> <p>○外で地しんが起きて，小さな子たちを見かけた とき，みなさんは，どのように行動しますか。 演じてみましよう。</p> <p>○地しんのとき，となりのおばあさんになん と声をかけますか。演じてみましよう。</p> <p>○夜がふけても話し続けたサムとピエロは，ど のような会話をしたのでしょうか。それぞれの立 場や思いを考えてやってみましよう。</p> <p>○あなたが虎三郎だとしたら，藩士たちにど のように説明しますか。演じてみましよう。</p> <p>○あなたがりりこさんだとしたら，たかしさん にどんなふうにあやまりますか。演じてみま しよう。</p> <p>○あなたがりりこさんだとしたら，ちさとさん にどんなふうにあやまりますか。演じてみま しよう。</p>
-----------	--	---

<p>教出</p>	<p>・ 「スキル」のマークを使い、目次及び該当ページに示したり、「学びの手引き」の中に、「ジャンプ」のマークを示したりしている。</p>
<p>光村</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○「かぞくと おはなし」 C13 家族愛, 家庭生活の充実</p> <p>○「ジャングルジム」 C11 公正, 公平, 社会正義</p> <p>【第2学年】</p> <p>○「およげないりすさん」 C11 公正, 公平, 社会正義</p> <p>○「こまっている子が いるよ」 B6 親切, 思いやり</p> <p>【第3学年】</p> <p>○「水やり係」 B10 相互理解, 寛容</p> <p>○「持ってあげる? 食べてあげる?」 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「日曜日の公園で」 B10 相互理解, 寛容</p> <p>【第4学年】</p> <p>○「言わなきゃ」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任</p> <p>○「学級会での出来事」 B10 相互理解, 寛容</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「あいさつって」 B9 礼儀</p> <p>○すきな どうぶつを えらんで, おとうさん, おかあさん, こどものやくに わかれて, おはなしして みましょう。</p> <p>○グループで かんがえた おはなしを, くまくん, さるくん, ねこちゃんに なって やって みましょう。やって みて どう おもいましたか。</p> <p>○あなたなら, つぎの日 りすさんをどんなふう にさそいますか。かめさんとりすさんになって, となりの人と 話してみましよう。</p> <p>○すな場のばめんを やくをきめて えんじてみよう。えんじる人と見る人に分かれ, おわつたらそれぞれ どう思ったか 言ってみよう。</p> <p>○あなたなら, どのような言葉で, ゆうかさんに声をかけますか。となりの人と, じっさいに声をかけ合ってみましよう。声をかけられたほうの人は, どういう気持ちになったかをつたえましよう。</p> <p>○みきに「ランドセル, 持って。」と言われたとき, 「わたし」は, 何と答えたらよいと思ひますか。「わたし」役とみき役に分かれて, えんじてみましよう。</p> <p>○「わたし」は, たけしに何と答えたらよいと思ひますか。「わたし」役とたけし役に分かれて, えんじてみましよう。</p> <p>○タクに「みんなで走り回ったほうがおもしろいよ。」と言われたとき, 「ぼく」はどう答えればよかったのでしょうか。となりの人とじっさいにえんじてみましよう。</p> <p>○【1】【2】それぞれの場面で, ゆり子に話しかけられた「わたし」は, どうすればよかったと思ひますか。グループになって, えんじてみましよう。</p> <p>○みんなで話し合いをするときには, どんなことを心がければよいでしょう。「それぞれの役になってえんじてみてもいいね。」</p> <p>○この場面を演じてみましよう。母に, 「あいさつもきちんとできないの?」と言われた「ぼく」は, どのようなことを考えていたでしょう。</p> <p>○この場面を演じてみましよう。通り過ぎていった男子にむつとした「ぼく」は, どのようなことを思っていたでしょう。また, この前の土曜日のことを思い出した「ぼく」は, どのようなことを考えたでしょう。</p> <p>○この場面を演じてみましよう。「ぼく」が分かったような気がした「あいさつやれいぎが大切なわけ」とは, どのようなことでしょう。</p>

<p>光村</p>	<p>【付録】 ○「ありのままの自分を受け入れよう！」 A4 個性の伸長</p> <p>【第6学年】 【付録】 ○「おたがいがここちよくなる話し方を身につけよう！」 B11 相互理解, 寛容</p>	<p>○いらいらしているAさん, 約束を破ったBさんになったつもりで, 演じてみましょう。</p> <p>○仕事を人任せにしているAさん, それでは困ることを伝えたいBさんになったつもりで, 演じてみましょう。</p>
<p>・ 「考えよう」の発問において, 「○○になったつもりで話してみよう」, 「演じてみよう」等の学習活動を示している。</p>		
<p>日文</p>	<p>【第1学年】 ○「あとかたづけ」 A3 節度, 節制</p> <p>○「はしの うえの おおかみ」 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「ひっじかいの こども」 A2 正直, 誠実</p> <p>【第2学年】 ○「いいところ みつけた」 A4 個性の伸長</p> <p>○「たけしの 電話」 B8 礼儀</p> <p>○「さて, どうかな」 B8 礼儀</p> <p>【第3学年】 ○「どんどん橋のできごと」 A3 節度, 節制</p> <p>○「お母さんのせいきゅう書」 C14 家族愛, 家庭生活の充実</p> <p>○「足りない気持ちは何だろう」 B8 礼儀</p>	<p>○あなたの つくえの なかの どうぐばこをかたづけて みましょう。</p> <p>○おおかみに なりきって, しんせつに したときの ことを かんがえて みよう。</p> <p>○うそだと した おとなたちは, どんな ことを おもったでしょう。おとなたちに なりきって, かんがえて みましょう。</p> <p>○3人グループで, 友達のいいところをハートのカードに書き手渡す。もらった人は, カードをノートにはり, 自分のよいところはどんなところかを考え, 書く。</p> <p>○電話の うけこたえを やって みよう。</p> <p>○ばめんごとに それぞれの やくに なりきって, あいさつや どうさを 考えて みましょう。</p> <p>○「ぼく」がかさを入れるまでの場面をたいけんしてみましょう。</p> <p>○みんながなぐさめてくれた場面をたいけんしてみましょう。</p> <p>○どんな思いで, 金がくを記入したのでしょうか。立場を交代してみよう。</p> <p>○「先生との会話にわりこむ」場面をえんじてみましょう。わりこまれた人は, どんなことを感じるでしょう。</p> <p>○「図書館でさわぐ」場面をえんじてみましょう。まわりの人は, どんなことを感じるでしょう。</p> <p>○「ボランティアの人には, あいさつをしない」場面をえんじてみましょう。ボランティアの人は, どんなことを感じるでしょう。</p>

<p>日文</p>	<p>【第4学年】</p> <p>○「遠足の朝」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任</p> <p>○「新次のしょうぎ」 A2 正直, 誠実</p> <p>○「金色の魚」 A3 節度, 節制</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「あいさつ運動」 B9 礼儀</p> <p>○「折れたタワー」 B11 相互理解, 寛容</p> <p>【第6学年】</p> <p>○「心づかいと思いやり」 B7 親切, 思いやり</p> <p>○「手品師」 A2 正直, 誠実</p>	<p>○「なおみさんが仲間はずれにされたところを見ている場面」をえんじてみましょう。</p> <p>○「三人でなおみさんに声をかけ, なおみさんがにっこりと答える場面」をえんじてみましょう。</p> <p>○「遠足の日, なおみさんが『おはよう。』と大きくあいさつをしながら教室に来て, 四人で言葉をかかわす場面」をえんじてみましょう。</p> <p>○新次は, 伊三郎おじさんが店番で席を外したそのときに……。どんなささやきが聞こえてきたのでしょうか。「二つの心」に分かれて考えてみよう。</p> <p>○よくばりな心について, 金色の魚になりきって考えてみよう。</p> <p>○「あいさつゲーム」をして, 「あいさつの心」について, 考えてみよう。</p> <p>○「広い心」について, 登場人物になりきって考えてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 給食の時間 2 数日後のそうじの時間 <p>○車いすの人が, 段差で困っているようです。あなたなら, このような場面です。どうしますか。じっさいにやってみましょう。</p> <p>○二人一組になって, 大劇場に出たい手品師と, 男の子との約束を守る手品師の気持ちで会話してみましょう。</p>
<p>光文</p>	<p>・ 「劇をしたり, 体を動かしたりして考える」マークを使い, 目次及び該当ページに示している。</p> <p>【第1学年】</p> <p>○「おおきく そだてよう『ありがとうのき』」 B7 感謝</p> <p>○「みんなの よい ところは？」 B9 友情, 信頼</p> <p>【第2学年】</p> <p>○「おもいきって いってごらん」 B8 礼儀</p> <p>○「『きらきら』 み一つけた」 A4 個性の伸長</p>	<p>○「ありがとう」といったら, ○にきいろでいろをぬりましょう。</p> <p>○「ありがとう」といわれて, 「どういたしまして」といえたら, ○にあかでいろをぬりましょう。</p> <p>○クラスの ひとの よい ところを さがして, その ひとに つたえましょう。</p> <p>○いろいろな ばめんの あいさつを, クラスの みんなと れんしゅうして みましょう。</p> <p>○みち子さんは, ゆうたさんの すてきな ところを つけました。</p> <p>○みなさんも クラスの ともだちの すてきな ところを さがして, カードを かきましょ。</p>

<p>光文</p>	<p>【第3学年】</p> <p>○「えがおいっぱい『サイコロドゥーイング』」 C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p> <p>○「同じいけんじゃないと友だちじゃないの?」 B9 友情, 信頼</p> <p>【第4学年】</p> <p>○「『言葉のキャッチボール』(ナイスボール)」 B10 相互理解, 寛容</p> <p>○「いつも同じグループでいいのかな?」 C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「連想イメージゲーム『いいねコール』」 B11 相互理解, 寛容</p> <p>○「思い切って言ってみたら……」 C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p> <p>【第6学年】</p> <p>○「『あっ, どうしよう』『ナイスリターン』」 B11 相互理解, 寛容</p>	<p>○サイコロをつかって, クラスの先生や友だちとたくさん活どうしたり, 話をしたりして, おたがいをもっと知り合い, えがおいっぱいの時間にしましょう。</p> <p>○みんなそれぞれ, すきなものがあります。どんなものがすきなのか, 友だちの話を聞いてみましょう。</p> <p>○今日は, みんなで言葉について考えましょう。言葉はキャッチボール。相手の気持ちを考え, どんな言葉を返したらよいか考えてみましょう。</p> <p>○あまり遊んだことのない人や, クラスのみんなと遊んでみましょう。どんな発見がありましたか。</p> <p>○人によって, 思いうかべるものはさまざま。どれもまちがいはありません。例えば, 「赤い花」といえば何を思いうかべますか? 「バラ」も「チューリップ」も「スイートピー」も, みんな正解ですよ。みんなの考え, 一人一人の考えは, 一つ一つがすてきなのです。そこで, 友だちのそれぞれの考え方, 感じ方を聞き合う連想イメージゲーム「いいねコール」をしてみましょう。</p> <p>○思い切って言ってみたら, どうなりましたか。体験したことを, クラスで話し合ひましょう。</p> <p>○今日は, みんなで言葉について考えてみましょう。言葉は「キャッチボール」。しかし, いつも「いいよ」と返すだけではすまないこともありますね。そんなときは, どう相手に伝えたらよいのでしょうか。相手の気持ちを考えて, 言葉を返してください。</p>
	<p>・ 「みんなでやってみよう」や「ちびまる子ちゃんと考えよう」のコーナーを設けたり, 体験的な学習を促す教材を掲載したりしている。</p>	
<p>学研</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○「あかるい あいさつ」 B8 礼儀</p> <p>○「きんのおの ぎんのおの」 A2 正直, 誠実</p> <p>○「おかしく ないかな」 C10 規則の尊重</p> <p>【第2学年】</p>	<p>○【やってみよう】みんなで わに なって, じゅんばんに いろいろな あいさつを いうよ。いわれた ひとも あいさつを かえそう。「おはよう」や 「こんにちは」の ほかに, どんな あいさつが あるかな。</p> <p>○【やってみよう】かみさまと きこりが はなす ばめんを, みんなで えんじましょう。</p> <p>○【やってみよう】みんなが つかう ばしよの きまりを かるたに したよ。</p>

<p>学研</p>	<p>○「およげないりずさん」 C11 公正, 公平, 社会正義</p> <p>○「竹馬と一りん車」 B9 友情, 信頼</p> <p>【第3学年】 ○「貝がら」 B9 友情, 信頼</p> <p>○「なかよしポスト」 C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p> <p>【第4学年】 ○「泣いた赤おに」 B9 友情, 信頼</p> <p>○「温かい言葉」 B6 親切, 思いやり</p> <p>【第5学年】 ○「うばわれた自由」 A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任</p> <p>【第6学年】 ○「食べ残されたえびになみだ」 A3 節度, 節制</p>	<p>○【やってみよう】あひるさん, かめさん, 白鳥さんが考える場面をみんなでえんじます。</p> <p>○【やってみよう】二人組になって, 上の詩を読みましよう。つぎに, 一人が何かほかの言葉を相手に言いましよう。相手は, それをまねして, こだまのように同じ言葉を言いましよう。どんなことをかんじましたか。</p> <p>○【やってみよう】病気がなおった「ぼく」が, 中山君に会ったときの場面を, 想ぞうしてえんじましよう。</p> <p>○【やってみよう】一つのわを, みんなで力を合わせて, ゆかに下ろすゲームをやってみましよう。</p> <p>○【やってみよう】「泣いた赤おに」では, どんなことが気になりましたか。特に気になった場面や, 印象に残った場面などをえんぎして, さらに深く考えてみましよう。</p> <p>○【やってみよう】手と形の動きで, おたがいに, 言いたいことを伝える言葉です。手話で話すと, 温かい気持ちになるのはなぜでしょう。</p> <p>○【やってみよう】ガリューとジェラール王子の役を演じて, さらに深く考えてみましよう。</p> <p>○【やってみよう】次の二つのグラフを見て, 自分の生活習慣や身の回りの安全について私たちが心がけなければならないことを話し合ってみましよう。</p>
<p>・ 「やってみよう」のマークを使い, 目次及び該当ページに示している。</p>		
<p>廣 あか つき</p>	<p>【第3学年】 ○「学校自まん集会」 C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実</p> <p>○「いいね!」 A4 個性の伸長</p> <p>○「あめ玉」 C11 規則の尊重</p> <p>【第4学年】 ○「もどらない本」 C11 規則の尊重</p> <p>○「真心を伝えるコミュニケーション</p>	<p>○自分の学校や学級の「自まんビンゴ」を作って, ビンゴ大会をしてみましよう。</p> <p>○友だちとおたがいの「いいね!」を見つけ合って, つたえ合いましよう。</p> <p>○女の子(お姉さん)と妹のやり取りを, 役わりを交代しながらえんじてみましよう。えんじることで, それぞれの気持ちを感じ取りましよう。</p> <p>○教室でのゆみえとひさしのやり取りを, 役わりを交代しながらえんじてみましよう。えんじることで, それぞれの言い分と思いをを感じ取りましよう。</p> <p>○右の場面のやり取りを, 役わりを交代しながら</p>

<p>廣 あか つき</p>	<p>ン」 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「絵葉書と切手」 B9 友情, 信頼</p> <p>○「花さき山」 D20 感動, 畏敬の念 B6 親切, 思いやり</p> <p>○「明の長所」 A4 個性の伸長</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「バスと赤ちゃん」 B7 親切, 思いやり</p> <p>○「礼儀作法にこめられた心」 B9 礼儀</p> <p>○「ちゃんとやれよ, 健太」 B7 親切, 思いやり B9 礼儀</p> <p>【第6学年】</p> <p>○「客には言わんのですか」 B9 礼儀</p>	<p>えんじてみましょう。えんじることで、それぞれの心を感じ取りましょう。</p> <p>○ひろ子は、どのような伝え方で料金不足のことを手紙に書けばよいのでしょうか。ひろ子になったつもりで、愛子に手紙を書いてみましょう。</p> <p>○人の心や自然、音楽など、あなたが出会った美しいものについて、しょうかいカードを作りましょう。学級にカードをはり、そのすばらしさをみんなと共有することを通して、美しいものに感動する心を見がきましょう。</p> <p>○友達とたがいのよいところを見つけ合い、伝え合って自分の持ちようについてまとめてみましょう。</p> <p>○お母さん、運転手さん、乗客を、役割を交代しながら演じてみましょう。演じることで、それぞれの気持ちを感じ取りましょう。</p> <p>○友達とペアになって、真心のこもったあいさつや立ち居ふるまいなどをたがいに実せんし、礼儀正しくすることのよさを味わいましょう。</p> <p>○「ぼく」になったつもりで、健太をはげますメールの文章を書いてみましょう。また、友達と文章を交かんし合って、メールを受け取った相手がどのような気持ちになるか、話し合ってみましょう。</p> <p>○両親、お客、子どものやり取りを、役割を交代しながら演じてみましょう。演じることで、あいさつをする側、される側それぞれの立場で思いを感じ取り、礼儀の意義について考えを深めましょう。</p>
	<p>・ 「考えようはなしあおう」のコーナーに、学習を広げる内容として、「活動しよう」のマークを示している。</p>	

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	基礎・基本の定着
視点	⑥自己の生き方につなげるための工夫
方法	○実生活に生かすような教材等の具体例

発行者	調査・研究内容
	実生活に生かすような教材等の具体例
東書	<p>【第1学年】 (ふろく「つながる ひろがる」) ・学校探検や秋の葉っぱや実で飾りを作ったときのことを想起して、「きもちの よい あいさつ」と「あとかたづけ」を実践するよう呼びかけている。</p> <p>【第2学年】 (ふろく「つながる ひろがる」) ・体育の時間を想起したり、家での生活を振り返ったりして、「みんなで つかう」ときのルールを守り、「きそく正しい せいかつ」をするよう呼びかけている。 [実在の人物を取り上げた教材] ○「ぼくは 『のび太』でした～藤子・F・不二雄」 (A5 希望と勇気, 努力と強い意志)</p> <p>【第3学年】 ○自分たちの町でできるボランティア ・「クリーンうんどろ」や「お年よりの交流会」など、自分たちの町でできるボランティアを4つ挙げ、写真と共に掲載している。 ○通学路で、どんなしぜんに出会うかな? ・中央にランドセルを背負って歩く二人の児童の写真を、そのまわりに「つらら」「にじ」「せみ」など動植物の写真を15枚掲載している。 ○見つけよう、自分の町のいいところ ・「千葉県いすみ市」や「北海道釧路市」など全国6か所をあげ、自分のまちのすきなところを写真と共に紹介している。 [実在の人物を取り上げた教材] ○「ぬれた本～リンカーン」(A2 正直, 誠実) ○「まけるものか～野口英世」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)</p> <p>(ふろく「つながる 広がる」)「日本の四季と伝統文化」 ・季節ごとに唱歌と俳句を1つずつ取り上げ、4枚の写真と共に示している。</p> <p>【第4学年】 ○日本に古くからつたわるよいものをさがそう ・日本に古くから伝わるものとして、「折り紙」「かつおぶし」など5つを挙げ、写真と共に掲載している。 ○守ろう、自然やそこに住む生き物たちを ・ウミガメ、コウノトリを守る活動をしている児童の様子を5枚の写真と共に掲載している。 ○みんながくらしやすい町づくり ・「電車内にある手すりつきのスペース」「大きくしたお金の投入口やおつりの受け取り口」など暮らしやすい工夫を5つ挙げ、写真と共に掲載している。 [実在の人物を取り上げた教材]</p>

- 「いつかにじをかける～高橋尚子選手の走ってきた道」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

(ふるく「つながる 広がる」)「きょうどに対する思い」
・郷土の発展に尽くした人たちや郷土の作家を12人取り上げ紹介している。

【第5学年】

- 自然を守る取り組み
・「緑」「水」「空気」の3つについて、自然を守る取り組みを4枚の写真と共に掲載している。
- ボランティア活動について知ろう
・地域の川の清掃, スポーツの大会にボランティアなど, 各地での取り組みを4枚の写真と共に紹介している。
- ふるさとに伝わる行事
・「成田山節分会」「祇園祭 山鉾巡行」など各地の行事を4つ挙げ, 写真と共に紹介している。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「いつも全力で～首位打者イチロー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

東書

- 「そういうものにわたしはなりたい～宮沢賢治」(D22 よりよく生きる喜び)
- 『折り紙大使』～加瀬三郎」(C18 国際理解, 国際親善)
- 「ベートーベン」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「感動したこと, それがぼくの作品～パブロ・ピカソ」(A4 個性の伸長)
- 『百シャアのふたごしまい』きんさん・ぎんさん」(A3 節度, 節制)

(付録「つながる 広がる」)「日本のゆたかな自然と伝統文化」
・美しい自然が詠まれた短歌8首, 日本にある世界自然遺産4か所, 日本各地の伝統工芸品8つを示している。

【第6学年】

- みんなで地球を守ろう
・美しい地球の写真と, 川や空気の汚染が進む様子を表す3枚の写真に掲載している。
- 世界のために働く人たち
・「世界寺子屋運動」と「国境なき医師団」について, 4枚の写真と共に紹介している。
- 働くことの大切さ
・「高齢者の方の世話をする人」「送電線を守る仕事に取り組む人」などを4つ挙げ, 写真と共に掲載している。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「あこがれのパティシエ～好きな道を歩む」(A4 個性の伸長)
- 「愛華さんからのメッセージ」(D20 自然愛護)
- 「白旗の少女」(C18 国際理解, 国際親善)
- 「土石流の中で救われた命」(B8 感謝)
- 「ピアノの音が……」(C12 規則の尊重)

<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「命の重さはみな同じ」(D19 生命の尊さ) ○「エンザロ村のかまど」(C18 国際理解, 国際親善) ○「心をつなぐ音色～ピアニスト辻井伸行」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「お母さんへの手紙」(D19 生命の尊さ) ○「田中正造」(C13 公正, 公平, 社会正義) ○「新しい日本に～龍馬の心」(C17 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度) ○「義足の聖火ランナー～クリス・ムーン」(D22 よりよく生きる喜び) ○「小さな連絡船『ひまわり』」(C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実) ○「桜守の話」(C14 勤労, 公共の精神) ○「まんがに命を～手塚治虫 日本のテレビアニメの生みの親」(A6 真理の探究) <p>(付録「つながる 広がる」)「受けついでいきたい日本のよさ」 ・小学生が参加している日本の伝統芸能, 世界で活躍している日本のスポーツ選手や活動の場(宇宙飛行士や青年海外協力隊など)を紹介している。</p> <p>・ 他の教科の学習とつなげたり, 普段の生活に広げたりすることができるよう, 教材の後ろに「つながる・広がる」のページを設けている。</p>
<p>学図</p>	<p>【第1学年】</p> <p>[よみものコラム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「スポーツで せかいが 一つに なる」 ○「まいにち げんきで」 ○「いのちには かざりが あるんだよ」 <p>[きょうかしょ「かつどう」]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すなおで あかるい ところ ○きまりの よい せいかつ ○よい ところ さがし ○やるべき ことは しっかりと ○まいにちの あいさつ <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よみものコラム「良寛, 円谷英二」 (B6 親切, 思いやり, C12 勤労, 公共の精神) <p>【第2学年】</p> <p>[よみものコラム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「たすけ合う, ささえ合う」 ○「『いかのおすし』って 知ってるね」 ○「山古志村のマリ」 <p>[教科書「かつどう」]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よい ことを すずんで しよう ○きまりの よい 生活 ○よい ところを 見つけよう ○みんなの ために はたらく

〔実在の人物を取り上げた教材〕

○「からすの子」(D18 自然愛護)

○よみものコラム「野口英世・ライト兄弟」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

○「だいじょうぶ, キミならできる!」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

【第3学年】

〔読みものコラム〕

○「パラリンピックを知ろう」

○「お手つだい お手つだい」

○「国をこえた人命救助」

〔教科書「活動」〕

○よく考えて, せつどある生活を

○はたらくことの大切さを知って

〔実在の人物を取り上げた教材〕

○「さいたよ, 光祐君のアサガオ」(D18 生命の尊さ)

○「ナホとメグ -いつもいっしょだね-」(B9 友情, 信頼)

○「ゆめを追って -本田宗一郎-」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

○「びしょぬれの本」(A2 正直, 誠実)

○「清のゆめ -山下清-」(A4 個性の伸長)

○教科書「活動」「自分のよいところをのぼそう」(A4 個性の伸長)

○読み物コラム「水木しげる・赤崎勇」

(A4 個性の伸長, A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

学図

【第4学年】

〔読みものコラム〕

○「フェアプレーを学ぼう」

○「みんなで楽しく食事をしよう」

○「はげまし合って, 命をつなぎとめる」

〔教科書「活動」〕

○よく考えて, 節度ある生活を

○自分のよいところをのぼそう

○みんなのために働くことの大切さを知って

〔実在の人物を取り上げた教材〕

○「電池が切れるまで」(D18 生命の尊さ)

○「いのちのおはなし」(D18 生命の尊さ)

○「ゆめに向かって, ジャンプ!」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

○「荘川桜」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

○「本当に好きなことは」(A4 個性の伸長)

○「姉妹で運ぶ物資と笑顔」(C13 勤労, 公共の精神)

○読みものコラム「石川倉次・向井千秋」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

【第5学年】

〔読みものコラム〕

- 「オリンピック・パラリンピックの精神とは」
- 「外出先とそのとちゅう」
- 「小さな命を救え！」

〔教科書「活動」〕

- 節度・節制を心がけて
- 自分らしさを求めて
- みんなのために役立つことをしよう

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「日本のナイチンゲール」(C14 勤労, 公共の精神)
- 「ちんもくのメッセージ」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「サケをよぶ森」(D20 自然愛護)
- 「今しかできないことをがんばって！」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「マリアン・アンダーソン」(C13 公正, 公平, 社会正義)
- 「ブータンに日本の農業を」(C18 国際理解, 国際親善)
- 「猛火の中で」(D19 生命の尊さ)

学図

- 「見えない人に幸せを」(A6 真理の探究)
- 「一朵の雲」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「たったひとつのたからもの」(D19 生命の尊さ)
- 読みものコラム「鈴木梅太郎・椋鳩十」(D22 よりよく生きる喜び)

【第6学年】

〔読みものコラム〕

- 「世界から日本へ, 日本から世界へ」
- 「相手や場面に応じて話しましょう」
- 「火山の島に生きる」

〔教科書「活動」〕

- 節度・節制を心がけて
- 短所を改め長所をのぼそう
- 社会に奉仕すること

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「折り紙でたくさんの笑顔を」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「さわってごらん, ぼくの顔」(C13 公正, 公平, 社会正義)
- 「すり切れたわらじ」(B7 親切, 思いやり)
- 「作業服のノーベル賞」(A4 個性の伸長)
- 「美しい空の勇者」(C14 勤労, 公共の精神)

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「天災は忘れたところにやってくる」(A3 節度, 節制) ○「ペルーは泣いている」(C18 国際理解, 国際親善) ○「米百俵」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度) ○「カザルスの鳥の歌」(D19 生命の尊さ) ○「雪の写真家ベントレー」(A6 真理の探究) ○「平和への祈りを舞踊にこめて」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「マザー・テレサ」(D22 よりよく生きる喜び) ○読みものコラム「伊能忠敬・アルフレッド・ノーベル」(D22 よりよく生きる喜び)
	<p>・ 道徳の学習を自らの生活と関連付けて考えられるよう, 5つの視点を基にした「読みものコラム」を掲載したり, 教科書「活動」に自分を振り返るページを設けたりしている。</p>
<p>教出</p>	<p>【第1学年】 [ほじゅうきょうざい] ○「光和小の さくらの 木」(C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実) ○「大きく そだて, 二くみの ザリガニ」(D18 自然愛護) ○「見上げて みよう よるの 空」(D19 感動, 畏敬の念) ○「がんばれ まごべえ」(C15 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>[実在の人物を取り上げた教材] ○「すきな ものを 見つけよう」(A4 個性の伸長)</p> <p>[みに つけよう れいぎ・マナー] ○おじぎ ○れいぎ正しい しせい ○いえでの マナー ○学校での マナー ○あんぜんの マナー</p> <p>【第2学年】 [ほじゅうきょうざい] ○「虫が大すき」(D18 自然愛護) ○「身近な自ぜん体けん」(D18 自然愛護) ○「いただきます」(D17 生命の尊さ) ○「雨上がりの空に」(D19 感動, 畏敬の念) ○「あがれ, 大だこ」(C15 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>[実在の人物を取り上げた教材] ○「虫が大すき」(D18 自然愛護)</p> <p>[みにつけよう れいぎ・マナー] ○公きょうの場でのマナー ○学校でのマナー ○公きょうの場での心くばり ○国旗・国歌を大切にす</p> <p>【第3学年】 [ほじゅうきょうざい] ○「時を計り, 時を生かす」(A3 節度, 節制) ○「昔からの味をつたえる野さい」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p>

- 「お祭りにこめられている思い」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「音のこうずい」(C11 規則の尊重)
- 「おいしいきゅう食」(B7 感謝)

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「ぼくらしさってなんだろう」(A4 個性の伸長)
- 「世の中のために」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「光祐くんのアサガオ」(D18 生命の尊さ)

【第4学年】

[ほじゅう教材]

- 「ゆう便の父 ー前島密ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「日本人の手でオルガンを ー山葉寅楠ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「かことげんざいがともに生きる町 ー川越蔵造りー」
(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「生がいを通じてわたしには歌があった ー東北うたの本ー」
(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「動物たちの命を守るー熊本市動物愛護センターのちょう戦ー」(D18 生命の尊さ)

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「ゆめは世界一のプロ野球マスコット」(A4 個性の伸長)
- 「二宮金次郎の働き」(C13 勤労, 公共の精神)
- 「ゆめに向かって泳ぐ」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「一步一步の積み重ね ー伊能忠敬ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

教出

- 「命 ーせいっぱい生きるー」(D18 生命の尊さ)
- 「ゆう便の父 ー前島密ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「日本人の手でオルガンを ー山葉寅楠ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「生がいを通じてわたしには歌があった ー東北うたの本ー」
(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

【第5学年】

[ほじゅう教材]

- 「世界文化遺産, 姫路城を守る」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「下町ボブスレー ー町工場のちょう戦ー」
(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「この空は遠い日本とつながっているー和田重次郎ー」
(C15 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「知床の自然」(D20 自然愛護)
- 「一人はみんなのために……」(D22 よりよく生きる喜び)

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「志高く, 今を熱く生きる」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「新幹線開発物語」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「長嶋茂雄の人生は七転び八起き」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「自動車への限りない夢」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「横浜港のガンマンの思い」(C14 勤労, 公共の精神)

- 「オオカミから教えられたこと」(D19 生命の尊さ)
- 「モントゴメリーのバス」(C13 公正, 公平, 社会正義)
- 「二億人を救った化学者 ー大村智ー」(A6 真理の探究)
- 「悲願の金メダル」(B8 感謝)
- 「ブータンに日本の農業を」(C18 国際理解, 国際親善)
- 「花に思いをこめて」(D22 よりよく生きる喜び)
- 「この空は遠い日本とつながっているー和田重次郎ー」
(C15 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「一人はみんなのために……」(D22 よりよく生きる喜び)

【第6学年】

[補じゅう教材]

- 「東の羽生, 西の村山 ー天才棋士 村山聖ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「世の中のためになることをしたい ー石橋正二郎のちょう戦ー」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「『しかみ像』にこめられた思い」(A4 個性の伸長)
- 「西陣織を受けつぐ ー苦境を乗り越えてー」
(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「アイヌのほこり」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

教出

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「人生を変えるのは自分」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「志を立てる」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「父の言葉」(B7 親切, 思いやり)
- 「山中伸弥先生の快挙」(A4 個性の伸長)
- 「祖国にオリンピックを」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「米百俵」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「日本を守るために」(D22 よりよく生きる喜び)
- 「六千人の命のビザ」(D22 よりよく生きる喜び)
- 「究極の理想『平和』を求めて」(C18 国際理解, 国際親善)
- 「百一才の富士」(D21 感動, 畏敬の念)
- 「志を得ざれば, 再びこの地を踏まず」(C15 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「ひたすらに, 自分の心に従って」(B8 感謝)
- 「天から送られた手紙」(A6 真理の探究)
- 「東の羽生, 西の村山ー天才棋士 村山 聖ー」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「世の中のためになることをしたいー石橋正二郎のちょう戦ー」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

<p>教出</p>	<p>○「西陣織を受けつぐー苦境を乗り越えてー」 (C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>○「アイヌのほこり」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>・ 他教科等への学びに発展し, 深められるよう, 巻末に「補充教材」として, 「こころざしをもって」「国やきょう土を愛する」等の視点を基に, 4~5つの読み物を掲載している。</p> <p>・ 第1学年と第2学年は, 巻末に「みにつけよう れいぎ・マナー」のページを設けている。</p> <p>・ 実在の人物を取り上げた教材が(補助教材も合わせて)44ある。内容項目では, 「希望と勇気, 努力と強い意志」が11と一番多い。伊能忠敬, 豊田喜一郎, 松下幸之助などを取り上げている。</p>
<p>光村</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○教材「みんなが つかう ばしょだから」(C10 規則の尊重) コラム「きまりを まもらないと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが使う場所にあるきまりを見つけ, きまりを守らないとどんなことが起こるか話し合う。 <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <p>○「シートンと どうぶつたち」(A4 個性の伸長)</p> <p>【第2学年】</p> <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <p>○「おり紙の名人ーよしざわ あきら」(A4 個性の伸長)</p> <p>【第3学年】</p> <p>○教材「マリーゴールド」(C13 勤労, 公共の精神) 「ヤゴ救出大作戦」(D19 自然愛護) コラム「里山を守ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人里の近くにあり, 昔から人々が生活のために利用してきた山林を里山といい, 人と生き物がともになかよく暮らすために, 日本各地で山の木の手入れをしたり, 里山について学んだりしていることを紹介している。 <p>○教材「ふるしき」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度) 「マサラップ」(C17 国際理解, 国際親善) コラム「世界のいしょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの国や地域に伝えられてきた「民族いしょう」について, 韓国・ブルガリア・ケニアのマサイ族の例を挙げて紹介している。 <p>○教材「百六さい, おめでとう, ひいばあちゃん」(C14 家族愛, 家庭生活の充実) 「みんながくらしやすい町」(B6 親切, 思いやり) コラム「くらしの中のユニバーサルデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから大人, お年よりや体の不自由な人など, できるだけ多くの人が使いやすいようにくふうして作られたものについて, シャンプーのきざみや大きなスイッチ, 多目的トイレなどの例を挙げて紹介している。 <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <p>○「ぬれてしまった本ーエイブラハム＝リンカーン」(A2 正直, 誠実)</p> <p>○「『わたしらしさ』をのぼすために」(A4 個性の伸長)</p> <p>○「スーパーパティシエ物語」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)</p>

○あなたへのメッセージ
内村航平 中川李枝子

【第4学年】

○教材「いのちをつなぐ岬」(D19 自然愛護)
「このままにしていたら」(C11 規則の尊重)
コラム「ごみや資源について考えよう」
・資源にはかぎりがあるため、3つのR(リデュース・リユース・リサイクル)でごみを減らそうと呼びかけている。

○教材「わたしの大切なもの」(C17 国際理解, 国際親善)
「より遠くへ」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
コラム「オリンピックにこめられた思い」
・スポーツを通して、肌の色や言葉、国のちがいをこえて友好を深め、平和な世界をきずいていこうと始められたオリンピック。その思いが表れているオリンピック・シンボルや選手村について紹介している。

○教材「ちょっと待ってよ」(C12 公正, 公平, 社会正義)
「思いやりのかたち」(B6 親切, 思いやり)
コラム「見えないしょうがい気づくこと」
・見た目には分からなくてもこまっていること(耳が聞こえにくい・にんしん初期など)の例をあげ、助けが必要なことを知らせる「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」を紹介している。

光村

〔実在の人物を取り上げた教材〕

○「なしの実—アンリ=ファール」(A2 正直, 誠実)

○「より遠くへ」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

○あなたへのメッセージ
吉田沙保里 さかなクン

【第5学年】

○教材「一ふみ十年」(D20 自然愛護)
「宇宙から見えたもの」(D21 感動, 畏敬の念)
コラム「『地球の温暖化』を知ろう」
・地球全体の平均気温が上がっていく現象「地球の温暖化」は、二酸化炭素の放出が原因の1つであり、現代に生きるわたしたちの生活と大きく関係している。わたしたち一人一人が世界中の人と協力して「地球の温暖化」の問題に取り組まなくてはいけないと述べている。

○教材「おおきに、ありがとう」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
「小さな国際親善大使」(C18 国際理解, 国際親善)
コラム「オランダから和紙を求めて」
・高知県で和紙作りをしているオランダ出身のロギール・アウテンボーガルトさんがどんな思いで、日本の伝統的な産業である和紙作りの技術を受け継いでいるのかを紹介している。

○教材「だれもが幸せになれる社会を」(C13 公正, 公平, 社会正義)
「『同じでちがう』」(D19 生命の尊さ)
コラム「子どもの権利条約」
・十八才未満の人を「子ども」とし、「子ども」がもっている権利について示した「子どもの権利条約」の条文を紹介している。

光村

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「夢を実現するためには」(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「命の詩—電池が切れるまで」(D 1 9 生命の尊さ)
- 「水がわたる橋—通潤橋」(B 8 感謝)
- 「真の看護を求めて—ナイチンゲール」(A 6 真理の探究)
- 『自分らしさ』を見つめよう」(A 4 個性の伸長)
- 「世界最強の車いすテニスプレーヤー—国枝慎吾」
(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「最後のコンサート—チェロ奏者・徳永兼一郎」(D 1 9 生命の尊さ)
- 「おばあちゃんからもらった命」(B 8 感謝)
- あなたへのメッセージ
辻井伸行 滝川クリステル

【第6学年】

- 教材「海のゆりかご—アマモの再生」(D 2 0 自然愛護)
「命の旅」(D 1 9 生命の尊さ)
コラム「持続可能な社会とは？」
・持続可能な社会をめざして、私たちが問題を解決するための工夫について紹介している。
- 教材「五十五年目の恩返し」(B 8 感謝)
「ブータンに日本の農業を」(C 1 8 国際理解, 国際親善)
コラム「国際親善—私たちにできること」
・自分たちにできる「国際親善」とは何か、アフリカのタンザニアの図書館にお金を寄付した愛知県の小学校6年生の取り組みを紹介している。
- 教材「私には夢がある」(C 1 3 公正, 公平, 社会正義)
「エルトゥールル号—友好の始まり」(C 1 8 国際理解, 国際親善)
コラム「差別のない社会をみざす」
・日本をおとずれる外国の人, 日本で暮らす外国の人が感じる差別とは何か, 偏見や差別をなくすためにどんな行動をとればよいか考える必要があることを述べている。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「自分を信じて—鈴木明子」(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「日本植物分類学の父—牧野富太郎」(A 6 真理の探究)
- 「小川笙船」(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「マザー—テレサ」(D 2 1 感動, 畏敬の念)
- 「五十五年目の恩返し」(B 8 感謝)
- 「ブータンに日本の農業を」(C 1 8 国際理解, 国際親善)
- 「私には夢がある」(C 1 3 公正, 公平, 社会主義)
- あなたへのメッセージ

	田中真弓 山中伸弥
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の生き方についての考えを深められるよう、教材と「環境」「国際理解」等の視点を基にしたコラムを組み合わせた「ユニット」を設けている。
日文	<p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あいさつランド」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 迷路のようになっており、途中の5か所で、正しいあいさつをしている方を選んであいさつランドまで行く。 ○「せかいの おはよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語、中国語、スペイン語など8つの言語で、それぞれおはようを何と言うか取り上げている。 ○「どんな ことばを かけようか」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい顔、怒っている顔など6人の子どもの写真を示し、こんな顔の友だちにどんな言葉をかけるか考えて書く。 ○「わたしは ○○名人、○○はかせ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ けんだま名人、こんちゅうはかせなど例を挙げ、自分のよいところを書く。 ○「いろいろなわがし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひし餅の3色の色の意味を示し、日本の和菓子8種類を写真と共に紹介している。 <p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あなたの クラスの だあれだ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いつもだれにでもすすんであいさつしている人はだあれだ。」「たいいくのとくいな人はだあれだ。」のように友だちのよいところを見つけて書く。 ○「日本の いろいろな おまつり」 <ul style="list-style-type: none"> ・ さっぽろ雪まつりや博多どんたくなど日本の4つの祭りを取り上げ、写真と共に紹介している。 ○「みんなで かいけつ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたらいいかわからないとき、みんなで考えるとよいアイデアが思い浮かぶことを知らせている。 ○『ありがとう』を つたえよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうの気持ちを伝える方法について、会って伝える、手紙を書く、電話をかけるの3つを紹介している。 <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「虫が大すき -アンリ・ファーブルー」(D18 自然愛護) ○『生きて いるから』(D17 生命の尊さ) <p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おしゃべりすごろく」 <ul style="list-style-type: none"> ・ すごろくをし、こまが止まったところの質問に答える。他の人たちは、「なぜ?」「もう少しわしく教えて」などたずねる。 ○「形はかわっても……」

日 文	<p>・時代とともに形をかえてきた電話について、写真と共に紹介している。</p> <p>○『おもてなし』って、何だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本各地で見られるおもてなしの取組を、小学生の作文や写真と共に示している。 <p>○「えっ、こんなに……!？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本中の3年生が、歯みがき中、水道の水を止めなかったら、出しっぱなしになる水のかさは、学校のプール172はい分になるなどの例を挙げ、深く気にせず行動してはいないか考えさせている。 <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <p>○「木の中にバットが見える」(C13 勤労, 公共の精神)</p> <p>(ふろく)</p> <p>○「澤村投手のボール」(B9 友情, 信頼)</p> <p>○「富士と北斎」(D20 感動, 畏敬の念)</p> <p>【第4学年】</p> <p>○「時間の使い方をどうしようか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が終わって、家に帰ってから何をどんな順序でするかは、急ぎ度とだじ度を考えて整理するとよいことを図と共に示している。 <p>○「守りたい、この自然」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル(福岡県), ニッポンバラタナゴ(奈良県), キンラン(東京都)を守る活動をしている児童の様子を7枚の写真と共に示している。 <p>○「世界の食事のしかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の方法は、大きく分けて手で食べる, ナイフとフォークで食べる, おはしで食べるの3種類があることを写真と共に示している。 <p>[実在の人物を取り上げた教材]</p> <p>○「いのりの手」(B9 友情, 信頼)</p> <p>○「がむしゃらに」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)</p> <p>○「聞かせて、君の声を！」(D19 自然愛護)</p> <p>○「お父さんのじまん」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>○「浮世絵」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)</p> <p>【第5学年】</p> <p>○「愛されつづける日本のマンガ・アニメ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊島区, 練馬区, サザエさん通り, 水木しげるロードを例に, 日本を代表するマンガやアニメが, 各地の町づくりにも生かされていることを写真と共に示している。 <p>○「米作りから, ちいきのことを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本全国にあるブランド米や米作りで使う道具の改良について写真と共に示している。 <p>○「ニホンウナギに絶滅の危機!？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種に指定されたニホンウナギについて, 生態や数の減少, その原因について
--------	---

て図やグラフと共に示している。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 『命』 (D19 生命の尊さ)
- 「マンガ家 手塚治虫」 (A4 個性の伸長)
- 「ヘレンと共に ―アニー・サリバン―」 (A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「ペルーは泣いている」 (C18 国際理解, 国際親善)
- 『太陽のようなえがお』が命をつなぐ (D19 生命の尊さ)
- 「天から送られた手紙」 (A6 真理の探究)
- 「命の種を植えたい ―緒方洪庵―」 (D19 生命の尊さ)

【第6学年】

- 「食について考える」
 - ・ 大量に食料を輸入しながら, 一方で廃棄を続けている日本の現状を示し, 「もったいない」という言葉をもう一度考えるよう呼びかけている。
- 『命のビザ』で, 今もつながる六千人の命
 - ・ ユダヤ人難民約六千人にビザを発行した外交官杉原千畝にかかわって, ユダヤ人難民の証言や千畝の功績をたたえる記念館や切手などを紹介している。
- 「命を守るために」
 - ・ 災害から自分やほかの人の命を守るために大切なことは何か示している。
- 「よりよく生きる力」
 - ・ 「大」という詩を掲載し, 卒業を前に, 小学校で学んだことをふり返って, これからの生き方を考えてみようと呼びかけている。

日文

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「スポーツの力」 (D22 よりよく生きる喜び)
- 「命のアサガオ」 (D19 生命の尊さ)
- 「それじゃ, ダメじゃん」 (A4 個性の伸長)
- 「東京オリンピック 国旗にこめられた思い」 (C18 国際理解, 国際親善)
- 「地球を一周歩いた男 ―伊能忠敬―」 (A6 真理の探究)
- 「緑の闘士 ―ワングリ・マータイ―」 (C20 自然愛護)
- 「杉原千畝 ―大勢の人の命を守った外交官―」 (C13 公正, 公平, 社会主義)
- 「天下の名城をよみがえらせる ―姫路城―」 (C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「iPS細胞の向こうに」 (A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

<p>日文</p>	<p>○「のぼさんの夢 ー正岡子規ー」(D 2 2 よりよく生きる喜び)</p> <p>○「杉山の声を書く画家 ー豊田三郎ー」(D 2 1 感動, 畏敬の念)</p> <p>・ 他の教育活動と関連付け, より深く考えることができるよう, 「心のベンチ」を設けている。</p>
<p>光文</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○「にっぽんの ぎょうじ ーねんかん」</p> <p>・ 季節に合わせて昔から伝わる行事として2月の節分や7月の七夕などを写真と共に掲載し, 自分たちの地域にも目を向けさせている。</p> <p>○「ぼくの わたしの すてきな がっこう」</p> <p>・ 岡山県のカラマツの木や富山県の木造校舎など, 4つの学校の自慢を紹介している。</p> <p>○「がいこくと にっぽんの ちがひ」</p> <p>・ オーストラリア, フィンランド, イランを例に挙げ, 日本との違いを示している。</p> <p>○「みんな いっしょうけんめい いきて いる」</p> <p>・ 人間や動物の一生懸命生きる姿を6枚の写真で示している。</p> <p>[実在の人物を扱った教材] (ふるく)</p> <p>○「ウォルト・ディズニー ーどうぶつと いっしょにー」(D 1 8 自然愛護)</p> <p>【2学年】</p> <p>○「あいさつが きらいな 王さま」</p> <p>・ はやしただかし作のお話を掲載している。 (内容) あいさつが嫌いな王様があいさつをしたものをろうやに入れるという命令を出した。町にはだれもいなくなる。ろうやの中で人々があいさつの歌を歌い, 楽しそうにしているのを見て, 王様はあいさつの大切さを知る。</p> <p>○「ピカッと ひかる いい ところ」</p> <p>・ 大分県の「つるさきおどり」や神奈川県「にんぎょうだし」など5つのお祭りを写真と共に示し, お祭り以外のいいところにも目を向けるよう呼びかけている。</p> <p>[実在の人物を扱った教材]</p> <p>○「はかたにんぎょうの名人ーこじまよいちー」(A 4 個性の伸長)</p> <p>【第3学年】</p> <p>○「オリンピックのフェアプレー」</p> <p>・ 1964年, 東京オリンピックでのヨットのレースで, 海に投げ出された他国の選手を助けたキエル兄弟を取り上げた「人るいあいの金メダル」などオリンピックでのフェアプレー名場面を3つ挙げている。</p> <p>○「おせちりょうり」</p> <p>・ 家族の幸せや健康を願ってつくるおせち料理, 黒豆やくりきんとんにこめられた意味を紹介し, ほかのおせち料理にこめられた意味を調べてみようと呼びかけている。</p> <p>[実在の人物を扱った教材]</p> <p>○「清作のおてつだい」(C 1 4 家族愛, 家庭生活の充実)</p> <p>○「世界一うつくしい体そうをめざして ー内村航平ー」(A 4 個性の伸長)</p> <p>【第4学年】</p>

- 「地域のねがいでつくられ、守られてきたもの」
 - ・福岡県の白洲灯台，東京都の玉川上水，和歌山県の広村ていぼうについて，写真と概要を掲載し，自分たちの地域にも目を向けさせている。
- 「パラリンピックの競技」
 - ・マラソン，車いすバスケットボール，シッティングバレーボール，柔道について，写真と競技の内容を掲載し，パラリンピックやその選手について調べてみようと呼びかけている。
- 「ノーベル賞の歴史」
 - ・ノーベル賞が作られた経緯や日本人の受賞者などを紹介している。
- 「世界のいろいろな料理」
 - ・メキシコのタコス，ベトナムのフォーなど世界6か国の料理を写真と共に掲載し，ほかの料理や世界の国々に目を向けさせている。
- 〔実在の人物を扱った教材〕
- 「十六番目の代表選手」(B 9 友情，信頼)
- 「ノーベル賞の生みの親 ―アルフレッド・ノーベル―」
(A 5 希望と勇気，努力と強い意志)
(ふるく)
- 「誠の碑」(D 1 8 生命の尊さ)
- 【第5学年】
- 「世界で活躍する日本人」
 - ・レスリングの吉田沙保里，陸上競技の佐藤真海などオリンピックやパラリンピックで活躍する4人の選手がどのような思いで練習や努力をしてきたのか掲載している。
- 「日本の世界遺産」
 - ・文化遺産，自然遺産，複合遺産からなる世界遺産。日本にある世界遺産を写真と共に示している。
- 「よりよく生きるために」
 - ・國中均やマハトマ・ガンジーなど教科書に登場した6人の言葉を写真と共に掲載し，自分のこれからの生き方に目を向けさせている。
- 〔実在の人物を扱った教材〕
- 「帰ってきた，はやぶさ」(A 6 真理の探究)
- 「氷上の挑戦 ―浅田真央―」(A 5 希望と勇気，努力と強い意志)
- 「ガンジーのいかり」(C 1 3 公正，公平，社会主義)
- 「変えたもの・変えなかったもの ―内川聖一―」(A 4 個性の伸長)
- 「命をかけて命を守る ―山岳警備隊―」(D 1 9 生命の尊さ)
- 「ミレーとルソー」(B 1 0 友情，信頼)
- 「富士観測所を作るために」(A 5 希望と勇気，努力と強い意志)
- 「マララ・ユスフザイ ―一人の少女が世界を変える―」
(D 2 2 よりよく生きる喜び)
- 「ホペイロのヤマさん」(D 2 2 よりよく生きる喜び)

<p>光文</p>	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「パラリンピックの用具」 <ul style="list-style-type: none"> ・義足やテニス用の車いすなど、パラリンピックの競技で使用される6つの用具を写真と共に掲載している。 ○「教育や学問で活躍した人々」 <ul style="list-style-type: none"> ・伊能忠敬やシーボルトなど江戸時代の私塾の先生5人について写真や絵、エピソードを掲載している。 ○「わたしはどうひろがる？」 <ul style="list-style-type: none"> ・心理カウンセラーや漁師など6つの仕事や生き方を掲載し、他のものにも目を向けさせている。 <p>[実在の人物を扱った教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「夢に向かって -三浦雄一郎-」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「鑑真和上」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「技術で『障がい』をなくしたい -遠藤 謙-」(A6 真理の探究) ○「誠実な人 -吉田松陰-」(A2 正直, 誠実) ○「お茶の心」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度) ○「六千人の命を救った決断 -杉原千畝-」(C13 公正, 公平, 社会主義) ○「すあしにサンダルの天使 -マザー・テレサー-」(D22 よりよく生きる喜び) ○「生命のメッセージ」(D19 生命の尊さ) ○「命と向き合う人生」(D19 生命の尊さ) ○「負けないで」(D19 生命の尊さ) ○「ふろく」 ○「羽ばたけ, 折り鶴」(D19 生命の尊さ)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科や特別活動等の学習につなげて考えることができるよう、コラムを掲載している。また、毎時間の教材の終わりに「広げる」を設定し、児童が授業で学んだことを生活の中で実践してみたり、もっと深めたりする工夫がある。

【第1学年】

- 「がんばって いるね」
 - ・学校や家で、誰かのために自分ができることを考えて書く。
- 「じぶんに しょうじょうを かこう」
 - ・自分のよいところや好きなところをさがして、自分に賞状を書く。
- 「フェアブルに ついて」
 - ・「昆虫記」で昆虫の世界を楽しい読み物にして広めた、アンリ・フェアブルのことを、2枚の写真と共に紹介している。
- 「せかいの えにつき」
 - ・ブルネイやスリランカなど5つの国の友だちが書いた絵日記を紹介し、その国のくらしに目を向けさせている。
- 「きれい ふしぎ」
 - ・雪の結晶や青空にかかる虹など美しいもの・不思議なもの5つを写真で紹介している。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「空いろのたまご」(D18 自然愛護)
- 「みらいにむかって」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「大すきだから」(A4 個性の伸長)

【第2学年】

- 「みんな みんな 生きているよ」
 - ・人間の赤ちゃんや小鳥のひななど5枚の写真を掲載している。出生時のことを聞く活動を促し、書かせる。
- 「せかいのきゅうしょく」
 - ・イタリア, 韓国など3つの国を取り上げ、給食のメニューや食べ方などを写真と共に掲載している。
- 「親切って, どんなこと」
 - ・自分がした親切, 見た親切を想起させ、書かせる。
- 「野口英世について」
 - ・感染症の研究に力を注いだ野口英世のことを, 4枚の写真と年表と共に紹介している。
- 「むねをはって」
 - ・これからがんばろうと思うことを書かせる。
- 「どうぶつやしよくぶつを大切に」
 - ・犬, アサガオなど3枚の写真を掲載し, 身近な動物や植物のために自分ができることを書かせる。
- 「自分をもっと知ろう」
 - ・自分の得意なことや好きなことを想起させ, 表に書き込ませる。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「おらもしゃになる」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「せかいのなかまと 石川佳純」(C16 国際理解, 国際親善)

○「ぞうさんの歌と絵」(A4 個性の伸長)

【第3学年】

- 「心のはたを作ろう」
 - ・たくさんの友だちをつくり，なかよくすごすようなじまんできるよいクラスにするために，一人一人が気をつけることは何か考えるよう促している。
- 「ささえられている命」
 - ・自分の命がどんな人たちによって支えられているかや，学習を通して心に残ったことや自分に生かせそうなことを書かせる。
- 「世界中の人々と心をつなごう」
 - ・「他の国のことについてもっと知る」，「他の国の文化に親しむ」など4つの項目から自分にできそうなことを選ばせ，その他にできることやしてみたいことを書かせる。
- 「ナイチンゲールに学ぼう」
 - ・イギリスの看護師ナイチンゲールの功績を写真と共に紹介している。
- 「あなたのよいところ」
 - ・相田みつをの「にんげんだもの」の詩を掲載し，自分のよいところを家の人に聞いて書く活動を促している。
- 「二宮金次郎の生き方に学ぼう」
 - ・二宮金次郎の生い立ちや活躍を紹介し，自分が学級で役に立てることと，家の人の仕事をしているときの気持ちを書く活動を促している。
- 「地球のことを考えてみよう」
 - ・地球のことを考えている二人の言葉を掲載し，どんなことを感じたか書くよう促している。

学研

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「ソフトボールで金メダルを 上野由岐子」(A5 希望と勇気，努力と強い意志)
- 「フローレンス・ナイチンゲール物語」(B6 親切，思いやり)
- 「心にひびくかねの音」(A1 善悪の判断，自律，自由と責任)
- 「六さいのおよめさん」(D18 生命の尊さ)
- 「鬼太郎をかいたゲゲさん」(A4 個性の伸長)
- 「パラリンピックにねがいをこめて」(C12 公正，公平，社会主義)
- 「わらじ作り」(C13 勤労，公共の精神)
- 「すきなことから 高橋尚子物語」(A5 希望と勇気，努力と強い意志)

【第4学年】

- 「『命』ってどんなものですか」
 - ・「『命』ってあたたかい」という題の児童作文を，赤ちゃんを抱いている児童の写真と共に掲載し，生まれたときの様子を家の人に聞く活動を促している。
- 「だれとでも仲よく」
 - ・自分の好ききらいなどによって，知らないうちに不公平な態度で接していないか話し合うよう促している。

- 「外国では何を食べているのかな」
 - ・世界の国々の料理や食べ方の違いについて、タイとバングラデシュを例に、3枚の写真と共に紹介している。
- 「日本を変えたジョン万次郎」
 - ・江戸時代にアメリカに渡り、日本の発展に尽くしたジョン万次郎の功績を写真と共に紹介している。
- 「宮沢賢治の生がい」
 - ・誕生から三十七歳で亡くなるまでの宮沢賢治の生涯を2枚の写真と共に紹介している。
- 〔実在の人物を取り上げた教材〕
- 「ヘレン・ケラー物語」(C12 公正, 公平, 社会正義)
- 「レスリングの女王 吉田沙保里」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「へこたれない きせきのりんご」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「国のちがいをこえて」(C17 国際理解, 国際親善)
- 「いのりの手」(B9 友情, 信頼)
- 「なみだとえがおの『なでしこジャパン』」(B9 友情, 信頼)
- 「アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん」(C17 国際理解, 国際親善)
- 「石っこけんさん 宮沢賢治」(D19 自然愛護)
- 「谷川岳に生きたドクター」(B7 感謝)
- 【第5学年】
- 「これからの自分について考える」
 - ・責任とはどんなものか考えるよう促し、自分と友だちの考えを書かせる。
- 「わたしたちにできる3R」
 - ・地球の環境を守るためにわたしたちができることとして3R(リデュース=減らす, リユース=くり返し使う, リサイクル=再利用する)を紹介している。
- 「よりよく生きるために」
 - ・自分の心の中にある澄んだ心とくもった心, あこがれの人のどんな生き方に心をひかれるか, 自分の目指す生き方の3点について考えるよう促している。
- 「友情で友達と心をつなごう」
 - ・友達についての詩やソクラテスの言葉を掲載し, 友達がいてよかったと感じるのはどんなときか考えるよう促している。
- 「思春期とは, どんなもの」
 - ・大人に近づいていく思春期とはどのようなものか5つ挙げ, 成長のあかしであることを述べている。
- 「知っていますか, 日本の世界遺産」
 - ・日本にある世界遺産を日本地図と共に掲載し, 興味をもったものを調べたり, 世界遺産について家の人と話し合ったりするよう促している。
- 「武士の行い」
 - ・米沢藩の上杉鷹山が, 農家の稲の取入れの場に通りかかり, 進んで手伝ったエピソードを紹介している。
- 「もっとかがやく自分になるには」
 - ・自分の長所と短所を友だちに聞き, 書く活動を促す欄を設けている。また, 家の

人にも自分の長所と短所を聞くよう促している。

- 「日本と世界をつないだ新渡戸稲造」
 - ・農学博士・教育者であった新渡戸稲造の功績を3枚の写真と共に紹介している。
- 「命のともしび」
 - ・命についての詩を写真と共に掲載し、「命」を詩で表現するよう促している。
- 「ビクトル・ユゴーと『ああ無情』」
 - ・『ああ無情』のあらすじと、舞台でも世界や日本で多く演じられていることを紹介している。
- 「支え合いに感謝して」
 - ・手を重ねる写真と共に詩を掲載し、家族・学校・地域などで支えてくれている人に感謝の気持ちを伝えるよう促している。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「もったいない」(D20 自然愛護)
- 「電池が切れるまで」(D19 生命の尊さ)
- 「心の中のりゅう」(D22 よりよく生きる喜び)
- 「世界に羽ばたく『航平ノート』」(A5 希望と勇気、努力と強い意志)
- 「植物とともに 牧野富太郎」(A6 真理の探究)
- 「日本の『まんがの神様』」(A4 個性の伸長)
- 「ライバルは自分自身」(A5 希望と勇気、努力と強い意志)
- 「太平洋のかけ橋 新渡戸稲造」(C18 国際理解、国際親善)
- 「いじめをなくすために」(C13 公正、公平、社会正義)
- 「二十分間の出来事」(D19 生命の尊さ)
- 「もう一つの塔」(C17 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)
- 「ペルーは泣いている」(C18 国際理解、国際親善)

【第6学年】

- 「自分の生活を見つめて」
 - ・「食卓に出した料理を食べ残した理由」と「大地震に備えてとっている対策」の2つの棒グラフを示し、わたしたちが心がけることを話し合わせる。また、家の人と話し合うよう呼びかけている。
- 「続く命 つながる命」
 - ・小児がんで六歳の娘を亡くした鈴木中人さんが全国で行っている「命の授業」について紹介している。
- 「世界で生かす自分の力」
 - ・発展途上国の国作りに協力するボランティア、青年海外協力隊。その活動を4枚の写真と共に紹介している。
- 「できることから始めよう」
 - ・地域や社会のために自分たちができると、活動して感じたことを表に書かせる。
- 「自分の生き方は自分で決める」
 - ・小川笹船のような生き方をした人を調べ、自分の生き方について考える活動を促し

<p style="text-align: center;">学研</p>	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「気高い志 一石井十次の場合」 <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代に日本で初めて孤児院を作った石井十次の生き方を紹介している。 [実在の人物を取り上げた教材] ○「こだわりのイナバウアー」(B 8 感謝) ○「ホワイトハウスにできた柔道場」(C 1 8 国際理解, 国際親善) ○「チョモランマ清掃登山隊」(D 2 0 自然愛護) ○「古きよき心」(C 1 7 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度) ○「米作りがアフリカを救う」(C 1 8 国際理解, 国際親善) ○「どれい解放の父 リンカン」(C 1 3 公正, 公平, 社会正義) ○「ミッキーマウスの誕生」(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「命を見つめて」(D 1 9 生命の尊さ) ○「マザー・テレサ」(C 1 4 勤労, 公共の精神) ○「光をともした『魔法の薬』」(A 6 真理の探究) ○「小川笙船」(D 2 2 よりよく生きる喜び) ○「市民に愛される動物園を目指して」(A 5 希望と勇気, 努力と強い意志) ○「ラッシュアワーの惨劇」(D 1 9 生命の尊さ) ○「熊野の森を守る 南方熊楠」(D 2 0 自然愛護) ○「ラグビー日本代表のかがやき」(C 1 6 よりよい学校生活, 集団生活の充実) <p>・ 教材で学習したことを基に, 自分の生活や生き方につなげて考えることができるよう, 「つなげよう」「広げよう」等の4種類の「学び方のページ」を掲載している。</p> <p>・ 実在の人物を取り上げた教材が全学年合わせて50ある。内容項目では, 「希望と勇気, 努力と強い意志」が10で一番多く, 錦織圭, 吉田沙保里, 内村航平などスポーツ選手を多く取り上げている。</p>
<p style="text-align: center;">廣あかつき</p>	<p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「じぶんで まもる あんぜんな まい日」 <ul style="list-style-type: none"> ・「どうろでふざけない。」「とび出ししない。」など気をつけること6つを絵と共に示し, きまりをまもって安全な毎日にしようと呼びかけている。 [実在の人物を取り上げた教材] ○「虫が 大すき—アンリ・ファーブル—」(D 1 8 自然愛護) ○「みんなのために—フローレンス・ナイチンゲール—」(C 1 2 勤労, 公共の精神) <p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分で まもるよ 自分の あんぜん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「あぶないあそびをしない。」「人のいない場しょへ行かない。」など気をつけること

6つを絵と共に示し、よく考えて自分のことは自分でまもろうと呼びかけている。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「自分で きめた ことだから―福原 愛―」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「わたしの 学校 いい 学校」(C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実)
- 「小さな ど力の つみかさね―二宮 金次郎―」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)

【第3学年】

- 「きけんから自分自身を守る心がけ」
・「交通ルールを守ります。」「暗くなる前に帰ります。」など気をつけること7つを絵と共に示し、正しい行動が自分の命を守ることに繋がると説いている。
- 「ささえ合って生きているんだね」
・たくさんの人が支え合っている町の様子を掲載し、「わたしたちには、どんなことができるのだろう。」と投げかけている。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「村をすくった『長十郎なし』」(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「電池が切れるまで」(D18 生命の尊さ)
- 「ぬれた本」(A2 正直, 誠実)
- 「きっとできる―高橋 尚子―」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「光るえんがわ―北里 柴三郎―」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「母のせなか―渋谷 栄―」
(C12 公正, 公平, 社会正義, B6 親切, 思いやり)

【第4学年】

- 「きけんから自分自身を守るために」
・「はんざいから身を守る」と「地しんから身を守る」の2つを挙げ、自分自身を守るためにどうすればいいか日ごろから考えておくよう説いている。
- 「だれもが住みよい社会に」
・「段差のない電車の出入り口」や「点字で書かれたけいじ板」「ベビーカーが固定できる席」といったバリアフリー3つを写真と共に紹介している。また、身の回りのバリアフリーを見つけたり、あったらいいなと思うバリアフリーを話し合ったりするよう投げかけている。

〔実在の人物を取り上げた教材〕

- 「文字を書く喜び」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「ゆめはみるものではなく, かなえるもの―澤 穂希―」
(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「妙見山のちかい―岩崎 弥太郎―」(C14 家族愛, 家庭生活の充実)
- 「わたしにはゆめがある―マーティン・ルーサー・キング・ジュニア―」
(C12 公正, 公平, 社会正義)
- 「人間愛の金メダル」(D18 生命の尊さ)
- 「ふるさとにとどけ, 希望の舞―羽生 結弦―」

(C16 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)

【第5学年】

- 「命とは、生きるとは、どういうことなのだろう」
 - ・「不思議なこと」「つながっていること」「一つであること」「限りがあること」と小見出しを挙げ、4枚の写真と共に説明している。
- 「わたしたちにできる ボランティア活動」
 - ・大震災で被害を受けた宮城県で、津波を防ぐために植樹活動をしている様子をはじめ、ボランティア活動の写真を8枚掲載している。また、自分の周りで行われているボランティア活動や社会のためにわたしたちができることを考えてみるよう投げかけている。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「イチロー選手のグローブ」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「はじめての実験—山中 伸弥—」(A6 真理の探究)
- 「魚の世界」(C13 公正, 公平, 社会正義)
- 「明日もまた生きていこう」(D19 生命の尊さ)
- 「百一さいの富士—奥村 土牛—」(D21 感動, 畏敬の念)
- 「ヘレンとともに—アニー・サリバン—」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「時計台の鐘」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「だれにでもある, こんな心」(A3 節度, 節制)
- 「明日をひらく橋—西岡 京治—」(C18 国際理解, 国際親善)

廣
あ
か
つ
き

【第6学年】

- 「命について考えよう」
 - ・赤ちゃんの手, 老人の手の2枚の写真と共に, 誕生の喜び, 受け継がれる命, 限りある命についての文章が書かれている。また, 自分自身の尊い命について考えたことがあるか, 自分自身のかけがえのない命を見つめてみるよう投げかけている。
- 「地球共通の気配りから」
 - ・ユニバーサルデザインについて, 「かんの開け口の形」「持ちやすいペットボトル」など8つを写真と共に示し, だれもが暮らしやすい社会についていろいろと考えてみようとして投げかけている。

[実在の人物を取り上げた教材]

- 「心は変わる」(A4 個性の伸長)
- 「ヤリガンナ —西岡 常—」(C17 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)
- 「自由だからこそ」(A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)
- 「三六五×十四回分のありがとう」
(C15 家族愛, 家庭生活の充実, D19 生命の尊さ)
- 「夢に向かって」(A5 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 「この本のすべてを—『解体新書』の誕生」(A6 真理の探究)
- 「ぼくの仕事は便所そうじ」(C14 勤労, 公共の精神)

<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「兵後さんのパラリンピック」(A 2 正直, 誠実) ○「太平洋の橋になりたい -新渡戸 稲造-」(C 1 8 国際理解, 国際親善) ○「『がんばる』はぼくの宿題」(B 7 親切, 思いやり) ○「二つの『もったいない』」(A 3 節度, 節制) ○「地球の時間, ヒトの時間」(D 2 0 自然愛護) ○「未来を変える挑戦 -スティーブ・ジョブズ-」 (A 5 希望と勇気, 努力と強い意志)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の教育活動との関連を図りながら, 身近な問題として考えることができるよう, 巻末に, 「生命尊重」「ともに生きる社会」等についての読み物を掲載している。

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦分量や内容項目の数
方法	○判, ページ総数, 内容項目数

発行者	調査・研究内容									
	判		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
東書	AB	ページ	120	140		162	166		178	194
		別冊p	なし	なし		なし	なし		なし	なし
	内容項目数	A1	2	2	A1	2	2	A1	1	1
		A2	3	2	A2	2	2	A2	1	1
		A3	3	3	A3	2	3	A3	2	3
		A4	1	1	A4	1	1	A4	1	1
		A5	2	2	A5	2	2	A5	2	2
		B6	3	3	B6	3	3	A6	1	1
		B7	2	1	B7	1	1	B7	2	2
		B8	2	2	B8	1	1	B8	1	1
		B9	2	2	B9	2	2	B9	1	1
		C10	2	2	B10	1	1	B10	2	2
		C11	1	1	C11	3	2	B11	1	1
		C12	1	1	C12	1	1	C12	3	2
		C13	1	2	C13	2	2	C13	1	1
		C14	2	2	C14	2	2	C14	2	2
		C15	1	1	C15	1	1	C15	1	1
		C16	1	1	C16	2	2	C16	2	2
		D17	3	4	C17	1	1	C17	2	2
		D18	2	2	D18	3	3	C18	2	2
D19	1	2	D19	2	2	D19	3	3		
			D20	2	2	D20	2	2		
						D21	2	2		
						D22	1	1		
計		35	36		36	36		36	36	

・判はAB判。
 ・ページ総数は、第1学年が120ページ、第6学年は194ページ。別冊はなし。
 ・全学年を通して、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。

判	調査・研究内容								
		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
AB	ページ	122	130		142	158		154	154
	別冊p	50	50		50	50		54	54
内容項目数	A1	3	3	A1	2	2	A1	2	2
	A2	2	2	A2	2	2	A2	1	1
	A3	3	3	A3	3	3	A3	2	2
	A4	1	1	A4	1	1	A4	1	1
	A5	2	2	A5	2	2	A5	2	2
	B6	2	3	B6	3	3	A6	1	1
	B7	1	1	B7	1	1	B7	2	2
	B8	2	2	B8	1	1	B8	1	1
	B9	2	2	B9	3	3	B9	1	1
	C10	3	3	B10	1	1	B10	1	1
	C11	1	1	C11	3	3	B11	2	2
	C12	1	1	C12	1	1	C12	2	2
	C13	1	1	C13	1	1	C13	1	1
	C14	2	2	C14	2	2	C14	2	2
	C15	1	1	C15	1	1	C15	1	1
	C16	1	1	C16	1	1	C16	2	2
	D17	3	3	C17	1	1	C17	2	2
	D18	1	1	D18	3	3	C18	2	2
	D19	2	2	D19	1	1	D19	3	3
				D20	2	2	D20	2	2
							D21	1	1
							D22	1	1
計		34	35		35	35		35	35

・判は、AB判。
・第1学年は122ページで、徐々に増えて第6学年では154ページ。第1～4学年では50ページ、第5・6学年では54ページの別冊（教科書「活動」）が付いている。
・全学年を通して、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。

判	調査・研究内容								
		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
AB	ページ	122	134		138	146		154	154
	別冊p	なし	なし		なし	なし		なし	なし
内容項目数	A1	2	2	A1	2	1	A1	1	2
	A2	1	1	A2	1	1	A2	1	1
	A3	3	3	A3	4	2	A3	1	2
	A4	2	1	A4	1	1	A4	1	2
	A5	1	2	A5	2	4	A5	3	4
	B6	2	2	B6	2	2	A6	1	1
	B7	1	2	B7	2	1	B7	1	1
	B8	1	2	B8	2	2	B8	1	1
	B9	2	2	B9	1	2	B9	1	1
	C10	1	2	B10	1	1	B10	2	2
	C11	1	1	C11	2	1	B11	1	1
	C12	2	1	C12	2	1	C12	2	1
	C13	1	1	C13	1	2	C13	2	1
	C14	3	1	C14	1	2	C14	1	1
	C15	2	2	C15	1	1	C15	2	1
	C16	1	1	C16	4	4	C16	1	1
	D17	3	3	C17	1	1	C17	4	4
	D18	2	3	D18	2	3	C18	2	2
	D19	2	2	D19	1	1	D19	1	1
				D20	1	1	D20	2	1
							D21	1	1
							D22	2	2
計		33	34		34	34		34	34
<p>・判はAB判。 ・第1学年は122ページで、徐々に増えて第6学年では154ページ。別冊なし。 ・補充教材がある。(第1学年は4教材、第2～6学年は5教材を掲載)</p>									

判	調査・研究内容								
		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
B5	ページ	129	153		177	185		197	209
	別冊p	なし	なし		なし	なし		なし	なし
内容項目数	A1	2	2	A1	2	2	A1	2	2
	A2	2	2	A2	2	2	A2	1	1
	A3	2	2	A3	2	2	A3	2	1
	A4	2	2	A4	2	2	A4	1	1
	A5	2	2	A5	1	1	A5	2	2
	B6	2	2	B6	2	2	A6	1	1
	B7	2	2	B7	2	2	B7	2	2
	B8	2	2	B8	1	1	B8	2	2
	B9	2	2	B9	2	2	B9	1	1
	C10	2	2	B10	2	2	B10	2	2
	C11	2	2	C11	2	2	B11	2	2
	C12	1	2	C12	2	2	C12	2	2
	C13	2	2	C13	2	2	C13	2	2
	C14	2	2	C14	2	2	C14	1	1
	C15	1	1	C15	2	2	C15	1	1
	C16	1	1	C16	1	1	C16	2	2
	D17	3	3	C17	1	1	C17	2	1
	D18	1	1	D18	3	3	C18	1	2
	D19	1	1	D19	1	1	D19	3	3
				D20	1	1	D20	1	1
							D21	1	1
							D22	1	2
計		34	35		35	35		35	35
<ul style="list-style-type: none"> ・判は、B5判。 ・第1学年は129ページで、徐々に増えて第6学年では209ページ。別冊なし。 ・全学年を通して、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。 									

発行者

光村

判	調査・研究内容								
		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
AB	ページ	146	166		178	186		186	186
	別冊p	41	42		42	42		42	42
内容項目数	A1	3	3	A1	1	3	A1	2	2
	A2	1	2	A2	2	1	A2	1	1
	A3	4	3	A3	3	3	A3	2	2
	A4	2	1	A4	2	1	A4	1	1
	A5	1	2	A5	2	3	A5	1	2
	B6	1	3	B6	3	2	A6	1	1
	B7	1	1	B7	1	1	B7	2	2
	B8	3	3	B8	2	2	B8	1	1
	B9	3	1	B9	3	2	B9	1	1
	C10	3	3	B10	1	3	B10	4	2
	C11	2	2	C11	3	1	B11	2	2
	C12	1	2	C12	2	2	C12	3	3
	C13	1	1	C13	2	2	C13	2	2
	C14	2	1	C14	1	1	C14	2	2
	C15	2	2	C15	1	1	C15	2	1
	C16	3	2	C16	2	2	C16	2	2
	D17	2	3	C17	1	2	C17	2	2
	D18	1	1	D18	3	3	C18	2	2
	D19	1	2	D19	1	2	D19	3	4
				D20	2	1	D20	1	1
							D21	1	2
							D22	2	2
計		37	38		38	38		40	40
<p>・判はAB判。</p> <p>・第1学年は146ページで、徐々に増えて第6学年は186ページ。第1学年が41ページ、第2～6学年は42ページの別冊ノートが付いている。</p> <p>・教材数の内、「ふろく」が第1～4学年は3教材、第5・6学年は4教材あり、同じ印の教材と入れ替えて扱うことができる。</p>									

発行者

日文

調査・研究内容

判		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
A4 変型	ページ	158	166		182	186		190	194
	別冊p	なし	なし		なし	なし		なし	なし
内容項目数	A1	3	3	A1	2	2	A1	2	1
	A2	2	2	A2	1	1	A2	2	2
	A3	5	4	A3	2	2	A3	1	1
	A4	1	1	A4	1	1	A4	2	2
	A5	1	1	A5	1	2	A5	2	2
	B6	2	4	B6	2	2	A6	1	2
	B7	2	1	B7	2	2	B7	2	2
	B8	3	2	B8	2	1	B8	1	1
	B9	2	2	B9	4	4	B9	1	1
	C10	3	2	B10	2	2	B10	2	2
	C11	1	2	C11	4	4	B11	3	2
	C12	1	2	C12	1	1	C12	2	2
	C13	2	2	C13	1	2	C13	2	2
	C14	2	1	C14	2	2	C14	3	2
	C15	2	2	C15	2	2	C15	1	1
	C16	1	2	C16	3	2	C16	1	1
	D17	4	4	C17	1	1	C17	2	4
	D18	2	1	D18	4	4	C18	1	1
	D19	1	2	D19	2	1	D19	4	4
				D20	1	2	D20	2	2
						D21	1	1	
						D22	2	2	
計		40	40		40	40		40	40

光文

- ・判は、A4変型。(教科書の縦がA4より少し短い)
- ・第1学年は158ページで、徐々に増えて第6学年は194ページ。別冊なし。
- ・教材数の内、第1学年は「ふろく」が6教材、第2～6学年は5教材ある。
- ・全学年を通して、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。

調査・研究内容

判		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
A4	ページ	132	136		152	156		164	168
	別冊p	なし	なし		なし	なし		なし	なし
内容項目数	A1	3	3	A1	3	3	A1	3	3
	A2	1	2	A2	1	1	A2	1	1
	A3	3	2	A3	2	1	A3	1	1
	A4	2	2	A4	1	2	A4	1	1
	A5	2	2	A5	2	2	A5	2	2
	B6	3	3	B6	3	3	A6	1	1
	B7	1	1	B7	1	1	B7	3	3
	B8	2	2	B8	1	1	B8	1	1
	B9	2	2	B9	3	3	B9	1	1
	C10	2	2	B10	1	1	B10	2	2
	C11	2	2	C11	2	2	B11	2	2
	C12	1	1	C12	2	2	C12	1	1
	C13	1	1	C13	1	1	C13	1	1
	C14	1	1	C14	1	1	C14	1	1
	C15	1	1	C15	1	1	C15	1	1
	C16	1	2	C16	2	2	C16	1	1
	D17	3	3	C17	2	2	C17	2	2
	D18	2	2	D18	3	3	C18	2	2
	D19	1	1	D19	1	2	D19	3	3
				D20	2	1	D20	2	2
							D21	1	1
							D22	2	2
計		34	35		35	35		35	35

- ・判は、A4判。
- ・第1学年は132ページで、徐々に増えて第6学年では168ページ。別冊なし。
- ・全学年を通してA1「善悪の判断、自律、自由と責任」、Bの視点「親切、思いやり」、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。

判	調査・研究内容								
		第1学年	第2学年		第3学年	第4学年		第5学年	第6学年
AB	ページ	118	118		126	138		162	170
	別冊p	60	60		64	64		72	72
内容項目数	A1	3	3	A1	3	3	A1	3	3
	A2	2	2	A2	2	2	A2	2	2
	A3	3	3	A3	2	2	A3	2	2
	A4	1	1	A4	1	1	A4	1	1
	A5	2	2	A5	2	2	A5	2	2
	B6	3	3	B6	3	3	A6	1	1
	B7	1	1	B7	1	1	B7	3	3
	B8	2	2	B8	2	2	B8	1	1
	B9	2	2	B9	2	2	B9	1	1
	C10	3	3	B10	1	1	B10	2	2
	C11	1	1	C11	3	3	B11	1	1
	C12	1	1	C12	1	1	C12	2	2
	C13	2	2	C13	1	1	C13	1	1
	C14	1	1	C14	2	2	C14	1	1
	C15	1	2	C15	1	1	C15	2	2
	C16	1	1	C16	2	2	C16	1	1
	D17	3	3	C17	1	1	C17	2	2
	D18	1	1	D18	3	3	C18	1	1
	D19	1	1	D19	1	1	D19	3	3
				D20	1	1	D20	1	1
							D21	1	1
							D22	1	1
計		34	35		35	35		35	35

・判は、AB判。
 ・第1学年は118ページで、徐々に増えて第6学年では170ページ。第1・2学年は60ページ、第3・4学年は64ページ、第5・6学年は72ページの別冊ノートが付いている。
 ・全学年を通して、A1「善悪の判断、自律、自由と責任」、Bの視点「親切、思いやり」、Dの視点「生命の尊さ」を重点的に扱っている。

廣あかつき

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	○いじめ・情報モラルに関する教材等の数, 教材名, 内容項目

発行者		調査・研究内容			
【いじめ】(太枠は, ユニット)					
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
東書	1	4	「ダメ」	だいすきなプリンをくまくんに食べられていやだった気持ちを, 次の日くまくんに伝えて分かってもらう。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「こころはっぱ」	心の声を聞いて色が変わる「こころはっぱ」。友達がいなくて寂しそうないのしくんにたぬきやきつねやうさぎが声をかけ, みんなで楽しく遊ぶとこころはっぱの色がぱあっと変わる。	B9 (友情, 信頼)
			「はしのうえのおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが, くまに親切にされたことをきっかけに, やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切, 思いやり)
			「二わのことり」	やまがらのたんじょう日, ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく, 音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそさざいは, うぐいすのうちを抜け出し, やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは, 目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)
	2	4	「おれたものさし」	先生のものさしを折ったのぼるは, ひろしのせいにする。しかし, その様子を見ていたぼくは, ひろしに渡されたものさしをとり, のぼるに渡し返した。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「かっぱわくわく」	かっぱのかんすけはお月見池に行く途中で子ぎつねと小鳥を助ける。帰り道が分からなくなり困っていると, 今度は助けた子ぎつねと小鳥が助けてくれた。	B6 (親切, 思いやり)
			「大すきなフルーツポンチ」	給食当番のぼくは, なかよしのしゅんたさんの器にはたくさんのフルーツポンチを入れた。そのことを隣でパンを配っていたかおりに指摘される。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「森のともだち」	引っ越してきたコンキチはいじわるでらんぼうなので, コンキチを見るとみんな逃げてしまう。ある日, コンキチはおおかみに押さえられ, つかまってしまう。みんなはコンキチを助けようとし, コンキチが逃げようとしたすきに, おおかみはピョンコにとびかかった。逃げたコンキチが急いで戻ると, みんなはけがをしたピョンコの手当てをしていた。	B9 (友情, 信頼)
	3	3	「いいち, にいつ, いいち, にいつ」	運動会の二人三脚であいちゃんと一緒にはいやだと言うみどりちゃん。私も心の中では同じことを考えていたが, あいちゃんと組むことになった。しかし, 私は運動会に向けて, 声を合わせながら毎日二人で練習した。	B9 (友情, 信頼)
			「しょうたの手紙」	転校してきたしょうたが無視をされたり仲間外れにされたりすることで, 学校に行け	C15 (よりよい学校生)

東書			なくなる。しょうたからクラスみんなにあてた手紙を通して、クラスのみんなは「みんななかよし、楽しいクラス」について考え直す。	活, 集団生活の充実)	
		「みさきさんのえがお」	図書係として本を貸し出すぼくは、大のなかよしのしゅんやさんから決められた順番より先に本を貸して欲しいと言われた。悩んだ末、「だめだよ。」と断る。	C12 (公正, 公平, 社会正義)	
	4	5	「わたしの見つけた小さな幸せ」	病気で3週間学校を休んだ私は、今まで気付かなかった小さな幸せをいっぱい見つけることができた。	D18 (生命の尊さ)
			「いっしょになって、わらっちゃだめだ」	ゆうじのことを「サル」と言ってからかうことに対して、周りのみんなも笑っている。どうしようと考えるぼくは、みんなが笑う中、だまって教室を出て行く。その行動から、ゆうじをからかう声は聞かれなくなった。	A3 (節度, 節制)
			「ドッジボール」	昼休みにしていたドッジボールの判定を巡って、言い合いになった。そのことを通して、登は、特定の友達の言うことに何でも賛成する友達に考え直すよう促す発言をする。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「合い言葉は『話せばわかる!』」	外国から転校してきたトムは、そうじをしない。帰りの会でトムにそうじをしない理由を聞くと、今までは、自分たちでそうじをしていなかったことが分かった。	B10 (相互理解, 寛容)
			「となりのせき」	席替えの時、私はたけしの隣になったことに対して不満の声をもらしてしまう。しかし、友達から知らなかったたけしの一面について聞き、考え直す。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
	5	3	「ノンステップバスのできごと」	車いすの人がバスに乗ってきたことに対して迷惑な気持ちを抱いていたぼくに、「バスに乗るのはあたりまえ。」という言葉が聞こえ、自分の考えを振り返る。	B7 (親切, 思いやり)
			「転校生がやってきた」	転校生の勇馬が仲間外れにされる。しかし、勇馬から声をかけられたぼくも、くつをかくされてしまう。そのことを帰りの会で非難したことから、学級の中にいけないことは「いけない」と言える雰囲気が出た。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
			「心のレシーブ」	友達のがんばりを認められない陽子だが、直希と良夫が放課後練習していたことを知り、自分の考えを振り返る。	B10 (友情, 信頼)
	6	2	「ばかじゃん!」	友達から「ばかじゃん!」と言われることが気になる恵理菜は、他の友達との関係をきっかけに、「ばかじゃん!」と言う理由をきのちゃんにきちんと聞いてみることにした。そして、誤解があったことが分かった。	B10 (友情, 信頼)
			「ピアノの音が……」	マンションに住む人から苦情が入り、管理組合の理事長の岡さんは、話し合いを提案する。何か問題が起きたときには、当事者が顔を合わせて言いたいことが言い合える関係を築くことが大事である、ということに気付いた。	C12 (規則の尊重)

【情報モラル】					
学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
東書	1	1	「いたずらがき」	かばきちが、黒板に書いてある日直の名前の横にいたずらがきをすることで、日直だけでなく、周りの友達も悲しい気持ちにさせてしまう。	A2 (正直, 誠実)
	2	1	「いのちはいくつもあるのかな」	命が大切な理由について考える学習において、「ゲームの中ではしんでも生きかえるよ。」という男の子のつぶやきが記載されている。	D17 (生命の尊さ)
	3	1	「それは、だれの作ひん」	ぼくが作った「町のお店やさんマップ」へホームページに載っていたグラフを貼り付けて母に見せた。グラフを無断で使っていることを指摘され、ぼくは考え直す。	C11 (規則の尊重)
	4	1	「けいたい電話の落としあな」	とも子は、けいたい電話を欲しいと父母に相談するが「けいたい電話安全教室」の後で考えようと言われた。その安全教室を通してとも子は父が心配していたことを思い出し、もう一度みんなで相談しようと考え直す。	A3 (節度, 節制)
	5	1	「これも、チェーンメール」	友達や先生に送ったメールから、チェーンメールは迷惑メールだけではないことを改めて知る。	C12 (規則の尊重)
	6	1	「けいたい電話とのつきあい方」	携帯電話を巡るいろいろな問題に対する意見を読んで、携帯電話とのつきあい方を考える。	A3 (節度, 節制)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、21教材。 ・ 全学年において、「いじめのない世界へ」というユニットを設定している。ユニットは、いじめを題材として扱った教材といじめを直接的には扱わない教材を組み合わせている。 ・ 「情報モラル」に関する教材は、全学年において1教材ずつ扱っている。(全部で6教材) 					
【いじめ】					
学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
学図	1	3	「あなたなら、どうする？」	運動会のリレーで抜かされたきつねくん。挿絵を見て、パンダくんは何と言っているのか、あなたならどうするかを考える。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「はしの上のおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが、くまに親切にされたことをきっかけに、やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切, 思いやり)
			「三つのことり」	やまがらのたんじょう日、ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく、音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそざいは、うぐいすのうちを抜け出し、やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは、目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)
	2	2	「こくぼんといちょうの木」	なかよしのひろしくんとぼくは、休み時間にけんかをしてしまう。授業が終わった誰もいない教室で、ぼくはひろしくんの悪口を黒板に大きく書く。しかし、外を見るとひろしくんが待っていてくれた。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)

学図			「だれからかこうかな」	ぼくは、やすこさんに「わたしに、しんかんせんの絵を一まいかいてくれる？」と言われて返事をするが、その後親友のたかしくんに先に描いてあげることにした。それを聞いたやすこさんが少し怒ったことに気付き、やっぱりやすこさんの絵から描くと言い、今度はたかしくんを怒らせてしまう。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
	3	4	「千羽づるのおみまい」	たけしは、女子と一緒につるを折るかずおを冷やかした。しかし、さえ子のおばあちゃんの入院のことで知り、たけしもさえ子のおばあちゃんにお見舞いのカードを作った。	B6 (親切, 思いやり)
			「貝がら」	ぼくは、転校してきた中山君が何も話してくれないことに腹が立つ。しかし、その理由は、中山君の言葉を聞いて笑う友達がいることだと気付く。	B9 (友情, 信頼)
			「同じなかまだから」	ひろしととも子は、運動会で光夫と組むのを嫌がっていたが、とも子はよし子からの手紙を思い出しはっとした。そして、光夫を外して勝とうとするのはまちがっていると、ひろしにはっきりと話した。	B9 (友情, 信頼)
			「大なわとび」	休み時間に大なわとびの新記録をめざして、よう子を仲間に入れようとしな。新記録は出たものの、みち子はうれしくない。「きろくより大事なものがあるでしょ！」とみんなに訴える。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
	4	1	「ひとりぼっちの登君」	ぼくは、いつもひとりぼっちの登君のことが気になっていた。社会科見学の時、登君もお弁当を食べる仲間に入れようと言うと、「二人で食べればいいじゃないか。」と言われ、とても迷ってしまう。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
	5	3	「すれちがい」	飯田さん、中村さんのそれぞれから見た出来事を通して、友達と「すれちがい」が起きてしまったら、どうすればいいかを考える。	B11 (相互理解, 寛容)
			「マリアン・アンダーソン」	黒人だからと入学願書を受け取ってもらうことができなかったマリアンは、その後コンクールに出場し続け、聞く人の心をとらえる歌声を響かせた。そして、黒人と白人の壁を少しずつ打ち崩していった。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
			「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りの「サム」は自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して、団員は怒り、無視をした。しかし、ピエロがサムの演技を認めることで、サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)
	6	1	「さわってごらん、ぼくの顔」	顔にふくらんだアザがあることから、じろじろ見られたりいじめられたりしたぼくは、大人になって自分だからできることについて考え、差別やいじめに傷つく人たちの思いを語り部として伝えることにした。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
【情報モラル】					
学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
1		<コラム> 「上手に さそおう, ことわろう」	上手に誘ったり断ったりする言い方について、どのように言えばよいか示されている。	B8 (礼儀)	

学図	2	コラム2	「ことば・じょうほうモラル」 ① <コラム> 「みんながつかうばしょに……」 「ことば・じょうほうモラル」 ②	森の掲示板にいたずらがきがされていた。これを見たみんなは、いい気持ちがしない。「かくまえに、よくかんがえよう。」と記述されている。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
		コラム2	<コラム> 「すてきなことばで, 友だちいっぱい!」 「ことば・じょうほうモラル」 ①	もらってうれしいことばを10こ示し, 相手の気持ちを考えることが上手に話したり聞いたりするポイントであると記述している。	B6 (親切, 思いやり)
	3	コラム2	<コラム> 「そのことば, つたわっているかな」 「ことば・じょうほうモラル」 ②	友達に伝えたかったことがうまく伝わっていない場面を取り上げ, 伝えたり聞いたりする時に相手のために気を付けた方がいいことについて考える。	B6 (親切, 思いやり)
		コラム2	<コラム> 「あつたか言葉とつめたい言葉」 「言葉・じょうほうモラル」①	「あつたか言葉」を5つ示し, 相手の心を温かくしたり冷たくしたりする言葉について, 自分の生活をふり返る。	B6 (親切, 思いやり) B8 (礼儀) B9 (友情, 信頼)
	4	教材1・コラム2	<コラム> 「みんなの安全のために」 「言葉・じょうほうモラル」②	2つの場면을提示して, 電話でこんなことを言われた時, 自分や家族, 友達の安全のためにどうすればいいのかについて考える。	A3 (節度, 節制)
			<コラム> 「こんなふうには言えたらいいな」 「言葉・じょうほうモラル」①	2つの言い方を比べ, 「まんまる言葉」を使えると, 自分も友達もうれしくなることについて扱っている。	B6 (親切, 思いやり) B9 (友情, 信頼)
		教材1・コラム2	<コラム> 「正しい? まちがい?」 「言葉・じょうほうモラル」② 「少しだけなら」	インターネットには間違った情報もあるので, 確かめることが大切であることを示している。周りの大人に確認する。いろいろな方法で調べる。 あつしは約束を守ると言い, お母さんのいない間にパソコンを使う。ゲームソフトの割引券を見つけ, 約束を破って名前を入力しかけた時にタイマーの音が鳴り, パソコンの電源を切った。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) A3 (節度, 節制) A3 (節度, 節制)
	5	教材1・コラム2	<コラム> 「自分や相手の顔が見えないやりとり」 「言葉・情報モラル」①	2つの場面を取り上げ, 文字だけのやりとりだからこそ, どんなことに気を付けたらよいかについて考える。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) B11 (相互理解, 寛容)

学図	6	教材1・コラム2	<コラム> 「情報を守り、安全に気を付けよう」 「言葉・情報モラル」②	写真は、いろいろな情報を取り出すことができることから、情報を悪用された時の危険について考える。	A1 (善悪の判断、自律、自由と責任) A3 (節度、節制)
			「たんでいのつもりが……」	ぼくは、辺りをきょろきょろと見回している人をあやしいと考え、携帯電話で写真を撮った。しかし、家に帰るとその「あやしい男の人」が座っていた。ぼくのおじさんだった。	A3 (節度、節制)
			<コラム> 「安全にインターネットを利用しよう」 「言葉・情報モラル」①	SNS, 掲示板, オンラインゲームについて紹介した上で、使うときに気を付けることを示している。	A1 (善悪の判断、自律、自由と責任) A3 (節度、節制)
			<コラム> 「著作権について考えよう」 「言葉・情報モラル」②	他の人が作った絵や音楽や文章には著作権があり、許可なく勝手に使うことはできないことが示されている。	A1 (善悪の判断、自律、自由と責任) C12 (規則の尊重)
			「私の知らないところで」	ハルカとミキが友子さんと弘子さんだけに送ったメールが、次の日には、女子5, 6人に広がっていた。「やっぱり良太君のこと好きだったんだ。」と言われた絵里子は、「勝手なこと言って私をからかって。やめてよ。」と言う。ハルカとミキは、下を向いたままだまってしまった。	A1 (善悪の判断、自律、自由と責任)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、14教材。 ・ 「情報モラル」に関しては、全学年を通してコラムを2つずつ設定し、系統的に扱っている。(全部で3教材+12コラム) ・ 読みものコラム「言葉・情報モラル」①及び②において、第1～3学年では、言葉遣いや話し方について扱っている。 					
教出	【いじめ】				
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
	1	3	「ねずみくんのきもち」	ふくろうさんは、いじめられてばかりいるねずみくんに、一番大切な相手のことを思う気持ちがねずみくんにはあるけど、ねこくんは忘れてしまっていると話す。	B6 (親切、思いやり)
			「はしの上のおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが、くまに親切にされたことをきっかけに、やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切、思いやり)
			「みんながえがおに」	言葉の遣い方に気を付けないと、知らないうちに友達を傷つけることがある。みんなが笑顔になるにはどうしたらいいか、言葉遣いを通して考える。	C11 (公正、公平、社会正義)
2	3	「みほちゃんと、となりのせきのますだくん」	ますだくんは拾って返すつもりのみほちゃんの鉛筆を投げてしまう。その鉛筆は他の友達に踏まれてしまい、みほちゃんは泣いた。ますだくんは、どうしたらいいか考えてしまう。	B9 (友情、信頼)	
		「およげないりすさん」	池の中の島へ行って遊ぶ相談をしているあひるとかめと白鳥は、泳げないりすを仲間に入れない。しかし、りすがいた方が楽しいことに気付き、次の日、りすを誘ってみんなで島へ行く。	B9 (友情、信頼)	

教出	3	6	「たっくんも いっしょに」	たっくんが「ぼくも入れて。」と輪に入 てきても、みんなはたっくんを輪に入れよう としない。かっくんは、泣きながら教室を出 て行ったたっくんを追いかけた。	C11 (公正, 公平, 社 会正義)
			「自分をコン トロール」	としみちが遊んでいたラジコンカーを使 って、中学生のお兄さんが砂場で遊ぶ1年生 の近くを走らせる。女の子がいやな顔をして いるのに気付く、としみちはお兄さんに思い 切って注意をする。このことを全校朝会でほ められた。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
			「たっ球は四 人まで」	しゅんはとおるから卓球の仲間に入れて くれないかと言われたが、卓球は4人までと 断る。4人で卓球をしても楽しくなかったこ とから、次の日、4人で謝ることになった。	B9 (友情, 信頼)
			「今度はぼく の番かな」	かずやの誘いを断ったら次のサッカーか らみんなの態度が冷たくなった、というゆう まの話を聞き、りょうは、今度はぼくの番か と不安な気持ちになる。しかし、事情をきち んと伝えることで再び楽しくサッカーをす ることができた。	B10 (相互理解, 寛容)
			「えがおいっ ぱい」	あおいは、クラスのけんかやこそこそおし ゃべりを見て、「えがおいっぱいのクラス」 になっていないと言う。そして、クラスのみ んなでどうすれば「えがおいっぱいのクラス」 になるかについて考える。	C15 (よりよい学校生 活, 集団生活の充 実)
			「悪いのはわ たしじゃない」	いつも自慢してくるれなを友達数人で無 視することになる。さらに、筆箱も隠す。次 の日、先生の話聞きながら自分のしたこと をふり返り、私は涙を流す。	C12 (公正, 公平, 社 会正義)
	「ドッジボー ル大会」	しゅうへいは、ドッジボールの練習試合に 負けたことで女子全員を責める。しかし、ド ッジボール大会当日、女子の1人が強いボ ールをキャッチしたことで、自分の考えを改 め、みんなで優勝を喜び合う。	C12 (公正, 公平, 社 会正義)		
	4	3	「ほっとけな いよ」	わたしは、くつ箱でゆかさんがはるかさん の上ばきをかくすところを見てしまう。ゆか さんに事情を聞いた私は、仕返しはいけな いことやはるかさんときちんと話すことを伝 え、明るい気持ちになった。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
			「分けへだて なく」 (導入ペー ジ)	①次のうち、いじめにあてはまるものはどれ でしょう。 (6つの場面を挿絵と言葉で提示。) ②いじめは、なぜよくないのでしょうか。 ③いじめをなくすためには、どうしたらよい でしょう。	C12 (公正, 公平, 社 会正義)
			「プロレスご っこ」	男子3人がりょうまを囲んでプロレス技 をかけていく。えみが注意をしても「遊んで るんだよ。」と答え、やめようとしな い。「みんな! どう思う!」と叫んだこと でりょうまも「ぼくは、いやなんだ!」と叫 び、周りも「だめだよ。」とささやき始 める。3人はりょうまに謝ったが、えみは このことをみんなと話し合おうと提案す る。	
			「仲間だか ら」	私は、班の牛乳パックをいつも片付けて いるたくやのことが気になり、たくやに気持 ちを尋ねてみる。たくやは、「ああでもし ない	B9 (友情, 信頼)

教出				と仲間に入れないから……」と涙を浮かべながら話した。	
	5	1	「モントゴメリーのバスーキング牧師とバスボイコット運動ー」	キング牧師たちはバスのボイコット運動を始めた。粘り強く運動を続け、白人と黒人が隣り合って座るバスがモントゴメリーの町を走り出した。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	6	3	「友達だからこそ」	宿はく体験学習でくじを交かんして一緒の部屋になろうというみどりだが、友美は「いんちきはよくないよ。」と小さい声で反対した。「友ちゃんの正直でまっすぐなところ, 好きだけどイライラする!」と今日子は、おこって行ってしまった。次の日, 今日子に「おはよう。」といったが, 今日子は教室から出て行ってしまった。	B10 (友情, 信頼)
			「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りの「サム」は自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して, 団員は怒り, 無視をした。しかし, ピエロがサムの演技を認めることで, サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)
「ひきょうだよ」			ぼくは, 特定のクラスメイトからいじめを受けているたかひろのことを気になりながらも何もできずにいた。何も変わらないまま, ある日, たかひろが引っ越しをすることになった。最後に, ぼくはたかひろに今まで何もできなかったことを謝る。しかし, たかひろから「最後にそんなことをいうなんて。ひきょうだよ。」と言われた。	C13 (公正, 公平, 社会正義)	

【情報モラル】

学年	教材数	教材名	内容	内容項目
3	1	「おそろしいゲームいぞん」	ともあきが買ってもらったゲームをし過ぎて自転車にぶつかりそうになったことを知ったともあきの父は「ゲームいぞん」について話す。しばらくゲームを休んだともあきは, 生活を整えることができた。	A3 (節度, 節制)
4	2	「守りたい自分のじょうほう」	お母さんは, このごろ売り込みの電話が多くて困っていることを家族に話す。あきは, パソコンを使う時の約束を破り, プレゼント応募に名前や住所, 電話番号を入力したことを話し, よく考えず行動してしまったことを振り返る。	A3 (節度, 節制)
		「かわいくない」	メールでかいた絵を「かわいくない!」と返信したことで, 私は美咲から無視をされる。私は, もう一度メールを読み直し, 誤解される書き方だったことに気付く。	B8 (礼儀)
5	3	「参考にするだけなら」	夏休みもあと二日になり, 桜さんの考えに似た感想文をパソコンで見つけ, 半分以上書き写した感想文は, 学校の代表として地区のコンクールに出品されることになった。先生に本当のことをいうべきかどうか考えた。	A2 (正直, 誠実)
		「知らない間のできごと」	転校してきたあゆみは携帯電話を持っていないことをきっかけに, クラスのみんなから誤解を受けるできごとが起こる。あゆみは, このままでは仲間はずれになってしまうと不安な気持ちになる。	B10 (友情, 信頼)

教出		「だれかをき ずつける機械 ではない」	学校で携帯電話の安全講習会が行われた。ぼくたちは、「ネットいじめ」の恐ろしさを知り、「ネットいじめ」が起きないようにするにはどうすればいいのかをクラスで話し合うことにした。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	6	「食事中的メール」	すぐに返信をしないと友達が怒ることを気にするあゆみは, 食事中にもメールを止めることができず, 父と言い合いになる。しかし, 外食中に他の家族が携帯やゲームばかりしている様子を見て, 自分の姿を振り返る。	A3 (節度, 節制)
		「情報について考えよう」	たかしは, りりこがインターネットの掲示板にアップした写真を見つけ, その掲示板に書き込みをする。しかし, 書き込みがだんだん激しくなり, 心配になったちさとは次の日, 先生に相談をする。	C12 (規則の尊重)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は, 19教材。 ・ 「情報モラル」に関する教材は, 8教材。 ・ 第3～6学年で「情報モラル」に関する教材を扱っている。 				

【いじめ】(太枠は, ユニット)

学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
光村	1	教材5・ コラム1	「はしのうえのおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが, くまに親切にされたことをきっかけに, やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切, 思いやり)
			「やめなさいよ」	けんじくんはひとしくんの靴で遊んでいて, さらにその靴を外に投げてしまう。私は, 思い切って「やめなさいよ。」と注意をする。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			<コラム> 「こんなこと, してない?」	・なかよしのともだちのものだけをとってあげる。 ・すきなともだちだけをれつにいれてあげる。	
			「二わのことり」	やまがらのたんじょう日, ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく, 音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそさざいは, うぐいすのうちを抜け出し, やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは, 目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)
			「ジャングルジム」	くまくんは, さるくんと2人, ねこちゃんと2人だけと遊ぼうとすることで, もう1人が悲しい気持ちになる。次の日, また出会った3人は, 今度は3人で楽しく遊ぶことができた。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「あしたはえんそく」	遠足のバスの席をくじで決めたのに, うさぎさんは大好きなねこさんの隣しか嫌だと言う。他の友達が何度も譲り, ねこさんの隣になったうさぎさんだが, ねこさんに「いやばかり言ううさぎさんのお隣はいや。」と言われてしまう。	C11 (公正, 公平, 社会正義)

光村	2	教材5・ コラム1	「クラスの大へんしん」	2つのクラスの様子(絵)を見て、どんなことが起こっているか、どんなところがどのように変わったのかについて考える。	C14 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)
			「およげないりすさん」	池の中の島へ行って遊ぶ相談をしているあひるとかめと白鳥は、泳げないりすを仲間に入れない。しかし、りすがいた方が楽しいことに気づき、次の日、りすを誘ってみんな島へ行く。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			<コラム> 「いやな気持ちかもしれないよ」	あなたは、こんなことしていませんか。 ・友だちのしつぱいをおもしろがる。 ・好きな友だちとだけあそぶ。	
			「こまっている子がいるよ」	校庭と砂場の2つの場面が設定されていて、「あなたならどうしますか。」という問いかけがある。	B6 (親切, 思いやり)
			「ぶらんこ」	くまさんは、ぶらんこに乗っているりすさんを振り落として自分がぶらんこに乗ろうとした。しかし、綱が切れてくまさんは地面に落ちてしまう。くまさんは、みんなに謝り、みんなでもっと丈夫なぶらんこを作ることになる。	B9 (友情, 信頼)
	3	教材7・ コラム1	「雨ふり」	ひろみとのりこは、雨が降ってきたので傘を持っているふみおに「入れて。」と言うと、「のりこちゃん、いいけどー。」という返事が返ってくる。「じゃ、いいわ。」とひろみを追いかけるのりこを見て、ふみおは、はっとする。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「たった一言」	以前さびしい思いをしたことがあるぼくは、一人でいるよしふみを誘おうと友達に話す。ぼくが思い切って声をかけたら、よしふみが笑顔で答えてくれた。友達も自分もうれしくなって笑った。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「友だち屋」	友達1時間百円と言っていたキツネが、オオカミに「本当の友だちだ。」と言われることで、明日もオオカミと遊べることを楽しみに、家に帰る。	B9 (友情, 信頼)
			<コラム いじめをゆるさない心> 「友だちとのかかわりについて考えよう」	①本の紹介 ・きみなんか だいきらいさ ・ねずみくんのきもち ・はじめてのゆうき ②「いやだな。」とおもったら、こんなふうにつたえてみましょう。 ・「いたいからやめて。」 ・「そのあだ名はずかしいからやめてほしいな。」	
			「持ってあげる? 食べてあげる?」	2つの場面(①帰り道に、②給食の時間)を通して、人にやさしくするときには、どのような考えをもつことが大切かについて、考える。	B6 (親切, 思いやり)
「日曜日の公園で」	ぼくは友達4人でゲーム機を持って公園に集まった。しばらくゲームをしていたが、「みんなで走って遊ぼうよ。」と言い始めたタクト、ゲームを続けたいぼくは、言い合いのけんかになった。	B10 (相互理解, 寛容)			

光村	4	教材 4・コラム 1	「なおとからのしつもん」	「なんで、人によってたいどをかえたらだめなの？」というなおとの質問にどう答えたらいいか、「ぼくに力をかして！」と問いかけている。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「道夫とぼく」	ぼくと研次が「道夫がいると勝てないよ。」と話した次の日から、道夫はサッカーに来なくなった。ある日、サッカーの上手な走太が転校してきた。「道夫はサッカーがすきかもしれないけど下手なんだよ。」と話すぼくは、走太に「下手だからってさそわないのはどうなのかな。」と言われる。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「かるた遊び」	千歌のクラスでは、雨の日にかるた遊びをしてもいい。しかし、なかよく遊べないことから、みんなで話し合うことにした。問題点を出し合い、解決するためにはどうしたらいいかを考えた。	C11 (規則の尊重)
	4	教材 4・コラム 1	「ひとりぼっちのYちゃん」	私は、転校してきたYちゃんに意地悪を始めた。私が嫌い始めたらその数が増え、Yちゃんはひとりぼっちになった。それでも意地悪をした。先生が、「わたしに悪いところがあったら言ってください。がんばって直します。」というYちゃんの日記を読んでいるのを聞いて、「直すのはわたしのほう。」と気付く。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「みんなちがって、みんないい」	みんなが違いを認めれば、いじめは起こらないという文章と「わたしと小鳥とすずと」を併せて記載している。	A4 (個性の伸長)
			<コラム いじめをゆるさない心> 「いじめを見つけたら」	「いじめ」を見つけたら、みんなでできることをしましょう。 ・いじめている人に注意をする。 ・いじめられている人によりそう。 ・しんらいできる大人に相談する。	
			「言わなきや」	私は、友達に本当の気持ちが言えなかったり、注意しなきやと思ってもできなかったりする。私は、いつもそんな自分が嫌になってくる。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「ちょっと待ってよ」	長縄の練習中、女子が失敗をするたびに文句を言う友達の様子や、けがをした友達に「作業がおくれるといけないし、見ててね。」と言われてしぶしぶ座る友達の様子を見て、「みんな、ちょっと待ってよ。」と声をかける。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
	5	教材 5・コラム 1	「すれちがい」	大田さん、中村さんのそれぞれから見た出来事を通して、友達と「すれちがい」が起きてしまったら、どうすればいいかを考える。	B11 (相互理解, 寛容)
			「どうすればいいのだろう」	3つの場面を取り上げて、公正・公平に行動するにはどんな心が必要なのかについて考える。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
			<コラム いじめを許さない心> 「相手の気持ちを考えようー『いじめ』の映画作りから」	「いじめ」をテーマとした映画を作成した映画クラブの人たちが、どんなことを考えたかについて触れる。 ・いじめる役の人の気持ち ・いじめられる役の人の気持ち ・周りにいるクラスメートの役の人の気持ち ・映画クラブのみんなが感じた「いじめ」とは	

光村		「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りのサムは自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して、団員は怒り、無視をした。しかし、ピエロがサムの演技を認めることで、サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)	
		「だれもが幸せになれる社会を」	現在までの「ハンセン病」に対する差別や偏見を通して、誰もが幸せになれる社会について考える。	C13 (公正, 公平, 社会正義)	
		『同じでちがう』	私たちは、ずっと同じ人でありながら、常に変化している。そして、一人一人も同様に「同じでちがう」し「ちがうけれど同じ」であることを4ページにわたって述べている。	D19 (生命の尊さ)	
	6	教材3・コラム2	「コスモスの花」	ぼくは、ふだん注目されない北山が大勢から声をかけられたことが気に入らなかった。しかし、周りから北山を非難する声が聞こえ、ぼくは「やめろよー。」と思わず声を出した。	B10 (友情, 信頼)
			「泣き虫」	「泣き虫」というあだ名が付けられた勇気くんが3回目に泣いたのは、いじめているクラスに対する訴えの時だった。今まで、みんながいじめを続けていたクラスは、その日の涙を通して生まれ変わり、ずっとずっと楽しいクラスになった。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
			<コラム いじめを許さない心> 「いじめについて考え続けよう」	歌手でタレントの高橋みなみからのメッセージを掲載している。 ・いじめをしているあなた ・いじめをそばで見ているあなた ・いじめられているあなた	
			「どうすればいいの?」	由希から朝実はあなたと遊びたくないんだって、と聞かされるが、1週間後思い切って朝実に話すと、誤解だったことが分かった。そして、今度は2人で由希を無視することにした。	B11 (相互理解, 寛容)
			<コラム 共に生きる> 「差別のない社会をみざす」	外国の人に対する差別について考える資料を扱っている。 ・グラフ1「日本をおとずれる外国の人の数」 ・グラフ2「日本にいて差別を感じる時」	
	【情報モラル】				
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
3	教材1・コラム1	「やめられない」	まりさは、遊ぶ時も、歩きながらもずっとゲームがやめられない。次の日、眠たく気持ちが悪いまま登校することになる。	A3 (節度, 節制)	
		<コラム じょうほうと向き合う> 「インターネットにむちゅう」	インターネットに夢中になり過ぎず、きちんと生活できるようにするために、どんな約束を作ればよいか話し合う。		

光村	4	教材1・コラム1	「つまらなかつた」	新しく完成した公園に遊びに行った信二とさとしだが、最新式の遊具は期待外れだった。さとしは、信二の「つまらなかつた。」という言葉聞いて、だまりこんでしまう。	B10 (相互理解, 寛容)
			<コラム じょうほうと向き合う> 「インターネット上のやり取り」	インターネット上のやり取りで、もめごとにつながらないようにするには、どうすればよいか、話し合う。	
	5	教材1・コラム1	「あいさつって」	3つの場面を通して「ぼく」の気持ちを考え、「あいさつやれいぎが大切なわけ」について考える。	B9 (礼儀)
			<コラム 情報と向き合う> 「インターネット上のマナー」	インターネットの3つの特性から、気を付けなければならないことは何かを考える。 ・特性①非対面性 ・特性②匿名性 ・特性③拡散性	
	6	教材1・コラム1	「気に入らなかつた写真」	私は、友達と遊びに行った時の写真を、インターネット上の友達にだけ写真を公開できるサイトに投稿した。しかし、その写真を投稿したことを里菜はすごく怒っている。しかし、他の友達からは評判がいいから消したら何て言われるか分からないと悩んでしまう。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			<コラム 情報と向き合う> 「インターネット上の権利」	著作権, 肖像権, プライバシー権について説明してある。	

- ・ 「いじめ」に関する教材等は、29教材+7コラム
- ・ 全学年において、「公正, 公平, 社会正義」の教材を扱っている。
- ・ 「情報モラル」に関する教材等は、4教材+4コラム
- ・ 第3～6学年で「情報モラル」に関する教材を扱い、教材数は学年の偏りなく扱っている。

【いじめ】(太枠は, ユニット)

学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
日文	1	教材6・コラム1	「やめろよ」	ぴよんこをいじめているこんきちを見て、ぼんたはちよつとこわかつたけど、大きな声で「いじわるはやめろよ。」と言う。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「あなたってどんな人?」	友達にはいろいろないいところがあり、それをまねしてみようと促している。	A5 (個性の伸長)
			<コラム ころのベンチ> 「わたしは〇〇名人, 〇〇はかせ」	自分は「どんな名人・はかせ」なのかを考えて書き込む欄がある。	
			「二わのことり」	やまがらのたんじょう日, ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく、音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそさざいは、うぐいすのうちを抜け出し、やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは、目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)

日文	2		「はしのうえのおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが、くまに親切にされたことをきっかけに、やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切, 思いやり)
			「もりのふれぜん」と	ずるをしようとしたきつねは、みんなに言われて後ろに並ぶ。すると、こわそうなおおかみが来て、きつねに「わりこみはいけないよ。」と笑顔で話す。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「かずやくんのなみだ」	誰もかずやくんをおにごっこに誘わない。さとしくんも断ろうと思ったが、かずやくんを入れてあげることにした。今までで一番楽しいおにごっこに思えた。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
	5		「ドッジボール」	ゆかさんは、ドッジボールが苦手なななみさんと同じチームになり嫌だと思っていた。しかし、相手チームのまおさんは、ななみさんに「すごかったよ。」と言う。それを聞いて、ゆかさんは自分の言動を振り返る。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「ぐみの木と小鳥」	りすのことを心配しているぐみの木を見て、小鳥は病気のりすのところにぐみの実を届ける。	B6 (親切, 思いやり)
			「ある日のくつばこで」	かずみさんが靴をかくすのを見てしまい、心がくもっていたが、勇気を出そうと決心し、心が晴れてきた。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「およげないりすさん」	池の中の島へ行って遊ぶ相談をしているあひるとかめと白鳥は、泳げないりすを仲間に入れない。しかし、りすがいた方が楽しいことに気づき、次の日、りすを誘ってみんな島へ行く。	B9 (友情, 信頼)
			「三びきは友だち」	ぼんきちとわんたは、すもうをとることにしたが、くまおじさんが大切に世話をしていた花壇にひっくりかえってしまった。くまおじさんが「花だんをめちゃくちゃにしたのはだれだ。」とさげんでいると、びよんたは、「ぼんきちさんです。」と言った。ぼんきちはくまおじさんにいっぱいしかられたが、びよんたは、わんたに「わんたさんのことは、言わないからね。友だちだもの。」と言って、にっこりとわらった。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
	3	教材3・コラム1	「同じなかまだから」	ひろしやとも子は、運動会で光夫と組むのを嫌がっていたが、とも子はよし子からの手紙を思い出しはっとした。そして、光夫を外して勝とうとするのはまちがっていると、ひろしにはっきりと話した。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
			<コラム 心のベンチ> 「いじめをなくすには……。」	「いじめ」の具体例 「なぜ、いじめをしてしまうのだろう。」 「どうして、知らないふりをしてしまうのだろう。」	
			「たつきゅうは四人まで」	しゅんはとおるから卓球の仲間に入れてくれないかと言われたが、卓球は4人までと断る。4人で卓球をしても楽しくなかったことから、次の日、4人で謝ることになった。	B9 (友情, 信頼)

4	教材5・コラム1	「ぼくのボールだ」	ぼくは、勝つためにまさとくんはボールをパスしたが、たかしくんは「ぼくのボールだ。」と言い張った。ぼくは、まちがったことをしたのかなと思い始めた。	C12 (公正, 公平, 社会正義)	
		「遠足の朝」	わたしは、近頃ひとりぼっちでいることが多いなおみさんを遠足のグループに誘った。遠足に来るか心配していたわたしは、登校してきたなおみさんを見てとても明るい気持ちになった。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
		<コラム 心のベンチ> 「なくそう! いじめ」	・いじめの四層構造 ・いじめられたときの相談相手 (グラフ) ・いじめをなくすために、わたしたちにできることはどんなことでしょうか。		
		「いじりといじめ」	間違いに笑いが起こったことで、みかさんは「これじゃあ、いじめじゃない。」と言う。「いじめというよりいじりだよ。」というげんきの言葉を聞き、ゆうきは「いじりといじめとは、どこがちがうのかな。」とつぶやく。	C12 (公正, 公平, 社会正義)	
		「わかっているはずだから」	真由は、さくらが自分とは違う意見に賛成したことを責める。しかし、さくらの思いを聞くことで仲良しで分かっているはずと思わずに「ちゃんと聞けばよかった。」と気付く。	B10 (相互理解, 寛容)	
		「ちこく」	こう太は、サッカーの試合に遅刻したかずやをやめさせた。理由を聞いても「ちこくはちこくだろ。」と言い張るが、さびしそうなかずやを見ているうちに、こう太に後悔する気持ちがふくらんできた。	B10 (相互理解, 寛容)	
		「決めつけないで」	私は、ちさとさんには劇の主役は無理だと思っていたが、放課後何度も何度も練習しているちさとを見て、無理だと決めつけていたことを恥ずかしく思う。	C12 (公正, 公平, 社会正義)	
	5	教材6・コラム2	「あいさつ運動」	転校してきた道夫のあいさつに対して「目立ちたがり屋だ。」といううわさが耳に入り、ぼくはいつの間にか道夫から遠ざかるようになる。しかし、道夫の気持ちを知り、再び「あいさつ運動」が盛り上がる。	B9 (礼儀)
			「マンガ家手塚治虫」	苦手なこともあった手塚治虫は、自分のよさである「マンガをかくこと」を一生懸命に伸ばす。	A4 (個性の伸長)
			<コラム 心のベンチ> 「愛されつづける日本のマンガ・アニメ」	日本を代表する文化になったマンガ・アニメは、各地のまちづくりにも生かされていることを紹介している。	
			「名前のない手紙」	クラスのみんなからのけ者にされ、つらい毎日を送っていたある日、筆箱に名前のない手紙が入っていた。そして、転校することになった吉野さんは、みんなの前でわたしを仲間はずれにしたことを謝る。	C13 (公正, 公平, 社会正義)

日文	6		<コラム 心のベンチ> 『いじめ』の 傍観者	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの四層構造 ・傍観者効果 ・どうしたら「傍観者」から「仲裁者」になることができるだろう。 	
			「折れたタワー」	給食当番の日にマスクを忘れたひろしに、のりおは怒る。そののりおが図工の時間に作ったひろしのタワーを折ってしまう。ひろしは、「しかたないさ。」と言って、また掃除を始めた。	B11 (相互理解, 寛容)
			「すれちがい」	よし子, えり子のそれぞれから見た出来事を通して, 友達と「すれちがい」が起きてしまったら, どうすればいいかを考える。	B11 (相互理解, 寛容)
			「これって不公平?」	生活の中の4つの場面を取り上げ, 「公平」か「不公平」かについての話し合いを促している。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	6	教材5・コラム1	「ほんとうのことだけど……」	かべ新聞のトップ記事の内容におもしろいことを書こうとするみえ子となつみだが, 去年の6年生の運動会の記事を見て, 考え直す。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「それじゃ, ダメじゃん」	落語家の春風亭昇太さんが「短所だと思っていたことを, 長所にすることもできるんだ。」というメッセージを込めた内容。	A4 (個性の伸長)
			「言葉のおくり物」	たかしにからかわれ, 一郎はすみ子に冷たい態度をとる。しかし一郎の誕生日にすみ子は, 一郎のよさをみんなの前で紹介する。	B10 (友情, 信頼)
			<コラム 心のベンチ> 「いじめについて考えよう!」	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめと法律 ・いじめられる人にも問題がある? 	
			「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りのサムは自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して, 団員は怒り, 無視をした。しかし, ピエロがサムの演技を認めることで, サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)
			「わたしのせいじゃない」	泣いている子がいるのに, みんな「わたしのせいじゃない。」と言う。本当にそれでいいのかということの問題提起している絵本。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	【情報モラル】				
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
	3	教材1・コラム1	「ちゃんと使えたのに」	そうたは, 約束を破ってパソコンを使ってしまう。分からないようにすればいいと思ったが, パソコンにやたらとゲームの広告が入ってくることから, 約束を破ったことが父に見つかってしまう。	C11 (規則の尊重)
<コラム 心のベンチ> 「形はかわっても……」			電話機が, 時代とともに形をかえてきたことについて, 写真と説明で紹介している。		

日文	4	1	「交かんメール」	自分たちの学校や学級のよさをエチケットに気を付けながらメールを通して紹介し合う中で交流が深まり、さらに学校や学級のよさを見直した。	C15 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)
	5	教材1・コラム1	<コラム 心のベンチ> 「メールの使い方」	メールの内容だけを見て誤解が生じた場面から、解決するよい方法はないか、話し合う。	
			「知らない間のできごと」	転校してきたあゆみは携帯電話を持っていないことをきっかけに、クラスみんなから誤解を受けるできごとが起こる。あゆみは、このままでは仲間はずれになってしまうと不安な気持ちになる。	B10 (友情, 信頼)
	6	教材1・コラム1	「カスミと携帯電話」	母の携帯電話を借りたカスミは、毎日レイナと夜中までやりとりをする毎日が続く。とうとうレイナが倒れてしまい、母から借りていた携帯電話を返した。	A3 (節度, 節制)
			<コラム 心のベンチ> 「情報モラルの達人チェックシート」	チェックシートを通して、情報モラルの理解度を確かめる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、30教材+6コラム(心のベンチ) ・ 全学年において、教材やコラムを組み合わせでユニットを設定している。 ・ 全学年において、「公正, 公平, 社会正義」の教材を扱っている。 ・ 「情報モラル」に関する教材等は、4教材+3コラムで第3~6学年で扱っている。 				
光文	【いじめ】(太枠は、ユニット)				
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
	1	教材3・コラム1	<コラム ちびまる子ちゃんとかんがえよう!> 「みんなのよいところは?」	クラスのいろいろな人と仲良くするためには、一人一人のよさを見つけることが大切であることを学ぶ。	B9 (友情, 信頼)
			「ぼくはいかない」	ぼくは、子どもだけで行ってはいけないところに誘われるが、行かないと断ると「よわむしだなあ。」と言われた。それでも「よわむしではないさ。」とはっきりと断る。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「はしのうえのおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが、くまに親切にされたことをきっかけに、やさしいおおかみに変わる。	B6 (親切, 思いやり)
「二わのことり」			やまがらのたんじょう日、ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく、音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそざいは、うぐいすのうちを抜け出し、やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは、目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)	

光文	2	教材5・コラム1	<p><コラム ちびまる子ちゃんとかんがえよう!> 「どんなクラスにしたいかな?」</p>	<p>一人一人得意なことは違うので、みんなで遊ぶ時にはみんなの気持ちを考えて決めることが大切であることを学ぶ。</p>	<p>C14 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>
			<p>「くつつくし」</p>	<p>くつつがなくなり、先生やクラスのみんで探しても出てこないことを、4つのイラストと文章で表している。そして、最後に「してはいけないことは、ぜったいにしない。」と記述している。</p>	<p>A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p>
			<p>「レッドカード」</p>	<p>してはいけないこととして、4つの場面が示され、「してはいけないこと」をしないためには、どうすればよいかについて考える。 店で物をとろうとしている場面 友達をたたいている場面 友達を仲間はずれにしている場面 友達が一人ぼっちで悲しむ場面</p>	<p>A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p>
			<p>「モムンとヘーテ」</p>	<p>小人のモムンとヘーテ。ヘーテは、二人で見つけたくりの実をみんなもらい、モムンに皮をあげる。次の日、大雨になるがモムンは荷物を捨てて、皮に乗って二人で逃げようと話す。</p>	<p>B9 (友情, 信頼)</p>
			<p>「やさしい村の子どもたち」</p>	<p>にんじんやらっかせいは、土がついて汚いと嫌がられる。しかし、他の野菜も土のおかげで育っていることに気づき、みんなで仲良く遊ぶことができた。</p>	<p>C11 (公正, 公平, 社会正義)</p>
			<p>「のこぎり山の大ぶつ」</p>	<p>遠足の日。ぼくは、歩くのが遅いあかりさんを責めてしまう。他のみんながあかりさんを心配しているのを見て、ぼくははっとする。その後、あかりさんの荷物を持って歩くことにした。</p>	<p>C11 (公正, 公平, 社会正義)</p>
	3	教材2・コラム1	<p><コラム ちびまる子ちゃんと考えよう!> 「同じいけんじゃないと友だちじゃないの?」</p>	<p>好きなものや意見は人によって違う。みんな違うからクラスが楽しいということを学ぶ。</p>	<p>B9 (友情, 信頼)</p>
			<p>「思い切って言ったらどうなるの?」</p>	<p>ともこは、あやちゃんから公民館のフェスティバルに行こうと誘われる。しかし、さとみは誘ってはだめと言われた。そのさとみさんに「わたしもいっしょに行ってもいいかな。」と聞かれ、思わず息のみこんだ。</p>	<p>A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)</p>
			<p>「ドンマイ! ドンマイ!」</p>	<p>サッカーの試合で相手にゴールを決められ、ぼくは、キーパーのこうくんを責めた。しかし、かずくんの言葉で練習してきたことを思い出し、こうくに謝る。そこから、声をかけ合うようになり、引き分けだったがとてもよい試合だったと思えた。</p>	<p>B10 (相互理解, 寛容)</p>

4	教材1・コラム1	<p><コラム ちびまる子ちゃんと考えよう!> 「いつも同じグループでいいのかな?」</p>	<p>同じ友達と仲良くするのもいいが、いろいろな人と話したり遊んだりすることの大切さについて学ぶ。</p>	<p>C15 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>
		<p>「貝がら」</p>	<p>ぼくは、転校してきた中山君が何も話してくれないことに腹が立つ。しかし、その理由は、中山君の言葉を聞いて笑う友達がいることだと気付く。</p>	<p>B10 (相互理解, 寛容)</p>
5	教材5・コラム1	<p>「まかせてみようよ」</p>	<p>宿泊学習のオリエンテーリングの分かれ道で、石井さんがみんなが選んだ道と違う遠回りの道を提案した。事前に一生懸命調べてくれていたことを知っていたリーダーは、石井さんの意見を尊重した。</p>	<p>B11 (相互理解, 寛容)</p>
		<p>「みんなの劇」</p>	<p>学習発表会で主役の青山さんの演技がどこちない。石井さんは、みんなの前でそれを指摘した。しかし、その後、石井さんは一生懸命青山さんにアドバイスをしていた。ぼくも、そこに加わって3人で演技の練習を続けた。</p>	<p>B11 (相互理解, 寛容)</p>
		<p><コラム ちびまる子ちゃんと考えよう!> 「思い切って言ってみたら……」</p>	<p>正しいと思っても、言いにくいことがある。正しいことなら、同じことを考えている友達や周りの人がいるはずだから、伝える勇気が大切であるということを学ぶ。</p>	<p>C16 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>
		<p>「ガンジーのいかり」</p>	<p>ガンジーは、仕事でアフリカに渡り、乱暴な扱いを受けた。仕事が終わってもインドには帰らず、自分たちに対する差別がどれほどひどいものかということに訴える運動を起こした。そして、インド人を差別する法律を廃止させた。</p>	<p>C13 (公正, 公平, 社会正義)</p>
		<p>「『スイミー作戦』『ガンジー作戦』」</p>	<p>ぼくたちの学級では、新聞記事をもとに「いじめ」をなくすための話合いがあった。この話合いで、ぼくも良夫君もあだ名で呼ばれていることを嫌だということを話した。ぼくは、いじめについてみんなで話し合ってみたくことがたくさんあると思った。</p>	<p>C13 (公正, 公平, 社会正義)</p>
		<p>「セルフジャッジ」</p>	<p>クラスみんなで遊ぶサッカーをセルフジャッジですることになる。続けているうちに、調子に乗ったぼくたちに、相手チームだけでなく自分のチームからも非難の声が上がった。ゲームは続いたが、互いにやりたい放題になり、ゲームはおもしろくなくなった。</p>	<p>C12 (規則の尊重)</p>
6		<p><コラム ちびまる子ちゃんと考えよう!> 「周りの人を見てみよう」</p>	<p>周りにいる人をノートに書き出し、その人たちと一緒にどんな未来をつくりたいかについて考えることを促している。</p>	<p>C16 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)</p>

光文		教材2・コラム1	「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りのサムは自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して、団員は怒り、無視をした。しかし、ピエロがサムの演技を認めることで、サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)	
		教材1・コラム1	「森川君のうわさ」	クラスの中で森川君に対するまちがったうわさが出るが、ぼくはそれを否定できない。そのうわさがきっかけで森川君は仲間外れにされるようになる。しかし、ある日、いつもはおとなしい順子さんはうわさがまちがっていることをみんなの前で話す。	C13 (公正, 公平, 社会正義)	
	【情報モラル】					
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目	
	1	教材1・コラム1	「ルールがないとどうなるの？スマホやゲームきをつかうときー」	スマホやゲームきを使う時のルールについて考える。 ・どんなルールがあるのでしょうか。 ・なぜ、そんなルールがあるのでしょうか。 問題1 「やすみのひは、すきなだけゲームをしてもよいですか？」 問題2 「ゲームをながいじかんつづけると、めやからだには、どんなことがおきるでしょうか？」	C10 (規則の尊重)	
			<コラム> 「ネットマナーとはなんでしょうか」	<じょうほうモラル> ・インターネットはだれとつながっているのかな？ ・いつでもどこでもつかっていいの？ ・〇×クイズ(4問)	C10 (規則の尊重)	
	2	教材1・コラム1	「おかあさんとのやくそく」	てつやさんは、約束した時間に来ない友達に相手が傷つく内容のメールを送ろうとする。しかし、母との約束を思い出し、メールを読み直す。そして、メールを打ち直した。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
			<コラム> 「ネットマナーをみにつけましょう」	<じょうほうモラル> ・ことばづかいに気をつけましょう。 ・こじんじょうほうはおしえない ・〇×クイズ(4問)	C10 (規則の尊重)	
	3	教材1・コラム1	「うわさ話・つらい気持ち」	わたしは、ひとみちゃんはインフルエンザだから、ひとみちゃんと仲のよい人はうつっているかもと言われたことが気になる。しかし、次の日、ひとみはインフルエンザではないことが分かり、私は「うわさ話」はこわいと心から思った。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
			<コラム> 「インターネットのじょうほうはかならず正しいの？」	<じょうほうモラル> はやとさんは、宿題のことわざの意味をインターネットで調べた。次の日、発表するが、自分の調べてきた意味とみかさんが発表した意味は違っていた。はやとさんは、不思議に思う。	A3 (節度, 節制)	
4	教材1・コラム1	「ゲームのやくそく」	ますみたち3人は、5時から6時までオンラインゲームをする約束をする。しかし、千秋は十分しかたっていないのにゲームをやめてしまう。2人は千秋を責めるが、その日の帰りに千秋が引っ越しの荷造りで忙しかったことを知った。	B9 (友情, 信頼)		

光文	5	教材1・コラム2	<コラム> 「インターネットの落としあな」	<情報モラル> けいたさんと父とのやりとりを通して、インターネットを利用するときは、少しでもおかしいと思ったらやめることが大事であること、困ったときには大人に相談することについて示している。	A3 (節度, 節制)	
			「約束」	約束の時間に図書館に行った陽菜は、結衣が来ず、メールの返信もなかったことを、インターネットの掲示板に書き込む。次の日、結衣の理由を聞こうともせず、一言も口をきかずに帰った陽菜は、結衣のおばあちゃんが倒れて大変だったことを母から聞いて驚く。	B11 (相互理解, 寛容)	
			<コラム> 「スマホと上手に付き合うために」	<情報モラル> 情報機器とどのように付き合いえばいいのか、「プラスの面」と「マイナスの面」を通して考える。	A3 (節度, 節制)	
	6	教材1・コラム2	<コラム> 「だれの研究？」	<情報モラル> 直人は、夏休みの自由研究を全部インターネットで調べた。みんなからはほめられるが、先生に呼ばれ、著作権に違反しているから、直人の作品は出品できないことを聞いた。	C12 (規則の尊重)	
			「本当にだいじょうぶ？」	美奈はスマホを買ってもらい、美奈の生活はスマホ一色になった。親友の由紀からも「美奈の使い方は、本当にだいじょうぶ？」と言われた。	A3 (節度, 節制)	
			<コラム> 「携帯電話やスマートフォンの使用時間」	<情報モラル> 小学6年生と中学3年生を対象にスマホの使用時間を調べた結果をグラフで表している。携帯電話やスマホを上手に使っていくためにはどうしたらよいかについて考えることを促している。	A3 (節度, 節制)	
			<コラム> 「あなたはだあれ？」	<情報モラル> やす子はインターネットの掲示板で誰か分からない人たちとのやりとりを楽しんでいる。しかし、ある日、やす子の悪口が書かれ、どんどんひどい内容になった。やす子は、悲しさとこわさで涙が出る。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、18教材+6コラム(ちびまる子ちゃんと考えよう！) ・ 系統的な学習ができるよう、全学年において、「ちびまる子ちゃんと考えよう！」(みんななかよし 楽しい学校)を設定している。 ・ 第2・5学年でユニットを設定している。 ・ 「情報モラル」に関する教材等は、6教材+8コラム ・ 全学年を通して、教材数等の偏りなく扱っている。 					
	【いじめ】(太枠は、ユニット)					
	学研	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
1		3	「はしの上のおおかみ」	一本橋の上でいじわるをしていたおおかみが、くまに親切にされたことをきっかけに、やさしいおおかみになる。	B6 (親切, 思いやり)	
			「うんどうぐつ」	ぼくは、しげたさんが、はやのさんの靴を隠したことを聞く。ぼくを睨むしげたさんを、じっと睨み返した。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	

学研	2	5	「二わのことり」	やまがらのたんじょう日、ことりたちはやまおくのさびしいところにあるやまがらのうちではなく、音楽会の練習がある明るくてきれいなうぐいすのうちへ行くことにする。やまがらのことが気になってしかたないみそさざいは、うぐいすのうちを抜け出し、やまがらのうちへ飛んで行った。やまがらは、目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)
			「竹馬と一りん車」	草太と花子はお互いに竹馬や一りん車に乗れないことをけなし合い、離れたところで練習するがなかなかうまくできない。その日の帰り、二人は教え合いながら帰る。そして、相手ができるようになったことを、二人とも喜ぶ。	B9 (友情, 信頼)
			「メイとケンプ」	ケンプはピクニックの相談をしていると、「ラムにはないしょで行こう。」と言う。メイは少し考えてから、きっぱりと考えを言った。ラムも一緒に行ったピクニックで、みんなはとても楽しくすごした。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「公園のおにごっこ」	おにごっこをしているみんなと同じように走れないゆうたのそばに行くと、みんなは走るのを遅くする。ゆうたは途中でやめてしまうが、みんなはもう一度ゆうたを誘う。今度は勢いよくタッチした。みんな夢中でおにごっこを続けた。	B6 (親切, 思いやり)
			「およげないりすさん」	池の中の島へ行って遊ぶ相談をしているあひるとかめと白鳥は、泳げないりすを仲間に入れない。しかし、りすがいた方が楽しいことに気付き、次の日、りすを誘ってみんなで島へ行く。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「つくえふき」	ゆうとは、机によって拭き方を変えている。ゆうとのやっていることはよくない気がするが、わたしは、はっきりとした理由が思いうかばない。	C11 (公正, 公平, 社会正義)
	3	9	「あらしい」	わざとしたのではない隣の席の友達に仕返しをする。「帰りに待ってるぞ。」と怖い声でささやかれたが、行ってみると「けんかはよそう。」と言われた。自分から謝れなかったことを後悔する。	A2 (正直, 誠実)
			「絵葉書と切手」	仲良しの正子から送られてきたのは、料金不足の定形外のはがきだった。ひろ子は迷った末、そのことを正子に知らせることにした。	B9 (友情, 信頼)
			「ぼかぼか言葉」	かけられる言葉によって気持ちがどのように変わるのかについて、リレーのバトンを落とした場面を通して考える。	B6 (親切, 思いやり)
			「あと、ひと言」	へいの上を歩こうという誘いを断り、友達から「いくじなし。」「もう遊ばないから。」と言われる。しかし、その友達がへいから落ちて大けがをしたことを知る。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「貝がら」	ぼくは、転校してきた中山君が何も話してくれないことに腹が立つ。しかし、その理由は、中山君の言葉を聞いて笑う友達がいることだと気付く。	B9 (友情, 信頼)

学研			「明るくなつた友だち」	学校へ行きづらくなっている友達に対し、迎えに行つてあげるといいと言う母と、そんなことをしたら自分も仲間外れになると考えるわたし。しかし、決心して友達を迎えに行き、学校でも一緒に過ごすようになると、みんなが仲間になってくれた。	B9 (友情, 信頼)
			「なかよしポスト」	洋子は算数の時間の間違いをみんなに笑われ、心がしずむ。しかし、「なかよしポスト」には、洋子への「ごめんね。」というカードがたくさん入れられていた。	C15 (よりよい学校生活, 集団生活の充実)
			「しんぱんは自分たちで」	体育の時間のサッカーの試合で、けんたは審判をすることになった。いつも誰かを責めるりょうがたか子を突き飛ばしてシュートを決めた時、けんたは笛をふけなかった。けんたの心はずきずきと痛む。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「みんなの学級会」	ともきのお別れ会についての話合いで、けいすけとゆみの意見は異なった。いつの間にか、クラスの話合いでではなく、二人の話合いになってしまう。話合いを進めるためにはどうしたらよいかについて考える。	B10 (相互理解, 寛容)
	4	6	「心の信号機」	目が不自由な男の人が横断歩道を渡れずにいた。ぼくは決心して声をかけ、一緒に横断歩道を渡った。	B6 (親切, 思いやり)
			「心と心のあく手」	ぼくは「荷物を持ちます。」とおばあさんに声をかけたが、断られた。数日後、またおばあさんに出会った時、ぼくはおばあさんを見守った。おばあさんはそのことに気付いてくれ、お礼を言われた。	B6 (親切, 思いやり)
			「泣いた赤おに」	青おには、人間の仲間になりたい赤おにのために、村の外れの小さな家でとんだり、はねたり、逆立ちしたりした。赤おにが青おにを追い出し、赤おにには人間の友達仲間ができた。しかし、青おにははり紙を残し、旅に出た。	B9 (友情, 信頼)
			「クラスたいこう全員リレー」	足が遅いたけしが調子を崩した時、リレーの練習を休むことをすすめる友達。先生は、たけしの方まで走るというゆうじの意見とたけしも出る方がよいのではというそうたの意見を提示する。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「友達が泣いている」	いじめはよくないと分かっているのに起きてしまうのはなぜなのか、どうすればなくなるのかについて、みんなの意見と役割演技を通して考える。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「えっ、どうして」	ポートボールをする場面と色えん筆を友達に貸す場面を通して、誰とでも仲良くするために大切なことについて考える。	C12 (公正, 公平, 社会正義)
	5	3	「母とながめた一番星」	恵子は仲良しの良子から仲間はずれにされてショックを受け、家を飛び出した。土手に来ていた恵子を母は見つけ、母は恵子がどんなに大切な希望なのかを話す。	D19 (生命の尊さ)

学研			「いじめをなくすために」	「お話の前に」を1ページ設定。ある場面についての考えを書き込む欄がある。 「次のページから始まる話は、いじめに関するものです。みんなで考えてみましょう。」という記述がある。 宮本亜門さんと増田明美さんのメッセージを通して、いじめられている人がいたらどんなことができるかについて考える。	C13 (公正, 公平, 社会正義)	
			「すれちがい」	飯田さん, 中村さんのそれぞれから見た出来事を通して, 友達と「すれちがい」が起きてしまったら, どうすればいいかを考える。	B11 (相互理解, 寛容)	
	6	2	「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りのサムは自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して, 団員は怒り, 無視をした。しかし, ピエロがサムの演技を認めることで, サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)	
			「どれい解放の父 リンカン」	黒人のどれい問題に心を痛めるリンカン。正式な大統領になったリンカンは, どれい解放宣言を発表する。	C13 (公正, 公平, 社会正義)	
	【情報モラル】					
		学年	教材数	教材名	内容	内容項目
	1	1	「みっちゃんのやくそく」 〈ふかめよう〉 「手をのぼしたみっちゃん」 〈ひろげよう〉 「べんりなものだけど」	お父さんからの電話に出たことでスマートフォンを使うことが楽しみになったみっちゃん。お母さんとの約束を破ってお母さんのスマートフォンに手を伸ばした時お母さんの声がして, みっちゃんはどきっとした。 スマホ, パソコン, 電話, ゲームの写真を掲載し, 「じょうずにつかいたいですね。どんなやくそくがあるでしょう。」と問いかけている。	C10 (規則の尊重)	
	2	1	「みんなのニュースがかり」 〈ふかめよう〉 「みんながよるこぶニュースに」 〈広げよう〉 「正しいことをつたえよう」	けいすけはできあがったニュースを貼るが, ニュースを読んだ人が怒っている。みんなが怒ったわけを考え, もう一度書き直した。みんなが, うれしそうに読んでくれた。 「みなさんは, 正しいことをしっかりつたえていますか。」と問いかけている。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
	3	1	「家のパソコンで」 〈広げよう〉 「インターネットを正しく使おう」	てつおは, 約束を破ってパソコンで無料ゲームを始めた。しかし, 突然真っ黒い画面になり, パソコンが動かなくなる。 インターネットを安全に使うために必要なことについて学ぶ。書き込み欄がある。	C11 (規則の尊重)	

学研	4	1	「カマキリ」 <広げよう> 「大切な個人 じょうほうを 守ろう」	新聞作りのためにインターネットを使って 情報を集めていた3人が、下の名前だけなら 大丈夫だと、名前を入力して画面を進めた。 しかし、名前が登録されたことが分かり、不 安でいっぱいになる。 「個人じょうほう」の説明とともに、イン ターネットをするときの決まりについて等、 家の人と話し合うことを促している。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
	5	1	「おもしろけ ればいいの」 <深めよう> 「よりよい情 報とは」 <広げよう> 「インターネ ットを使うと きには」	2組の作った学級新聞を通して、情報の発 信者として大切なことについて考える。 インターネットを楽しく安全に使うため のルールについて考えたり話し合ったりす ることを促している。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
	6	1	「会話のゆく え」 <広げよう> 「言葉でつな がるインター ネットの世 界」	合唱コンクールに向けてのメールをやりと りしているうちに、特定の友達の悪口になり、 会話が途絶える。 「私も公園に遊びに行くね。」 「なんで行くの?」 このやりとりでどんな問題が起きている か考え、クラスで話し合うことを促してい る。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、28教材で、第3・4学年でユニットを設定している。 ・ 第3学年では9教材、第4学年では6教材を扱っている。 ・ 「情報モラル」に関する教材は、6教材で全学年「学び方のページ」と関連付けている。 					
廣 あか つき	【いじめ】				
	学 年	教 材 数	教材名	内容	内容項目
	1	5	「どんないち ねんせいにな るのかな」	いけないことをしている場面を6つ提示 し、「かばおくんはどんないちねんせいにな るのかな。」と問いかけている。 ・「いたいよ。」 ・「かえしてよ、ぼくのだよ。」 ・「うるさくて、きこえないよ。」 ・「わりこまないで。」 ・「だれが、かいたの。」 ・「ぼくのくつが、ないよ。」	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
			「けいじばん のらくがき」	いじわるなごりおくんをこらしめてやろう と、ばんくんは森の掲示板にらくがきをした。 次の日、みんながごりおくんを笑い、ごりお くんは泣いている。ばんくんは、らくがきを 「早く消しにいかなきゃ。」と思う。	A1 (善悪の判断, 自 律, 自由と責任)
「はしの上の おおかみ」			一本橋の上でいじわるをしていたおおか みが、くまに親切にされたことをきっかけ に、やさしいおおかみになる。	B6 (親切, 思いやり)	
		「二わのこ とり」	やまがらのたんじょう日、ことりたちはや まおくのさびしいところにあるやまがらの うちではなく、音楽会の練習がある明るくて きれいなうぐいすのうちへ行くことにする。 やまがらのことが気になってしかたないみ そさざいは、うぐいすのうちを抜け出し、や まがらのうちへ飛んで行った。やまがらは、 目になみだをためて喜んだ。	B9 (友情, 信頼)	

廣 あか つき	2	3	「およげない りすさん」	池の中の島へ行って遊ぶ相談をしているあひるとかめと白鳥は、泳げないりすを仲間に入れない。しかし、りすがいた方が楽しいことに気づき、次の日、りすを誘ってみんな島へ行く。	B9 (友情, 信頼) C11 (公正, 公平, 社会正義)
			「カメタのな みだ」	いたずら好きのコンスケは、いつも困ったことをする。カメタはコンスケに「やめなよ。」と言うが、コンスケにけとばされてしまう。今日もいじわるをしているコンスケにカメタは「やめなよ。」「いっしょになかよくあそぼう。」と言った。コンスケはそれを聞いて涙を流した。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) B9(友情, 信頼)
			「言えなかつ たことば」	しょうたがけたボールが仲良しのゆうとに当たった。後で謝ればいいやと思ったが、いつも一緒に帰るゆうとがいない。しょうたは、布団の中でも今日のことを繰り返し考えるうち、涙が出てくる。	B9 (友情, 信頼)
	3	1	「母のせなか ー 渋谷栄一 ー」	近所のりんの病気は人にうつるとうわさをして、誰もりんの家に近づこうとはしない。しかし、栄一の母は、お医者さまはうつらないと言ったと、堂々と話した。世のため人のために働き続けた渋谷栄一と母との実話。	B6 (親切, 思いやり) C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「げんたの消 しごむ」	げんたは、自分勝手にクラスでの評判もよくない。ある日、徹君のなくなった消しごむと同じ消しごむがげんたの机の上にあった。げんたはとっていないと言うが、このままではげんたが犯人になってしまう。しかし、ぼくはその消しごむを買っているところを見ていたので、げんたの消しごむで間違いないことを知っている。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) C12 (公正, 公平, 社会正義)
			「正しいこと は勇気をもつ て」	「いじわるをしている子に、勇気をもって注意することができないのは、なぜでしょう。」と問題提示をし、6つの意見が記載されている。その後、「こんなとき、どうすればよいのでしょうか。」と3つの場面を提示している。 ・あぶない遊びをしている子がいます。 ・学校にゲーム機を持ってきて、こっそり遊んでいる子がいます。 ・友達から「宿題を写させて」とたのまれました。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
	4	5	「すれちがい」	飯田さん、中村さんのそれぞれから見た出来事を通して、友達と「すれちがい」が起きてしまったら、どうすればいいかを考える。	B10 (相互理解, 寛容)

廣 あか つき		「わたしにはゆめがあるーマーティン・ルーサー・キング・ジュニアー」	人種差別を知ったマーティンは、心に深い傷を負う。その後も至る所で黒人差別を目の当たりにしたマーティンは、人種差別に反対する運動のリーダーとなった。アメリカに差別を禁止する法律が作られ、マーティンにノーベル平和賞が贈られた。	C12 (公正, 公平, 社会正義)	
		「同じ仲間だから」	ひろしやとも子は、運動会で光夫と組むのを嫌がっていたが、とも子はよし子からの手紙を思い出しはっとした。そして、光夫を外して勝とうとするのはまちがっていると、ひろしにはっきりと話した。	B9 (友情, 信頼) C12 (公正, 公平, 社会正義)	
	5	2	「金曜日の班活動」	広人は6月になると、飼育委員会のうさぎ係の当番を文夫や良雄に頼み、自分ではやらなくなった。飼育委員会の日、文夫は「6月は自分勝手な人がいて、よく活動できませんでした。」と話した。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「魚の世界」	中学時代にいじめられた「さかなクン」の体験を「魚の世界」に照らし合わせて語っている。「広い空の下, 広い海へ出てみましょう。」と締めくくっている。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	6	2	「ブランコ乗りとピエロ」	ブランコ乗りのサムは自分が目立つことしか考えない。決められた時間を破って演技を続けたサムに対して、団員は怒り、無視をした。しかし、ピエロがサムの演技を認めることで、サムの気持ちやサムとピエロの関係に変化が表れた。	B11 (相互理解, 寛容)
			「苦い思い出」	いじめによる悲しい事件から数日後、新聞に載った投書を扱っている。	C13 (公正, 公平, 社会正義)
	【情報モラル】				
	学年	教材数	教材名	内容	内容項目
	3	教材1・コラム1	「きよしのなやみ」	さしおは、きよしに宿題にインターネットで見た詩を写したと話した。先生からコンクールに出すことになったことを聞き、さしおに今さら写したとは言えない、先生に話したら絶交だと言われるきよしは、どうしたらいいか悩む。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) B9 (友情, 信頼)
			<コラム> 「考えようインターネットの世界」	インターネットの使い方として3点挙げ、正しく使って、学習や生活に役立てることを促している。 ・時間をきちんと守る。 ・あやしいサイトはぜったいに見ない。 ・じょうほうを見きわめる。	
4	教材2・コラム1	「真心を伝えるコミュニケーション」	言葉の遣い方やパソコンやスマホのトラブルなどを理解した上で、これからのコミュニケーションを考えることの大切さについて記述している。	B6 (親切, 思いやり)	
		「少しだけなら」	あつしは、約束を守ると言い、お母さんのいない間にパソコンを使う。ゲームソフトの割引券を見つけ、約束を破って名前を入力しかけた時にタイマーの音が鳴り、パソコンの電源を切った。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任) A3 (節度, 節制)	

廣 あか つき	5	教材2・コラム1	<コラム> 「考えようインターネットの世界」	情報の受け手・送り手として、どうあるべきなのかについて考え、よく考えて利用し、学習や生活に役立てることを促している。 ・個人じょうほう（名前や住所など）について ・知らない相手とのやり取りについて ・友達とのやり取りについて	
			「だれも知らないニュース」	美夏は、タレントのシュウのファンが集まるインターネットの掲示板によく書き込みをする。誰も知らない情報を書き込んでみたいと思う美夏は、シュウが今度の日曜日に商店街に撮影に来るといううわさを書き込んだ。その情報は間違いだったが商店街にはたくさんの人が来てしまい、掲示板に書き込んだことを後悔する。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「ちゃんとやれよ, 健太」	ぼくは、チームが負けた試合の後、落ち込んでいる健太を励まそうとメールを送った。しかし、次の日から健太はぼくを避ける。真司にそのメールを見せると、「こんなメールが来たら、だれだって落ち込こむよ。」と言われ、もう一度考え始めた。	B7 (親切, 思いやり) B9 (礼儀)
	6	教材2・コラム1	<コラム> 「守ろうインターネットの世界のルールやマナー」	インターネットの世界の危険を避けるために、家の人と考えることを7点挙げ、よく考えて利用し、学習や生活に役立てることを促している。 ・ルールやマナーを守る。 ・大人の携帯電話などを使わない。 ・いじめはしない。見のがさない。 ・トラブルは大人に相談する。 ・家庭での使い方のルールを作る。 ・悪いことは、「しません」、「させません」。 ・インターネットで知り合った人とは会わない。	
			「自由だからこそ」	インターネットが普及したことでだれもが自由に世界中の膨大な情報を入手したり発信したりすることができるようになった。大きな自由を得たことによって、背負うことになった責任の大きさも考えなければならないことを説明している。	A1 (善悪の判断, 自律, 自由と責任)
			「達也の転校」	修司は、父のタブレットを使って転校した達也とメールでやり取りをしていた。そのうち、修司は動画やゲームに夢中になり、睡眠時間はだんだんと少なくなった。頭が痛く、体がだるい修司の痛む頭の中で、「よく考えて使うんだよ。」という父の言葉がこだました。	A3 (節度, 節制)
			<コラム> 「著作権とは何だろう」	「著作権」についての説明と、次の2点について3つずつの例を挙げている。 ・勝手にこんなことをしてはいけません！ ・「著作権」がまもられなければいけないわけ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」に関する教材は、18教材。 ・ 「情報モラル」に関する教材等は、7教材+4コラム。 ・ 第3～6学年で「情報モラル」を扱っている。 				

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨巻頭・巻末等の取扱いの工夫
方法	○巻頭・巻末等の示し方, 具体例

発行者	調査・研究内容		
	学年	巻頭・巻末等の示し方	具体例
東書	全学年	【巻頭】 ○ 目次には, 全ての教材名を見開き2ページで示している。また, 下段には, 「印の意味」を説明している。	「情報モラル」 第1学年 ○ 「いたずらがきで, かなしむ ひとはいないかな。」 第2学年 ○ 「ゲームや テレビの おはなしは, ぜんぶ ほんとうの ことかな。」 第3～6学年 ○ 「インターネットやけいたい電話を使うとき, どんなことに気をつければよいのかな。」
	第2～6学年	○ 「これから一年間で学ぶこと」として, 4つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。	
	全学年	【巻末】 ○ 「学習の振り返り」を3ページ, 「これからもかがやく自分に! (第1学年は, 「かがやくじぶんに!）」を1ページで示している。	「学習の振り返り」 第1学年 ○ 「どうとくの がくしゅうを ふりかえろう。がくしゅうが おわったら, ふうせんに いろを ぬろう。」 第2学年 ○ 「どうとくの 学しゅうを ふりかえろう。こころに のこった おはなし, かんじた ことや かんがえた ことなどをかいて おこう。」 第3・4学年 ○ 「どうとくの学習(しゅう)をふり返ろう。心にのこったお話や友達(だち)の意見(いけん), 感(かん)じたことや考えたことなどを書いておこう。」 第5・6学年 ○ 「道徳の学習をふり返ろう。心にのこった話や友達の意見, 考えたことや学んだこと, これからの生活や学習に生かしていきたいことなどを書いておこう。」
	第1・2学年	○ 「つながる ひろがる」として, 付録を5ページで示している。第1学年は「1ねんかんでまなぶこと」として, 4つの視点ごとに, 教材名を1ページで示している。ま	「つながる ひろがる」 ○ イラストや写真で示している。

東書	第3～6 学年	<p>た, 第2学年は, 6ページ目に「夕やけこやけ」の詩を示している。</p> <p>○ 「つながる 広がる」として, 伝統文化, 郷土やスポーツなどの付録を6ページで示している。</p>	<p>「つながる 広がる」</p> <p>○ 写真で示している。</p>
	<p>・巻頭には, マークと色分けで「これから1年間で学ぶこと」として, 4つの視点ごとに教材名を示している。</p> <p>・巻頭の目次の中で, いじめに関する教材にはピンクで網掛けをしている。また, 問題解決学習に関する教材には, 水色で網掛けをしている。</p> <p>・巻末には学期ごとの振り返りをするページを3ページ, これからの自分にメッセージ等を書くページを1ページ設けている。また, 「つながる 広がる」という見出しで, イラストや写真を掲載した付録がある。</p>		
学図	全学年	<p>【巻頭】</p> <p>○ 目次には, 4つの視点ごとに色分けされた番号とマークと共に, 掲載している順に全ての教材名を見開き2ページで示している。</p> <p>○ 各学年, 6つの「読みものコラム」の教材名を示している。</p> <p>○ 後半に, 「読みもののマーク」として, マークの説明を示している。</p>	<p>○ 「読みものコラム」として,</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリンピック・パラリンピックがやってくる! 2 気を付けよう, 気づかおう 3 言葉・情報モラル① 4 言葉・情報モラル② 5 命のかがやき 6 生き方を学ぼう <p>の項目がある。</p>
	全学年	<p>教科書「活動」</p> <p>○ 目次には, 各学年, 視点ごとに色分けをし, マークと共に全ての教材名を見開き2ページで示している。</p> <p>○ 各学年, 「読みもののマーク」「活動のマーク」の説明と共に, 教科書「活動」の使い方を見開き2ページで示している。</p>	<p>「活動のマーク」</p> <p>○ 「かんがえよう」マーク 「お話のできごとや, 人物の様子, 気持ちを考えましょう。」</p> <p>○ 「みつめよう」マーク 「お話で考えたことを基に, 自分を見つめましょう。」</p> <p>○ 「アクティブ」マーク 「書いたり, 人物になって考えてみたり, 話し合ってみたりしましょう。」</p>
	全学年	<p>【巻末】</p> <p>○ 「道徳の学習をふり返ろう」として, 内容項目別一覧を4つの視点ごとに1ページで示している。</p>	<p>○ 『学習の記録』のらんに, 学習の感想をマーク(心にのこった・・・♡, 深く考えた・・・☆)で書いたり, 学習した日にちを書いたりして, 学習をふり返りましょう。」</p>

学図	全学年	教科書「活動」 ○ 「保護者の方へ」として、保護者向けに、4つの視点の「内容」と「めざすこと」、「教材名」を1ページで示している。	
	第1・2学年	○ 「かつどうの ヒント」を5ページで示している。	○ 「ここには、上手に話したり、聞いたり、話し合ったりするヒントがたくさん書かれているよ。」 「お話の人ぶつの気もちや、ばめんのようすを考えるヒントもあるよ。」 「よく読んで、学しゅうのなかでつかってみよう。」
	第3～6学年	○ 「活動の資料」を3ページで示している。	○ 「ここには、授業の中で、話したり、きいたり、話し合ったり、話の中の場面の様子をたしかめあつたりするときの約束や、やり方の例を示してあります。参考にしてください。」
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、目次がある。 ・巻末の「道徳の学習をふり返ろう」には、内容項目別一覧と学習の感想をマークで記入する振り返りの欄がある。 ・教科書「活動」の巻末には、話し合いの仕方の例などを示した「活動の資料」や「活動のヒント」を掲載している。 			
教出	全学年	【巻頭】 ○ 各学年の目次には、教材名の始めに、4つの視点ごとに色分けされた枠内にマークを付け、掲載している全ての教材名を見開き2ページで示している。 ○ 最後に、「この本のマークの説明」として、マークの説明を示している。	「スキル」マーク 第1～4学年 ○ 「体験をとおして、人としてのおこないについて考えを深めます。」 第5・6学年 ○ 「体験をとおして、人間としての行動について考えを深めます。」
	全学年	【巻末】 ○ 各学年、「一年間の道徳の学習をふり返ろう」を1ページで示している。 ○ 「学習内容一覧」を記載している。	「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 第1・2学年 ○ 「一年間で、がんばれたことは、どんなことですか。」 第3・4学年 ○ 「一年間で、自分の考え方や行動がどのように変わりましたか。」 第5・6学年 ○ 「一年間で、自分の心はどのように成長しましたか。」
	第1・2学年	○ 第1・2学年には、「みにつけよう れいぎ・マナー」を折り込みで示している。	「みにつけよう れいぎ・マナー」 第1学年 ○ 「おじぎ」「れいぎ正しい しせい」「いえでのマナー」「学校でのマナー」「あ

<p>教出</p>			<p>んぜんの マナー」 第2学年 ○ 「公きょうの場でのマナー」「学校でのマナー」「公きょうの場での心くばり」「国旗・国歌を大切にする」</p>
<p>・目次では、内容項目ごとに見出しを付けて網掛けをし、複数の教材をまとめている。また、内容項目の視点ごとに色分けをしてマークを付けている。 ・巻末には、1年間の振り返りを書き込み、家の人や先生から一言書き込んでもらうページが1ページある。</p>			
<p>光村</p>	<p>全学年 第3～6学年 第1～4学年 第5・6学年 全学年</p>	<p>【巻頭】 ○ 各学年の目次の前には、詩とイラストを見開き2ページで掲載している。 ○ 目次は、学習する教材名についている番号を、学習する月のまとまりごとに4色に分類して、見開き2ページで示している。 ○ 「この本に出てくる印」についての説明を示している。</p> <p>【巻末】 ○ 「あなたへのメッセージ」を1ページで示している。 ○ 「日本の伝統文化」について、2ページで示している。 ○ 「私たちの学ぶ世界」を、2ページで示している。</p> <p>○ 「友達との人間関係を築くためのこつ」を1ページで示している。</p> <p>○ 「よりよい人間関係を築くためのこつ」を2ページで示している。</p> <p>○ 内容項目別一覧を4つの視点ごとに示し、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを1ページで記載している。</p>	<p>○ 詩の後に、「みんな 生きてる みんなで生きてる」の言葉を全学年に記載している。</p> <p>○ 「学習のまとまりを表す印」 ・四月から五月の学習のまとまり ・六月から九月の学習のまとまり ・十月から十二月の学習のまとまり ・一月から三月の学習のまとまり</p> <p>○ 第3学年・・・日本につたわる「くらしの道具」 ○ 第4学年・・・日本に伝わる「祭り」 ○ 第5学年・・・日本に伝わる「伝統工芸」 ○ 第6学年・・・日本の「町おこし」</p> <p>第1学年 ○ 三つの「あ」でともだちをつくろう！ 第2学年 ○ 「さくせん『ゴリラ』」で、友だちとなかよくなろう！ 第3学年 ○ 自分の気持ちをつたえよう！ 第4学年 ○ 相手の気持ちによりそおう！ 第5学年 ○ ありのままの自分を受け入れよう！ 第6学年 ○ おたがいがこちよくなる話し方を身につけよう！</p>
<p>・巻頭には、見開き2ページで詩とイラストを掲載している。目次に、「学習のまとまりを表す印」を付け、学習する順に教材を掲載している。 ・巻末には、内容項目別一覧に現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを記載している。友達等との人間関係を築くためのこつなどの資料がある。</p>			
<p>日文</p>	<p>全学年</p>	<p>【巻頭】 ○ 目次には、教材名の上に、4つの視点ごとに色分けをした番号があり、掲載された</p>	

日文	全学年	<p>全ての教材名を見開き2ページで示している。</p> <p>○ 下段には、「教科書の中のいろいろな印」の説明を示している。</p> <p>別冊「道徳ノート」</p> <p>○ 目次には、教材名の上に4つの視点ごとに色分けをした番号があり、掲載している全ての教材名を1ページで示している。</p> <p>○ 「道徳ノートのとびら」を1ページで示している。</p>	<p>「虫めがねのマーク」</p> <p>第1～4学年</p> <p>○ お話の中からいけないところを見つけ、じっくり考えたり、友達と話し合ったりしてみましょう。</p> <p>第5・6学年</p> <p>○ お話の中から問題を見つけ、じっくり考えたり、友達と話し合ったりしてみましょう。</p>
	全学年	<p>【巻末】</p> <p>○ 内容項目別教材一覧表を4つの視点ごとに色分けをし、1ページで示している。</p> <p>別冊「道徳ノート」</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」の欄を1～2ページで示している。</p>	<p>【自分のことを書いてみよう】</p> <p>第1・2学年</p> <p>○ 「とくいな こと」「すきな あそび」「たからもの」「今までで いちばん うれしかった こと」「できるように なりたいこと」</p> <p>第3・4学年</p> <p>○ 「好きな食べ物」「好きな本やお話」「自分の好きなところ」「目標にしたい人」「むちゅうになっていること」</p> <p>第5・6学年</p> <p>○ 「好きなこと」「自分の好きなところ」「自分の直したいところ」「いちばんたいせつなもの」「将来の夢」</p>
<p>・巻頭の目次において、情報モラルやいじめ等をテーマにした見出しを付けており、複数の教材をまとめている。4つの視点ごとに色分けされた番号を教材名の上に示している。</p> <p>・巻末の内容項目別教材一覧表にデジタル欄を設け、パソコンやインターネットを使用し、さらに学習を深めることができるようにしている。</p> <p>・別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残ったお話と理由を書き込む欄、保護者記入欄を設けている。</p>			
光文	全学年	<p>【巻頭】</p> <p>○ 目次には、教材名の上に4つの視点ごとに色分けをした番号があり、掲載している全ての教材名を2ページで</p>	

光文	全学年	<p>示している。</p> <p>【巻末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目別教材一覧を4つの視点ごとに色分けをし、1ページで示している。また、関連性のある内容項目を記載している。 ○ 重点主題教材をマークで示している。 ○ 折り込みページで、「学びの足あと」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重点主題教材 「複数の教材を続けて学習することで、道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。」
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の目次において、伝統文化や命等をテーマにした見出しを付けて網掛けをし、複数の教材をまとめている。4つの視点ごとに色分けされた番号を教材の上に示している。 ・内容項目別教材一覧の教材名の欄に、重点主題教材にマークを設け、関連性のある内容項目を記載している。1時間ごとに感じたことを書いたり、学期ごとにまとめを書いたりする折り込みページがある。 		
学研	全学年	<p>【巻頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次の前のページには、見開き2ページで写真と詩を掲載している。 ○ 目次には、4つの視点で色分けされた番号があり、掲載している全ての教材名を見開き2ページで示している。 ○ 「教科書に使われているマーク」として、マークの説明を示している。 	<p>【第6学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私のこと」自分のことについて学習します。 ○ 「あなたと私」だれかと心をつなぐことについて学習します。 ○ 「社会と私」周りにいるたくさんの人と心をつなぐことについて学習します。 ○ 「命や自然と私」自分や生きものなどの命や、美しいものについて学習します。
	全学年	<p>【巻末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1～4学年は「心（こころ）のたから物（もの）」、第5・6学年は「心の宝物ー学びの足あとー」として、記述欄を設けている。 ○ 「各教材と学習指導要領・道徳の内容および他の教科等との関連」を1ページで示している。 	<p>「心の宝物ー学びの足あとー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学習をして、心に増えた宝物や、心に残った話を書いておきましょう。」
<ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点ごとに色分けされた番号を教材の上に示している。 ・見開き2ページで写真と詩を掲載している。目次には、見出しを付けて複数の教材をまとめている。 ・「各教材と学習指導要領・道徳の内容および他の教科等との関連」の中で、関連する他の 			

学研	教科等との主な関連を示している。 ・心に残った話などを記入するページが1ページある。	
廣 あかつき	全学年	【巻頭】 <input type="checkbox"/> 掲載している全ての教材名を見開き2ページで示している。 <input type="checkbox"/> 詩を1ページで掲載し、次のページには「道徳の時間は～時間です。」と記載している。
	全学年	別冊「道徳ノート」 <input type="checkbox"/> 目次には、全ての内容項目を示している。
	全学年	【巻末】 <input type="checkbox"/> 内容一覧として、「教材名」「内容項目」「作者」を1ページで示している。 <input type="checkbox"/> 4つの視点ごとに色分けした教材一覧を見開き2ページで示している。
	全学年	別冊「道徳ノート」 <input type="checkbox"/> 折り込みで「心のしおり」を設けている。 <input type="checkbox"/> 授業の記録や話し合い活動の記録等を残すため、7～13ページの記入欄を設けている。
<input type="checkbox"/> 第1学年「はじめの いっぽ」 <input type="checkbox"/> 第2学年「きみに あえて うれしい」 <input type="checkbox"/> 第3学年「ありがとうの花」 <input type="checkbox"/> 第4学年「空より高く」 <input type="checkbox"/> 第5学年「わたしと小鳥とすずと」 <input type="checkbox"/> 第6学年「星とたんぼぼ」		
第1・2学年 <input type="checkbox"/> 「心に のこって いる じゅぎょうの 記ろく」 <input type="checkbox"/> 「かんじた ことや 考えた こと」 第3学年 <input type="checkbox"/> 「心にのこっているじゅ業の記ろく」 <input type="checkbox"/> 「学習の記ろく」 第4～6学年 <input type="checkbox"/> 「心に残っている授業の記録」 <input type="checkbox"/> 「話し合い活動の記録」 <input type="checkbox"/> 「体験活動の記録」 <input type="checkbox"/> 「学習の記録」		
・巻頭の目次のあとに、詩を1ページ掲載している。 ・別冊「道徳ノート」の巻末に、授業や体験活動を記録する欄を設けている。 ・1時間ごとに振り返りを記入したり学期ごとに内容項目を振り返ったりする折り込みページがある。		

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	内容の表現・表記
視点	⑩教材の内容を理解させる工夫
方法	○イラスト・写真・図表等の示し方の工夫, キャラクターやマーク等の活用

発行者	調査・研究内容	
東書	イラスト・写真・図表等の示し方の工夫	キャラクターやマーク等の活用
	<p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物, 自然, 伝統文化等を扱っている教材において, 写真で示している。 ○ 第3・4・6学年の「問題を見つけて考える」教材において, とびらページを写真で示している。 <p>【図表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第4～6学年では, 地図で場所を示している。 ○ 第6学年は, 数値を棒グラフで示している。 	<p>【キャラクター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こころん」を設定し, 第1・2学年では, 教材の前にポイントとなる発問を, 第3学年以上では, 教材の終わりに, 教材に対しての発問と自分の生活を見つめる発問を示している。 <p>【マーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を, ハートの色と中の絵を変えて分類している。また, 教材名の前には, 該当する4つの視点を表示している。 ○ 「出会う・ふれ合う」のマークを設定し, 友達との心のふれ合いをさせる学習であることを示している。 ○ 第3学年以上には, 「つながる・広がる」のマークを設定し, 他教科の学習とつなげたり普段の生活に広げたりすることを示している。 ○ 「問題を見つけて考える」のマークを設定し, 問題解決的な学習が可能であることを示している。 ○ 「いじめのない世界へ」のマークを設定し, 二つの話からいじめについて考えることができる学習であることを示している。 ○ 「情報モラル」のマークは, 情報モラルの学習ができることを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「問題を見つけて考える」の教材では, とびらページの背景に写真を使用している。 ・ 自分の生活を見つめさせる発問等があるところに, 学習の案内役として, 「こころん」等のキャラクターを設定している。 ・ 「出会う・ふれ合う」のマークを設定し, コミュニケーション活動による相互理解を深める学習であることを示している。 	
学図	<p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物, 自然, 伝統文化等を扱っ 	<p>【キャラクター】</p> <p>無し</p>

<p>学図</p>	<p>ている教材において、写真で示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 6つの「読みものコラム」のうち、「オリンピック・パラリンピックがやってくる!」と「生き方を学ぼう」の教材において、写真で示している。 <p>教科書「活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「かんがえよう」や「広げよう」の部分に、学習の助けとして、写真で示している。 <p>【図表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5・6学年は、地図で場所を示している。 ○ 第6学年は、ドクターヘリの出動を図で示している。 ○ 第1学年は、生き物の寿命を、棒グラフで示している。 <p>教科書「活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第6学年では、「家族の中の自分の役割」を帯グラフで示している。 	<p>【マーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を番号を囲む四角の中の色とその上にある人間のマークを変えて分類し、目次の教材名の上に該当する4つの視点を表示している。教材の主題名の上にも、該当する4つの視点と内容項目を示している。 ○ 「読みものコラム」のマークを設定している。「オリンピック・パラリンピック」「情報モラル」「いじめ問題」「防災・安全教育」「キャリア教育」等の読み物を示している。 ○ 教科書の教材名の下に、別冊「活動」のページをマークで示している。 ○ 教科書「活動」に、「考えよう」「みつめよう」「アクティブ」のマークを設定している。「アクティブ」には、「はなしあおう」「かいてみよう」「やってみよう」等、学習を深める活動を示している。また、教科書「読みもの」のページをマークで示している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材名の下に、該当する教科書「活動」のページを示すマークがある。 ・ 教科書「活動」では、「考えよう」「見つめよう」等のマークを設定している。特に、学習を深める活動については、「アクティブ」のマークも設定している。 		
<p>教出</p>	<p>【イラスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの手引き」の中で、子供のイラストを使用し、発問に対する児童の反応例を示している。 ○ 「やってみよう」では、考えさせたい場面をイラストで示し、状況を把握しやすくしている。 ○ 教材文の前に、児童に考えさせたいことを、イラストと吹き出しで示している。 <p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物、自然、伝統文化等を扱っている教材において、写真で示している。 <p>【図表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年は、地図で場所を示している。 	<p>【キャラクター】</p> <p>無し</p> <p>【マーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次・教材文ともに、4つの視点をマークで表示している。 ○ 目次には内容項目の上に、教材文の主題名の下には、それぞれ4つの視点のマークを示している。 ○ 目次と教材文の教材名の下に、「スキル」マークを用い、体験を通して、人間としての行動について考えを深める学習を示している。 ○ 目次や該当ページにおいて、「命を大切にする」は赤、「みんなと仲よくする」は黄、「情報モラルについて理解する」は青と、色別のマークで分類している。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめをなくす」は黄, 「情報モラル」は青, 「生命尊重」は赤と, 色別のマークで分け, 目次及び該当ページに示している。 	
<p>光村</p>	<p>【イラスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上は, 「考えよう」で, 学習の助けとして, ヒントや例などを子供のイラストで示している。 <p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物, 自然, 伝統文化等を扱っている教材において, 写真で示している。 <p>【図表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第4学年以上は, 地図で場所を示している。 ○ 第5学年以上は, 数値を棒グラフや折れ線グラフ, 円グラフ等で示している。 	<p>【キャラクター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きらりん」「こころん」を設定している。「こころん」が, 学習に入る前に考えてほしいことを問いかけている。また, 「きらりん」が, 学習したことと, 他の学習や生活の中で考えてほしいことをつないでいる。 <p>【マーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間を4つのまとまりに分け, 「学習のまとまりを表す印」としてマークで示している。まとまりは, 4・5月, 6～9月, 10～12月, 1～3月を4色で表示している。 ○ 4つの視点をマークで示し, 教材文の前の主題名の上に示している。 ○ 「コラム」をマークで示し, 「ともに生きる」「世界とつながる」等の課題について考えることができるようにしている。 ○ 「考えよう」をマークで示し, 学びのめあてを示している。 ○ 「つなげよう」のマークを第2学年以上に設定し, 他教科等との関連や日常生活の中で考えてほしいことを示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習のまとまり」を表すマークで, 1年間を4つのまとまりに分けている。 ・ 学習に入る前に考えてほしいことを問いかけるキャラクター「こころん」, 学習したことと他の学習や生活の中で考えてほしいことをつなぐよう促すキャラクター「きらりん」を設定している。 ・ 1年間を「4・5月」「6～9月」「10～12月」「1～3月」の4つのまとまりに分け, 色別のマークで示している。 	
<p>日文</p>	<p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物, 自然, 伝統文化等を扱っている教材において, 写真で示している。 ○ 表表紙と裏表紙には, 児童の学校生活の様子を写真で示している。 ○ 「学習の手引き」において, 学習活動を児童の写真を使って示している。 <p>別冊「道徳ノート」</p>	<p>【キャラクター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「りさ」「なおや」「あかね」「はるひと」の4人を設定し, 教材の終わりに, 「考えてみよう」「見つけよう生かそう」での発問を示している。子供は学年とともに成長した姿を表している。 ○ 学習の道案内をするキャラクター「ココロウ」を設定している。

<p>日文</p>	<p>○ 表表紙には、児童の学校生活の様子を写真で示している。</p> <p>【図表】</p> <p>○ 第4学年以上は、地図で場所を示している。</p> <p>○ 第4学年以上は、数値を棒グラフや折れ線グラフ、円グラフで示している。</p> <p>○ 第4・5学年では、「いじめの四層構造」を図で示している。</p>	<p>【マーク】</p> <p>○ 4つの視点を、丸の色とその上にある人間の数で表示している。本文の教材名の上には、該当する4つの視点を示している。</p> <p>○ 体験的な学習・問題解決的な学習・パソコンやインターネットを使用して深める学習など、教材の学び方を、マークで示している。</p> <p>○ 「ふろく」のマークを設定し、補充用の教材を入れている。</p> <p>○ 「心のベンチ」のマークを設定し、考えを深めるページとして位置付けている。</p>
<p>・ 4人の子供のキャラクターを設定して、教材の終わりに発問を示している。</p> <p>・ 学習の案内役として「ココロウ」を設定し、疑問や考えるポイントを示している。</p> <p>・ 学習を広げ深めるページを「心のベンチ」として、マークで示している。</p>	<p>光文</p>	<p>【写真】</p> <p>○ 人物や生き物、自然、伝統文化等を扱っている教材において、写真で示している。</p> <p>○ 第3学年以上の「コラム」において、写真で示している。</p> <p>【図表】</p> <p>○ 第3・4・6学年において、地図で場所を示している。</p> <p>○ 第6学年において、年表で人物の一生を示している。</p> <p>○ 第4学年において、ノーベル賞の受賞者を年表で示している。また、石橋の作り方を図で示している。</p> <p>【キャラクター】</p> <p>○ 「みらいさん」「ゆたかさん」「わんだ先生」「トーリー」を設定し、学習時に考えるために大切なことを示している。</p> <p>○ 子供が学年とともに成長した姿を表している。</p> <p>【マーク】</p> <p>○ ハートの色と中の人間の数で分類し、もくじの教材名の上に表示している。</p> <p>○ 「各学年で特に考えたいこと」のマークを設定し、もくじの教材名の上に表示している。</p> <p>○ 本文中の主題名の上に、該当する4つの視点を示している。</p> <p>○ 「まとめる」「ひろげる」のマークを設定している。</p> <p>○ 「情報モラル」「コラム」「ふろく」のマークを設定し、情報モラルを扱う教材や関連教材であることを示している。</p> <p>○ 「みんなでやってみよう」のマークを設定し、みんなで人間関係を豊かにするコラムを示している。</p> <p>○ 「ことばのたからもの」のマークを設定し、児童に知ってほしいことばを紹介している。</p>

<p>光文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ゆたかさん」等の2人の子供や、「わんだ先生」等の動物のキャラクターを設定して、考えるためのポイントや問いなどを示している。 ・ 「ことばのたからもの」マークとともに、教材と関連のある言葉を紹介している。 	
<p>学研</p>	<p>【写真】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人物や生き物、自然、伝統文化等を扱っている教材において、写真で示している。 ○ 巻頭見開き2ページ全体を写真で示している。 ○ ユニット教材の「とびらのページ(いのち)」において、全学年写真で示している。 ○ ユニット教材の「とびらのページ(重点テーマ)」において、第3学年以上は、写真で示している。 <p>【図表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5・6学年において、地図で場所を示している。 ○ 第5・6学年において、数値を棒グラフや折れ線グラフで示している。 ○ 第4学年において、選手の成績を表で示している。 	<p>【キャラクター】</p> <p>無し</p> <p>【マーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を人間の色と数で分類している。教材名の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材の最後に「？」マークを使用し、発問を示している。 ○ 考えを記述する欄に、「鉛筆」のマークを用いている。 ○ 家庭との連携ができる欄に、「家」のマークを用いている。 ○ 「情報モラル」のマークを設定し、情報モラルについて考えるページの右下に示している。 ○ ユニット教材には、目次と教材ページの赤と青のマークを用いている。 ○ 「つなげよう」「広げよう」「深めよう」「やってみよう」のマークを設定し、学び方を示している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニット教材のとびらのページの背景に写真を使用している。 ・ 「鉛筆」のマークを設定して、自分の考えや友達の考えを記述できるようにしている。また、「家」のマークを設定して、家庭と連携する学習活動を示している。 		

<p>廣あかつき</p>	<p>【写真】</p> <p>○ 人物や生き物, 自然, 伝統文化等を扱っている教材において, 写真で示している。</p> <p>【図表】</p> <p>○ 第5・6学年において, 地図で場所を示している。</p> <p>○ 第5学年では, トラブルの発生件数を棒グラフで, 第6学年では, 割合の変化を折れ線グラフで示している。</p>	<p>【キャラクター】</p> <p>無し</p> <p>【マーク】</p> <p>○ 視点を4色のドットで分類し, 本文中の教材名の下に道徳ノートのページ数と共に示している。</p> <p>○ 第3学年以上は, 教材と関連し, 学習を深める特集に, 「緑の葉」のマークで示している。(目次及び本文中)</p> <p>○ 「考えよう 話し合おう」では, 第1・2学年は, 青と橙色のドット, 第3学年以上には, 「虫眼鏡」マークを設定している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に, 「鉛筆」のマークを設定し, 教材を通して考えたこと・感じたことをまとめるための書く欄を設けている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3～6学年は, 教材と関連して学習を深める読み物等のページに「緑の葉」のマークを設定している。 ・ 第3～6学年の「考えよう 話し合おう」のコーナーの中に, 「学習の道すじ」や「学習を広げる」マークを設定している。 ・ 別冊「道徳ノート」の中で, 教材を通して感じたことや考えたことをまとめるところに「鉛筆」のマークを設定している。 	

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	言語活動の充実
視点	①自分の考えを伝え合う活動の工夫
方法	○話し合いを促す工夫と具体例

発行者	調査・研究内容								
東書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくのじかんはね……。」 ○ 「であう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「がんばりシール」 ・がんばっていることをともだちにおしえましょう。 ○ 教材名「一ねん〇くみのいいとこさがし」 ・わたしたちのがっきゅうのいいところを、ともだちとそうだしながらさがしてみよう。 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「はなしあいのやくそく」 ・きくときは…… ・はなすときは…… ○ 「ちょっとみんなではなしあってみよう」 ・女の子、いたそうだな。 ・なんとかしてあげなきゃ。 ・どうしたらいいのかな。 ・だいじょうぶかな。 ○ 「出あう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「じぶんへのしょうじょう」 ・じぶんのかいたしょうじょうをよんだり、ともだちがよむのをきいたりして、かんじたことをはっぴょうしましょう。 ○ 教材名「ありがとうカード」 ・ありがとうカードに、ともだちからしんせつにしてもらったことをかきましょう。 </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのやくそく」 ・聞くときは…… ・話すときは…… ○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」 ・やった！できた！ ・よかったなあ。 ・うれしいなあ。 ○ 「出会う・ふれ合う」 あなたは、みんなのことをよく知っているかな？みんなの心とふれ合おう。 </td> </tr> </tbody> </table>	学年	具体例	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくのじかんはね……。」 ○ 「であう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「がんばりシール」 ・がんばっていることをともだちにおしえましょう。 ○ 教材名「一ねん〇くみのいいとこさがし」 ・わたしたちのがっきゅうのいいところを、ともだちとそうだしながらさがしてみよう。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はなしあいのやくそく」 ・きくときは…… ・はなすときは…… ○ 「ちょっとみんなではなしあってみよう」 ・女の子、いたそうだな。 ・なんとかしてあげなきゃ。 ・どうしたらいいのかな。 ・だいじょうぶかな。 ○ 「出あう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「じぶんへのしょうじょう」 ・じぶんのかいたしょうじょうをよんだり、ともだちがよむのをきいたりして、かんじたことをはっぴょうしましょう。 ○ 教材名「ありがとうカード」 ・ありがとうカードに、ともだちからしんせつにしてもらったことをかきましょう。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのやくそく」 ・聞くときは…… ・話すときは…… ○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」 ・やった！できた！ ・よかったなあ。 ・うれしいなあ。 ○ 「出会う・ふれ合う」 あなたは、みんなのことをよく知っているかな？みんなの心とふれ合おう。
	学年	具体例							
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくのじかんはね……。」 ○ 「であう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「がんばりシール」 ・がんばっていることをともだちにおしえましょう。 ○ 教材名「一ねん〇くみのいいとこさがし」 ・わたしたちのがっきゅうのいいところを、ともだちとそうだしながらさがしてみよう。 							
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はなしあいのやくそく」 ・きくときは…… ・はなすときは…… ○ 「ちょっとみんなではなしあってみよう」 ・女の子、いたそうだな。 ・なんとかしてあげなきゃ。 ・どうしたらいいのかな。 ・だいじょうぶかな。 ○ 「出あう・ふれあう」 みんなのことを、もっとよくしろう。じぶんのことを、みんなにはなそう。 ○ 教材名「じぶんへのしょうじょう」 ・じぶんのかいたしょうじょうをよんだり、ともだちがよむのをきいたりして、かんじたことをはっぴょうしましょう。 ○ 教材名「ありがとうカード」 ・ありがとうカードに、ともだちからしんせつにしてもらったことをかきましょう。 								
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのやくそく」 ・聞くときは…… ・話すときは…… ○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」 ・やった！できた！ ・よかったなあ。 ・うれしいなあ。 ○ 「出会う・ふれ合う」 あなたは、みんなのことをよく知っているかな？みんなの心とふれ合おう。 								

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「さいこうにうれしい『おはよう!』」 <ul style="list-style-type: none"> ・今日、「おはようございます。」と、気持ちよくあいさつすることができましたか。同じあいさつでも、元気のいい「おはよう。」や、さわやかな「おはよう。」、めんどくさそうな「おはよう。」がありますね。 ○ 教材名『「がんばっているでしょう」をあげよう』 <ul style="list-style-type: none"> ・同じグループの友だちが、「がんばっているなあ。」と思うことを見つけましょう。 ○ 教材名「三つの国」 <ul style="list-style-type: none"> ・せかいにあるさまざまな国のことで「日本とちがうな」、「日本と同じだな」と思うところについて、みんなで話し合ってみましょう。
東書	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのやくそく」 <ul style="list-style-type: none"> ・聞くときは…… ・話すときは…… ○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらと考えると、どうかな。 ・そういう考えもあるんだ! ・あっ! ぼくの考えと同じだ。 ・わたしの考えとは少しちがうな。 ○ 「出会う・ふれ合う」 <p>あなたは、みんなのことをよく知っているかな?みんなの心とふれ合おう。</p> ○ 教材名「あなたのやさしさにありがとう」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループの友だちにやさしくしてもらったことを思い出して、「ありがとう」の気持ちをつたえていきましょう。 ○ 教材名「もっとこうすれば、きちんとできる」 <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体でふり返りをします。「エ」に書いたことを発表しましょう。 ○ 教材名「なにかお手つだいできることはありますか?」 <ul style="list-style-type: none"> ・親切にして、相手がよろこぶ顔を見ると、うれしくなるのはなぜでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いの約束」 <ul style="list-style-type: none"> ・聞くときは…… ・話すときは…… ○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらと考えると、どうかな。 ・人によっていろいろな考えがあるんだな。 ・わたしの考えと同じだ。 ・ぼくとはちがう考えだけど、参考になるな。 ○ 「出会う・ふれ合う」 <p>あなたは、みんなのことをよく知っているかな?みんなの心とふれ合おう。</p> ○ 教材名「やりとげた仕事」

- ・最後にクラス全体でふり返りをします。感じたこと、思ったことを発表しましょう。
- 教材名「五年〇組 心のサーブ」
- ・同じグループの友達のよいところ、がんばっているところを見つけましょう。そして、それを言葉にして、「心のサーブ」をおくりましょう。
- 教材名「ベートーベン」
- ・あなたはどんなゆめや希望を持っていますか。それをじつげんさせるために、どうしたらよいか話し合ってみましょう。

- 「話し合いの約束」
- ・聞くときは……
- ・話すときは……
- 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」
- ・自分だったらと考えると、どうかな。
- ・人によっていろいろな考えがあるんだな。
- ・わたしの考えと同じだ。
- ・ぼくとはちがう考えだけど、参考になるな。
- 「出会う・ふれ合う」
- あなたは、みんなのことをよく知っているかな？みんなの心とふれ合おう。
- 教材名「しょうらいの夢を語ろう」
- ・シートを返してもらって、「ウ」～「オ」に書いてもらったことを読んだら、クラス全体でふり返りをしましょう。気づいたこと、感じたことなどを発表しましょう。
- 教材名「言葉のプレゼント」
- ・これから「言葉のプレゼント」をします。友達に、おうえんや、ほげましの言葉をおくりましょう。
- 教材名「白旗の少女」
- ・国際理解や親善のために、わたしたちにどんなことができるか、話し合ってみましょう。

- ・ 第1学年は、巻頭に道徳の時間にみんなが考えたり、話し合ったりしている様子を挿絵で示している。
- ・ 第2～6学年では、巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、話し合う活動を示し、「話し合いの約束」として話し合いのポイントを示している。巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう。」の中に、ショートストーリーを例とし、自分の考えをもつ活動を設定し、話し合いの状況を示している。
- ・ 第3～6学年は、教材の終わりに話し合う学習活動を示している。
- ・ 全学年「出会う・ふれ合う」では、児童同士の意見の交流を促す活動を設けている。

学年	具体例
1	<p>【きょうかしよ「よみもの」】</p> <p>○ 「ぼくだったら、こう するよ。」 「わたしは……。」</p> <p>【きょうかしよ「かつどう」】</p> <p>○ 「上手な はなしかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいての 人の ほうを むいて、目を 見ながら おはなししまし よう。 「上手な はなしあいの しかた」 ・はなしあいは、ともだちの いうことを ききあう ことから はじ まります。
2	<p>【教科書「よみもの」】</p> <p>○ 「ぼくだったら、こう するよ。」 「わたしは……。」</p> <p>【教科書「かつどう」】</p> <p>○ 「上手な 話し方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいての 人の 方を むいて、目を 見ながら お話ししまし よう。 「上手な 話し合いの しかた」 ・話し合いは、友だちの 言うことを 聞き合う ことから はじまり ます。 <p>○ 教材名「思いきって」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」はどうして「やっぱりいいや。」と言ったのでしょうか。
3	<p>【教科書「読みもの」】</p> <p>○ 「ぼくは、こう考えるな。」 「なるほどね。」 「わたしは、こうしたほうがいいのかと思う。」 「そうか。その方法もあるね。」</p> <p>【教科書「活動」】</p> <p>○ 「上手な話し方・きき方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。また、一つのこ とを言ったら、間を空けて話すようにすると、相手の人は、ききやす くなります。 自分の話していることが、相手につたわっているかをたしかめるため に、きき手の様子を見ながら話しましょう。 「上手な話し合い」 ・「話し合い」は、「きき合う」ことから始まります。まずは、話し手の 言うことをきく。このことを大切にしましょう。 そのうえで、次のようにして話すと、自分の考えが相手に分かりやす くつたわります。 <p>○ 教材名「まどガラスと魚」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隼人はどうして何回もまどガラスを見に行っていたのでしょうか。

	4	<p>【教科書「読みもの」】</p> <p>○ 「ぼくは、こう考えるな。」 「なるほどね。」 「わたしは、こうしたほうがいいと思う。」 「そうか。その方法もあるね。」</p> <p>【教科書「活動」】</p> <p>○ 「上手な話し方・きき方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。また、一つのことを言ったら、間を空けて話すようにすると、相手の人は、ききやすくなります。 <p>自分の話していることが、相手に伝わっているかをたしかめるために、きき手の様子を見ながら話しましょう。</p> <p>「上手な話し合い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合い」は、「きき合う」ことから始まります。まずは、話し手の言うことをきく。このことを大切にしましょう。 <p>そのうえで、次のようにして話すと、自分の考えが相手に分かりやすく伝わります。</p> <p>○ 教材名「われた花びん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花びんがわれてしまった時、「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。
学図	5	<p>【教科書「読みもの」】</p> <p>○ 「ぼくだったら、こうするよ。」 「なるほどね。」 「わたしは、こうしたほうがいいと思うな。」</p> <p>【教科書「活動」】</p> <p>○ 「上手な話し方・きき方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。また、一つのことを言ったら、間を空けて話すようにすると、相手の人は、ききやすくなります。 <p>自分の話していることが、相手に伝わっているかをたしかめるために、きき手の様子を見ながら話しましょう。</p> <p>「上手な話し合い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合い」は、「きき合う」ことから始まります。まずは、話し手の言うことをきく。このことを大切にしましょう。 <p>そのうえで、次のようにして話すと、自分の考えが相手に分かりやすく伝わります。</p> <p>○ 教材名「マメちゃんの幸せ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マメちゃんを放す準備をしている時、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。

学図	6	<p>【教科書「読みもの」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぼくだったら、こうするよ。」 「なるほどね。」 「わたしは、こうしたほうがいいと思うな。」 <p>【教科書「活動」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「上手な話し方・きき方」 <ul style="list-style-type: none"> ・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。また、一つのことを言ったら、間を空けて話すようにすると、相手の人は、ききやすくなります。 自分の話していることが、相手に伝わっているかをたしかめるために、きき手の様子を見ながら話しましょう。 「上手な話し合い」 ・「話し合い」は、「きき合う」ことから始まります。まずは、話し手の言うことをきく。このことを大切にしましょう。 そのうえで、次のようにして話すと、自分の考えが相手に分かりやすく伝わります。 ○ 教材名「羊飼いの指輪」 <ul style="list-style-type: none"> ・もしもあなたがこの指輪を持っていたら、どんなことを思いますか。 								
	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションの「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合いの状況を示している。 ・ 教科書「活動」の巻末に「かつどうのヒント（第1・2学年）」「活動のしりょう（第3・4学年）」「活動の資料（第5・6学年）」のページを設け、上手な話し方、上手な話し合いの仕方のポイントを示している。 ・ 第2～5学年では教科書「活動」の中に、「はなしあおう アクティブ」のマークを使い、話し合いを促す発問を示している。 									
教出	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学年</th> <th style="text-align: center;">具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが たいせつに している きもちや かんがえを はっぴょうし、ともだちの かんがえを きいたり、し つもんしたり しながら、 はなしあい を します。」 ○ 教材名「ものや おかねを たいせつに」 <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが ものや おかねを たいせつに しているでしょう。 ・どうして そう おもったのか わけも はなしあい しましょう。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが 大切に している 気もちや 考えを はっぴょうし、友だちの 考えを 聞いたり、し つもんしたり しながら、 話し合い を します。」 ○ 教材名「よいのかな」 <ul style="list-style-type: none"> ・たつやさんの した ことの、こまった ところは どこでしょう。 みんなで 話し合っ て みましょう。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんがすすんでどうとくてきなおこないができるように、気持ちや思いを発表し、友だちの考えを聞いたり、しつもんしたりしながら、話し合いをします。」 </td> </tr> </tbody> </table>		学年	具体例	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが たいせつに している きもちや かんがえを はっぴょうし、ともだちの かんがえを きいたり、し つもんしたり しながら、 はなしあい を します。」 ○ 教材名「ものや おかねを たいせつに」 <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが ものや おかねを たいせつに しているでしょう。 ・どうして そう おもったのか わけも はなしあい しましょう。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが 大切に している 気もちや 考えを はっぴょうし、友だちの 考えを 聞いたり、し つもんしたり しながら、 話し合い を します。」 ○ 教材名「よいのかな」 <ul style="list-style-type: none"> ・たつやさんの した ことの、こまった ところは どこでしょう。 みんなで 話し合っ て みましょう。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんがすすんでどうとくてきなおこないができるように、気持ちや思いを発表し、友だちの考えを聞いたり、しつもんしたりしながら、話し合いをします。」
学年	具体例									
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが たいせつに している きもちや かんがえを はっぴょうし、ともだちの かんがえを きいたり、し つもんしたり しながら、 はなしあい を します。」 ○ 教材名「ものや おかねを たいせつに」 <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが ものや おかねを たいせつに しているでしょう。 ・どうして そう おもったのか わけも はなしあい しましょう。 									
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんが 大切に している 気もちや 考えを はっぴょうし、友だちの 考えを 聞いたり、し つもんしたり しながら、 話し合い を します。」 ○ 教材名「よいのかな」 <ul style="list-style-type: none"> ・たつやさんの した ことの、こまった ところは どこでしょう。 みんなで 話し合っ て みましょう。 									
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんがすすんでどうとくてきなおこないができるように、気持ちや思いを発表し、友だちの考えを聞いたり、しつもんしたりしながら、話し合いをします。」 									

教出		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「あなたならできる」 ・はるかかのわすれ物がゼロになったのはどうしてか、話し合ってみましょう。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくでは、みなさんがすすんでどうとく的なおこないができるように、気持ちや思いを発表し、友達の考えを聞いたり、しつ問したりしながら、話し合いをします。」 ○ 教材名「つながるやさしさ」 ・くみちゃんが元気になると、どうしてしおりもうれしくなるのでしょうか。話し合ってみましょう。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳では、みなさんのまわりのさまざまな問題について、自分の思いや考えを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」 ○ 教材名「今度こそ！」 ・どうして「ぼく」は、もう一度司会をやらせてほしいとお願いしたのでしょうか。話し合ってみましょう。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳では、みなさんのまわりのさまざまな問題について、自分の思いや考えを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」 ○ 教材名「志をたてる」 ・松下幸之助が努力を続けることができたのは、どうしてでしょうか。みんなの考えを聞いて話し合ってみましょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年、巻頭の「道徳の学習が始まるよ（2学年以上は、“〇年生の”が冒頭に付く）」の中に、話し合いの意義や活動について示している。 ・ 教材の終わりの「学びの手引き」の中に、話し合いを促す発問がある。 		
光村	学年	具体例
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「みんな じょうず」 ・ともだちが「じょうず」にできることは、なんですか。みんなでだしあいましょう。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 ・その考え、いいね。 ・ぼくも、そう思うよ。 ・わたしは、こう思うな。 ・ぼくとはちがうね。どうしてだろう。 ○ コラム「友だちが作ったものは」 ・「話し合ってみましょう」 それぞれのぼめんの、たろうくんとじろうくんの 気持ちについて、考えてみましょう。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 ・わたしとはちがう考えだね。 ・ぼくはこう思うよ。 ・いろんな考えがあるんだね。 ・どうしてそう思うの？

光村		<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「友だちとのかかわりについて考えよう」 ・友だちとの関係について書かれた本をしょうかいします。読んで、感想を話し合ってみましょう。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 ・ぼくならこうするかな。 ・わたしはこう思うけど、みんななら、どうする？ ・こうしたいと思っても、なかなかできないんだよね。 ・こんなふうにしてみるといいかもしれないよ。 ○ 教材名「世界に一つだけの花」 ・「一人一人違う種を持つ」とは、どういうことだと思いますか。話し合ってみましょう。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 ・わたしとは、ここが同じで、ここがちがう。 ・もっとくわしく考えを聞かせて。 ・友達の考えとぼくの考えを合わせると、こんなことが言えるんじゃないかな。 ○ 「感想を表すときの言葉」 ・明るい、ほがらかだ、陽気だ ・なごやかだ、のんびりしている、のどかだ ○ 教材名「ケンタの役割」 ・ケンタは、リレーのバトン練習に行くことと、ポスターを作ることの、どちらの役割を果たすことに決めたとおもいますか。整理したことをもとに、ケンタが何と言ったか、グループで話し合ひましょう。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 ・もっとくわしく教えて。 ・友達の考えと、自分の考えのいいところを合わせよう。 ・話し合うことで新しい考えが生まれるね。 ○ 「感情を表すときの言葉」 ・うれしい、楽しい、心がはずむ、待ち遠しい、胸がおどる、胸がときめく、ごきげんだ、喜ばしい、望ましい、夢のようだ ○ 教材名「おじいちゃんとの約束」 ・「精いっぱい生きる」とは、どう生きることなのか、話し合ひましょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年、教材の終わりの「考えよう」(3学年以上は「考えよう」「つなげよう」)の中に、話し合いを促す発問を示している。 ・ 巻末において、発表や話し合いの場面で生かすことができる言葉として、第5学年は、「感想を表すときの言葉」、第6学年は、「感情を表すときの言葉」を示している。 ・ 第2～6学年は、オリエンテーションのページにイラストで話し合いの具体的な状況を示している。 		
日文	学年	具体例
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「はなしあって みよう」 ・ぼくは こうかんがえるよ。 ・わたしとは すこしちがう かんがえだね。

日文		<ul style="list-style-type: none"> ・そんな かんがえかたもわかるよ。 ○ 教材名「学校へ いく とき」 ・いろいろな くにの ことばで「おはよう。」と 言って みよう。 ちがう くにの ともだちと やって みたい こと を はなしあ ってみよう。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合っ て みよう」 ・ぼくは こう考えるよ。 ・わたしとは すこし ちがう 考えだな。 ・そんな 考えかたも わかるよ。 ○ 教材名「きまりの ない 学校」 ・学校の きまりは、なぜ あるの だろう。話し合っ て みよう。 ○ 教材名「一りん車」 ○ 1 もんだい を つかもう。 2 もんだい に ついて 考えよう。 3 もんだい の かいけつ を めざそう。 「つぎの こと を 考えながら 話し合っ て みましょ う。」 ・一りん車 を かくした とき の 気もち ・今 の 気もち ・なぜ もとの 一りん車 おきばに もどさな ければ いけないか。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合っ て みよう」 ・わたしとは、少しちがう 考えだな。 ・そんな 考え方も わかる けれど、わたしは こう 考えるよ。 ○ 教材名「もっと 調べた かったから」 1 問題 を つかもう。 2 問題 に ついて 考えよう。 3 問題 の 解決 を めざそう。 ・2の ように なら ない ため に、だい きが たい せつ に しな ければ いけ ない のは、ど の よう な 考え で し ょ う か。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合っ て みよう」 ・わたしとは、少しちがう 考えだな。 ・そんな 考え方も わかる けれど、わたしは こう 考えるよ。 ○ 教材名「ちこく」 1 問題 を つかもう。 2 問題 に ついて 考えよう。 3 問題 の 解決 を めざそう。 ・相手 を ゆる す こと、わ か り 合 う こと の たい せ つ さ に つい て 考 え て み ま し ょ う。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合っ て みよう」 ・その 考え を も う 少 し く わ し く 聞 か せ て よ。 ・前 は こう 考 え て い た け れ ど、今 は こ ん な 考 え に な っ た よ。 ・その 考 え 方 の、こ う い う と こ ろ が す て き だ ね。 ○ 教材名「すれちがい」 1 問題 を つかもう。 2 自 分 な り に 考 え よ う。

日文		<p>3 問題について話し合おう。</p> <p>4 問題を解決するときたいせつな考え方について話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかっていても、相手の立場をたいせつにできないことがあります。それをのりこえるためには、どんな考え方がたいせつなのか学級全体で話し合ひましょう。
	6	<p>○ 「話し合ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その考えをもう少しわしく聞かせて。 ・前はこう考えていたけれど、今はこんな考えになったよ。 ・その考え方の、こういうところがすてきだね。 <p>○ 教材名「クラスのきまり」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題をつかもう。 2 自分なりに考えよう。 3 問題について話し合おう。 4 問題を解決するときたいせつな考え方について話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたなら、よりよいきまりを考えるにあたって、どんな提案をするか、考えましょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションのページに、話し合ひの具体的な状況を示している。 ・ 教材の終わりにある「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」に話し合ひを促す発問を示している。「学習の手引き」を設定している教材では、問題解決に向けての話し合ひ活動について、グループで話し合ひ方法を示したり学級全体での話し合ひを促したりする等の工夫がある。 		
光文	学年	具体例
	1	<p>○ 「はなしあう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの ひとの はなしを、よく きく ことも たいせつだよ。 ・かんがえた ことを、みんなに はなして みよう。 <p>○ 教材名「ぼくはずかしいや」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうじきに すごす ために、たいせつな ことを はなしあいましょう。
	2	<p>○ 「はなしあう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの 人の はなしを、よく きく ことも たいせつだよ。 ・かんがえた ことを、みんなに はなして みよう。 <p>○ 教材名「一まいのしゃしん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じぶんや ともだちの「生きる力」を かんじる ばめんに ついて はっぴょうしあいましょう。
	3	<p>○ 「話し合おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の考えを聞いて話し合ひ、考えをふかめましょう。 ・友だちの話をよく聞いて、しつもんしたり、つけ足したりするといいいね。 ・自しんがなくてもだいじょうぶ。自分のいけんをつたえよう。 <p>○ 教材名「いちょうの木をまもるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校やクラスのためにできることをさがして、話し合ひてみましよう。
	4	○ 「話し合おう」

光文		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い，考えを深めましょう。 ・友だちの話をよく聞いて，質問したり，つけ足したりするといいね。 ・自信がなくてもだいじょうぶ。自分の意見を伝えよう。 ○ 教材名「さか上がり」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのクラスをよりよくするためにできることを話し合い，実際にやってみましょう。 						
	5	○ 「話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い，考えを深めましょう。 ・友だちの話をよく聞いて，質問したり，つけ足したりするといいね。 ・自信がなくてもだいじょうぶ。自分の意見を伝えよう。 ○ 教材名「帰ってきた，はやぶさ」 <ul style="list-style-type: none"> ・國中教授の生き方から学んだことをまとめ，話し合います。 						
	6	○ 「話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い，考えを深めましょう。 ・友だちの話をよく聞いて，質問したり，つけ足したりするといいね。 ・自信がなくてもだいじょうぶ。自分の意見を伝えよう。 ○ 教材名「陽子，ドンマイ！」 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼し合い，助け合っていくために，ふだんの生活では，どのようなことを心がけるとよいでしょうか。クラスで話し合います。 						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年，巻頭の「道徳の時間は，こんな時間です」において，話し合い活動を提示し，話し合いのポイントを示している。 ・ 教材の終わりの発問において，話し合い活動を促している。 							
学研	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> ○ はなしあったり，えんぎしたり，かいたりしてかんがえるよ。 ○ 教材名「じゃんけんぼん」 【ふかめよう】 みんなと たのしく ドッジボール ・ じぶんの かんがえを ちかくの ともだちと はなして みましよう。 ○ 教材名「はりきり いちねんせい」 ・ どの かばおさんが すてきか， はなしあいましょう。 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> ○ 話し合ったり，えんぎしたり，書いたりして考えるよ。 ○ 教材名「おふろプール」 【ふかめよう】 けんたの気持ちを 考えよう ・ 考えたことを 友だちと 話し合っ，自分の考えを広げましょう。 ○ 教材名「黄色いベンチ」 ・ みんなの場所の つかいかたについて，話し合います。 </td> </tr> </tbody> </table>		学年	具体例	1	○ はなしあったり，えんぎしたり，かいたりしてかんがえるよ。 ○ 教材名「じゃんけんぼん」 【ふかめよう】 みんなと たのしく ドッジボール ・ じぶんの かんがえを ちかくの ともだちと はなして みましよう。 ○ 教材名「はりきり いちねんせい」 ・ どの かばおさんが すてきか， はなしあいましょう。	2	○ 話し合ったり，えんぎしたり，書いたりして考えるよ。 ○ 教材名「おふろプール」 【ふかめよう】 けんたの気持ちを 考えよう ・ 考えたことを 友だちと 話し合っ，自分の考えを広げましょう。 ○ 教材名「黄色いベンチ」 ・ みんなの場所の つかいかたについて，話し合います。
	学年	具体例						
	1	○ はなしあったり，えんぎしたり，かいたりしてかんがえるよ。 ○ 教材名「じゃんけんぼん」 【ふかめよう】 みんなと たのしく ドッジボール ・ じぶんの かんがえを ちかくの ともだちと はなして みましよう。 ○ 教材名「はりきり いちねんせい」 ・ どの かばおさんが すてきか， はなしあいましょう。						
2	○ 話し合ったり，えんぎしたり，書いたりして考えるよ。 ○ 教材名「おふろプール」 【ふかめよう】 けんたの気持ちを 考えよう ・ 考えたことを 友だちと 話し合っ，自分の考えを広げましょう。 ○ 教材名「黄色いベンチ」 ・ みんなの場所の つかいかたについて，話し合います。							

学研	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「少ない人数で話し合ってみよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ しっかりうなずいて聞こう。 ・ 友だちの目を見て話そう。 ○ 教材名「絵葉書と切手」 <ul style="list-style-type: none"> 【やってみよう】話し合ってみよう ① となりの人と ② 四、五人のグループで ③ クラス全体で ④ クラスを二つのグループに分けて ○ 教材名「目の見えない犬」 <ul style="list-style-type: none"> 【つなげよう】ささえられている命 ・ あなたの命は、どんな人たちにささえられていると思いますか。みんなで話し合ってみましょう。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「少ない人数で話し合ってみよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ しっかりうなずいて聞こう。 ・ 友達の目を見て話そう。 ○ 教材名「百点を十回取れば」 <ul style="list-style-type: none"> 【深めよう】てつろうの気持ちを考えよう ・ グループや学級で、考えたことを話し合ってみましょう。 ○ 教材名「ヘレン・ケラー物語」 <ul style="list-style-type: none"> 【つなげよう】だれとでも仲よく ・ 自分の好ききらいなどによって、知らないうちに不公平なたいどでせつして、相手にいやな思いをさせていませんか。みんなで話し合ひましょう。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「語り合い、考えを練ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人や、クラスのみなどと話し合う。 ○ 教材名「人生という教科」 <ul style="list-style-type: none"> 【つなげよう】これからの自分について考える ・ あなたの考える「責任」とはどんなものですか。話し合ってみましょう。 ○ 教材名「植物とともに 牧野富太郎」 <ul style="list-style-type: none"> 【深めよう】真のすがたを求めて ・ グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「語り合い、考えを練ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの人や、クラスのみなどと話し合う。 ○ 教材名「チョモランマ清掃登山隊」 <ul style="list-style-type: none"> 【深めよう】自然と共存するために ・ グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。 ○ 教材名「ラグビー日本代表のかがやき」 <ul style="list-style-type: none"> 【深めよう】チームの一員として ・ 廣瀬さんの思いや行動の中で、特に心に残ったことはどんなことですか。友達と話し合ってみましょう。

- ・ オリエンテーションのページに、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントを示している。
- ・ 「学び方のページ」の中の「深めよう」のページに学習展開を示し、学習活動の一つとして話し合い活動を位置付けている。

廣あか
つき

学年	具体例
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どうとくの じかんは えや しゃしんを みたり はなしを よんだり して かんじた ことや かんがえた ことを ともだちと はなしあう たのしい じかんです。」 ○ 教材名「うさぎと かめ」 「かんがえよう はなしあおう」 ・かめさんは、どうして かけっこに かてたのでしょうか。 ・じぶんの しなければ ならない べんきょうや しごとには、どんな ものがありますか。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで 考えて 話し合しましょう」 みんなで 考えて 話し合うと、ひとりで 考えた ときとはちがう 新しい 考えが うかぶ ことがあります。いろいろな 人の 考えを 聞いて 話し合う ことが 大切です。 ○ 教材名「るっぺ どう したの」 「考えよう 話し合おう」 ・あさねぼうを しないためには、るっぺは どうすれば よいのでしょうか。 ・るっぺに 教えて あげたい ことは なんですか。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで考え、話し合しましょう」 みんなで考え、話し合うことで、一人で考えたときとはちがう新しい見方や考え方がうかぶことがあります。頭と心をやわらかくして、いろいろな人の考えを聞き、話し合ってみましょう。それからもう一度、じっくりと自分の考えをまとめてみましょう。 ○ 教材名「やくそくやきまりを守って」 「考えよう 話し合おう」 ・みなさんの学校や学級に「あったらいいな」と思う新しいきまりはありますか。「なぜ、ひつようなのか」を考えながら、出し合ってみましょう。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで考え、話し合しましょう」 みんなで考え、話し合うことによって、一人では思いつかなかったような新たな見方や考え方がうかぶ場合があります。最初から決めつけず、いろいろな考えを出し合う中で他の人からも学び、自分の考えをいっそう深めましょう。 ○ 教材名「目覚まし時計」 「考えよう 話し合おう」 ・度をすぎさない節度ある生活をするためには、どんな心が大切なのでしょうか。

<p>廣あか つき</p>	5	<p>○ 「みんなで考え、話し合いましょう」 みんなで考え、話し合うことによって、物事をさまざまな側面から考えることができたり、新しいものの見方を得られたりすることがあります。話し合いという協働的な学習を通してたがいに学び合い、いっそう自分の考えを深めましょう。</p> <p>○ 教材名「ちゃんとやれよ、健太」 「考えよう 話し合おう」 ・「ぼく」になったつもりで、健太をはげますメールの文章を書いてみましょう。また、友達と文章を交かんし合っ、メールを受け取った相手がどのような気持ちになるか、話し合ってみましょう。</p>
	6	<p>○ 「みんなで考え、話し合いましょう」 みんなで考え、話し合うことによって、物事をさまざまな側面から考えることができたり、新しいものの見方を得られたりすることがあります。話し合いという協働的な学習を通して物事を多面的・多角的にとらえ、いっそう自分の考えを深めましょう。</p> <p>○ 教材名「おばあちゃんの指定席」 「考えよう 話し合おう」 ・相手の立場に立つことはとても難しいことですが、ふだんの生活の中ではどのようなことを心がければよいと考えますか。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションのページで、話し合いの意義やポイントに触れている。 ・ 教材の終わりに、「考えよう 話し合おう」を設定している。 	

【小学校「特別の教科 道徳」】

観点	言語活動の充実
視点	⑫自分の考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方法	○自分の考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫と具体例

発行者	調査・研究内容		
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	まとめや振り返りの頻度等	具体例
東書	<p>【第1学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「がくしゅうのふりかえり」 【授業34時間分、長期休業前に記述する欄 2箇所】</p> <p>○ 「かがやくじぶんに」 【記述欄2箇所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がくしゅうが おわったら、ふうせんにいるをぬろう。 ・こころにのこったおはなしはどれかな。それはどうしてかな。わけもかこう。 ・1ねんせいになつてからのことをおもいだしてみよう。 ・どんな2ねんせいになりたいかな。
	<p>【第2学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「学しゅうのふりかえり」 【授業14時間分、長期休業前に記述する欄 3箇所】</p> <p>○ 「これからもかがやくじぶんに」 【記述欄2箇所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こころにのこったおはなし、かんじたことやかんがえたことなどをかいておこう。 ・2年生になつてからのことをおもいだしてみよう。 ・どんな3年生になりたいかな。
	<p>【第3学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「学しゅうのふりかえり」 【授業14時間分、長期休業前に記述する欄 3箇所】</p> <p>○ 「これからもかがやく自分に！」 【記述欄2箇所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうとくの学しゅうをふりかえろう。心にのこったお話や友だちのいけん、かんじたことや考えたことなどを書いておこう。 ・3年生になつてからのことを思い出してみよう。 ・どんな4年生になりたいかな。

東書	<p>【第4学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 巻末に、心に残った教材や1年間の自分の振り返りや、これからめざしたいことを記録する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「学習のふり返し」 【授業14時間分、長期休業前に記述する欄 3箇所】</p> <p>○ 「これからもかがやく自分に！」 【記述欄2箇所】</p> <p>○ 「学習のふり返し」 【授業14時間分、長期休業前に記述する欄 3箇所】</p> <p>○ 「これからもかがやく自分に！」 【記述欄2箇所】</p> <p>○ 「学習のふり返し」 【授業14時間分、長期休業前に記述する欄 3箇所】</p> <p>○ 「これからもかがやく自分に！」 【記述欄2箇所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとつの学習をふり返ろう。心にのこったお話や友だちの意見、感じたことや考えたことなどを書いておこう。 ・ 4年生になってからのことを思い出してみよう。 ・ 5年生になる自分にメッセージを書こう。 ・ 道徳の学習をふり返ろう。心に残った話や友達の見解、考えたことや学んだこと、これからの生活や学習に生かしていきたいことなどを書いておこう。 ・ 5年生になってからのことを思い出してみよう。 ・ 6年生になる自分にメッセージを書こう。 ・ 道徳の学習をふり返ろう。心に残った話や友達の見解、考えたことや学んだこと、これからの生活や学習に生かしていきたいことなどを書いておこう。 ・ 6年生になってからのことを思い出してみよう。 ・ 中学生になる自分にメッセージを書こう。
学図	<p>【第1学年】</p> <p>○ 巻末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設けている。</p> <p>【第2学年】</p> <p>○ 巻末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設け</p>	<p>○ 「ひとつの学しゅうをふりかえろう」 【毎時間分】</p> <p>○ 「ひとつの学しゅうをふりかえろう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学しゅうの きろく」のらん、学しゅうのかんそうをマーク（こころにのこった…♡ ふかくかんだ…☆）でかいたり、学しゅうした日にちをかいたりして、学しゅうをふりかえりましょう。 ・ 「学しゅうの きろく」のらん、学しゅうのかんそうをマーク

学 図	<p>ている。</p> <p>【第3学年】</p> <p>○ 卷末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設けている。</p> <p>【第4学年】</p> <p>○ 卷末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設けている。</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 卷末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設けている。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 卷末に学習の感想をマークで描いたり、学習した日にちを書いたりして、学習を振り返る欄を設けている。</p>	<p>【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくの学習をふり返ろう」 【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくの学習をふり返ろう」 【毎時間分】</p> <p>○ 「道徳の学習をふり返ろう」 【毎時間分】</p> <p>○ 「道徳の学習をふり返ろう」 【毎時間分】</p>	<p>(心に のこった…♡、ふかく 考えた…☆) でかいたり、学習した日にちを書いたりして、学習をふりかえりましょう。</p> <p>・「学習のきろく」のらんに、学習の感想をマーク (心にのこった…♡、深く考えた…☆) でかいたり、学習した日にちを書いたりして、学習をふりかえりましょう。</p> <p>・「学習の記録」のらんに、学習の感想をマーク (心に残った…♡、深く考えた…☆) でかいたり、学習した日にちを書いたりして、学習をふりかえりましょう。</p> <p>・「学習の記録」のらんに、学習の感想をマーク (心に残った…♡、深く考えた…☆) でかいたり、学習した日にちを書いたりして、学習をふりかえりましょう。</p>
	教 出	<p>【第1学年】</p> <p>○ 卷末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。「いえの人から ひとこと」、「先生から ひとこと」の欄がある。</p> <p>【第2学年】</p> <p>○ 卷末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入す</p>	<p>○ 「一年かんの どうとくの 学しゅうを ふりかえろう」 【記述欄3箇所】</p> <p>○ 「一年間のどう</p>

<p>る、振り返りのページを設けている。「家の人から一言」、「先生から一言」の欄がある。</p> <p>【第3学年】</p> <p>○ 巻末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。「家の人から一言」、「先生から一言」の欄がある。</p> <p>【第4学年】</p> <p>○ 巻末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。「家の人から一言」、「先生から一言」の欄がある。</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 巻末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。「家の人から一言」、「先生から一言」の欄がある。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 巻末に、1年間の道徳の学習で一番心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。「家の人から一言」、「先生から一言」の欄がある。</p>	<p>とくの学しゅうをふりかえろう」 【記述欄3箇所】</p> <p>○ 「一年間のどうとくの学習をふり返ろう」 【記述欄3箇所】</p> <p>○ 「一年間のどうとくの学習をふり返ろう」 【記述欄3箇所】</p> <p>○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 【記述欄3箇所】</p> <p>○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 【記述欄3箇所】</p>	<p>心にのこったのは、どの時間でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年間で、がんばれたことは、どんなことですか。 ・三年生になって、がんばりたいことは、なんですか。 ・一年間のどうとくのじゅ業で、いちばん心にのこったのはどの時間でしたか。 ・一年間で、自分の考え方や行動がどのようにかわりましたか。 ・四年生になって、がんばりたいことはなんですか。 ・一年間のどうとくのじゅ業で、いちばん心に残ったのはどの時間でしたか。 ・一年間で、自分の考え方や行動がどのように変わりましたか。 ・五年生になって、がんばりたいことはなんですか。 ・一年間の道徳の授業で、いちばん心に残ったのはどの時間でしたか。 ・一年間で、自分の心はどのように成長しましたか。 ・六年生になって、がんばりたいことはなんですか。 ・一年間の道徳の授業で、いちばん心に残ったのはどの時間でしたか。 ・一年間で、自分の心はどのように成長しましたか。 ・中学生になって、がんばりたいことはなんですか。
--	--	--

【第1学年】

- 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「まなびのきろく」を記入する、振り返りのページを設けている。また、3学期のみ「まとめ」の欄を設けている。

- 「まなびのきろく」
【6月以降に学習する教材】
- 「まとめ」
【1回分】

- ・ とうとくの じかんに がくしゅうした ことを きろくしよう。
- ・ きょうの どうとくの じかんは、たのしかったと おもったら、マークをぬろう。
- ・ きょうの どうとくの じかんは、たくさん かんがえられたなど おもったら、マークをぬろう。
- ・ きょうの どうとくの じかんは、ともだちの はっぴょうを よく きけたなど おもったら、マークをぬろう。

【第2学年】

- 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びのきろく」と共に、自分の学びの変化や学んだことで生かしたいことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。

- 「学びのきろく」
【毎時間分】

- ・ 楽しかったと思ったら、マークをぬりましょう。
- ・ たくさん 考えられたなど と思ったら、マークをぬりましょう。
- ・ 友だちの はっぴょうを よく 聞いたなど と思ったら、マークをぬりましょう。

- 「まとめ」
【4回分】

- ・ どうとくの時間に 考えたことで、生活に生かしたことを書こう。
- ・ 自分で自分が「かわったな」と思えたことを書こう。

【第3学年】

- 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」と共に、自分の学びの変化や学んだことで生かしたいことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。

- 「学びの記録」
【毎時間分】

- ・ どんなことを学んだかということや、学んだことについての感想などを記録しましょう。

- 「まとめ」
【4回分】

- ・ どうとくの時間に考えたことで、生活に生かしたことを書こう。
- ・ 自分で自分が「かわったな」と思えたことを書こう。

【第4学年】

- 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」と共に、自分の学びの変化や学んだことで生かしたいことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。

- 「学びの記録」
【毎時間分】

- ・ どんなことを学んだかということや、学んだことについての感想などを記録しましょう。

- 「まとめ」
【4回分】

- ・ どうとくの時間に考えたことで、生活に生かしたことを書こう。

<p>光村</p>	<p>【第5学年】</p> <p>○ 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」と共に、自分の学びの変化や学んだことで生かしたいことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」と共に、自分の学びの変化や学んだことで生かしたいことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの記録」 【毎時間分】</p> <p>○ 「まとめ」 【4回分】</p> <p>○ 「学びの記録」 【毎時間分】</p> <p>○ 「まとめ」 【4回分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で自分が「変わったな」と思えたことを書こう。 ・どんなことを学んだかということや、学んだことについての感想などを記録しましょう。 ・道徳の時間に考えたことで、生活に生かしたことを書こう。 ・自分で自分が「変わったな」と思えたことを書こう。 ・どんなことを学んだかということや、学んだことについての感想などを記録しましょう。 ・道徳の時間に考えたことで、生活に生かしたことを書こう。 ・自分で自分が「変わったな」と思えたことを書こう。
<p>日文</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」に学習の自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p> <p>【第2学年】</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」に学習の自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p> <p>【第3学年】</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」に学習の</p>	<p>○ 「きょうのがくしゅうは どうでしたか。あてはまる ところに○を つけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくのがくしゅうで まなんだ ことをかきましよう」 【4回分】</p> <p>○ 「きょうのがくしゅうは どうでしたか。あてはまる ところに○を つけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくのがくしゅうで 学んだ ことを書きましよう。」 【2回分】</p> <p>○ 「今日の学習は</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり かんがえた ・あたらしく きづいたことが あった ・これから たいせつにしたい ことが わかった ・こころに のこった おはなしを かきましよう。その りゆうも かきましよう。 ・しっかり 考えた ・新しく 気づいた ことが あった ・これから たいせつにしたい ことが わかった ・心に のこった お話を 書きましよう。そのりゆうも 書きましよう。 ・しっかり考えた

<p>日文</p>	<p>自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p> <p>【第4学年】</p> <p>○ 別冊「どうとくノート」に学習の自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に学習の自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に学習の自己評価欄や、巻末に道徳の学習で心に残ったことなどを記入する、振り返りのページを設けている。保護者記入欄もある。</p>	<p>どうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくの学習で学んだことを書きましょう。」 【4回分】</p> <p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「どうとくの学習で学んだことを書きましょう。」 【4回分】</p> <p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」 【4回分】</p> <p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 【毎時間分】</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう。」 【4回分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく気づいたことがあった ・これからたいせつにしたいことがわかった ・心にのこったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。 ・しっかり考えた ・新しく気づいたことがあった ・これからたいせつにしたいことがわかった ・心に残ったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。 ・しっかり考えた ・新しく気づいたことがあった ・これからたいせつにしたいことがわかった ・心に残ったお話と、その理由も書きましょう。 ・しっかり考えた ・新しく気づいたことがあった ・これからたいせつにしたいことがわかった ・心に残ったお話と、その理由も書きましょう。
<p>光文</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○ 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「まなびの あしあと」 【毎時間分】</p> <p>○ 「まとめ」 【3回分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・じゅぎゅうのあとで、いまのきもちにあうかおをかきましよう。 ・ひにちをかきましよう。 ・ばんごうをかきましよう。 ・じゅぎゅうでわかったことやかんどうし

【第2学年】

- 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。

【第3学年】

- 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。

【第4学年】

- 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。

【第5学年】

- 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時

- 「まなびのあと」
【毎時間分】

- 「まとめ」
【3回分】

- 「学びの足あと」
【毎時間分】

- 「まとめ」
【3回分】

- 「学びの足あと」
【毎時間分】

- 「まとめ」
【3回分】

- 「学びの足あと」
【毎時間分】

たこと、やってみようとおもったことをかきましよう。

- ・じゅぎゅうのあとで、いまのきもちにあうかおをかきましよう。
- ・日にちをかきましよう。
- ・ばんごうをかきましよう。

- ・じゅぎゅうでわかったことやかんどうしたこと、やってみようとおもったことをかきましよう。

- ・がくしゅうした日づけを書きましよう。
- ・がくしゅうしたきょうざいの番ごうを書きましよう。
- ・じゅぎゅうをうけた後の気もちを、やじるしであらわしましよう。
- ・なぜ、そのようなやじるしにしたのか、わけや、かんじたことを書きましよう。

- ・どうとくで学んだことを、まとめましよう。

- ・学習した日づけを書きましよう。
- ・学習した教材の番号を書きましよう。
- ・授業を受けた後の気持ち、矢印で表しましよう。
- ・なぜ、そのような矢印にしたのか、わけや、感じたことを書きましよう。

- ・どうとくで学んだことを、まとめましよう。

- ・学習した日づけを書きましよう。
- ・学習した教材の番号を書きましよう。

<p>光 文</p>	<p>間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p> <p>【第6学年】</p> <p>○ 巻末に、学習した日付け、教材番号、授業後の心の動きを記録する、振り返りのページを設けている。また、学期末や学年末に、道徳の時間に学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「まとめ」 【3回分】</p> <p>○ 「学びの足あと」 【毎時間分】</p> <p>○ 「まとめ」 【3回分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で受けた後の気持ちを、矢印で表しましょう。 ・なぜ、そのような矢印にしたのか、わけや、感じたことを書きましょう。 ・道徳で学んだことを、まとめましょう。 ・学習した日付けを書きましょう。 ・学習した教材の番号を書きましょう。 ・授業で受けた後の気持ちを、矢印で表しましょう。 ・なぜ、そのような矢印にしたのか、わけや、感じたことを書きましょう。 ・道徳で学んだことを、まとめましょう。
<p>学 研</p>	<p>【第1学年】</p> <p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第2学年】</p> <p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第3学年】</p> <p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第4学年】</p> <p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第5学年】</p> <p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p> <p>【第6学年】</p>	<p>○ 「こころの た からもの」 【記述欄5箇所】</p> <p>○ 「心のたから もの」 【記述欄5箇所】</p> <p>○ 「心のたから 物」 【記述欄5箇所】</p> <p>○ 「心のたから 物」 【記述欄5箇所】</p> <p>○ 「心の宝物ー学 びの足あとー」 【記述欄5箇所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうとくの がくしゅうをして、こころにふえた たからものやこころに のこったおはなしを かいて おきましょう。 ・どうとくの学習をして、心にふえたたからものや、心にのこった話を書いておきましょう。 ・どうとくの学習をして、心にふえたたから物や、心にのこった話を書いておきましょう。 ・道徳の学習をして、心にふえたたから物や、心に残った話を書いておきましょう。 ・道徳の学習をして、心に増えた宝物や、心に残った話を書いておきましょう。

<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に道徳の学習を通して、心に残ったことや話などを記入する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「心の宝物一学 びの足あと」 【記述欄5箇所】</p>	<p>・道徳の学習をして、心に増えた宝物や、心に残った話を書いておきましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>【第1学年】 ○ 別冊「どうとくノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。 「先生や いえの 人に見てもらった きろく」という欄もある。</p> <p>【第2学年】 ○ 別冊「どうとくノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。 「先生や 家の 人に見てもらった 記ろく」という欄もある。</p> <p>【第3学年】 ○ 別冊「どうとくノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。 「先生や家の人に見てもらった記</p>	<p>○ 「きょうの じゅぎょうで かんじた ことや かんがえた ことを かきましょう。」 【内容項目ごとに 授業2時間分】</p> <p>○ 「こころに のこっている じゅぎょうの きろく」 【4回分】</p> <p>○ 「かんじた ことや かんがえた こと」 【5回分】</p> <p>○ 「こころのしおり」 【毎時間分】 【内容項目ごと】</p> <p>○ 「きょうの じゅぎょうで かんじた ことや 考えた ことを 書きましょう。」 【内容項目ごとに 授業2時間分】</p> <p>○ 「心に のこっている じゅぎょうの 記ろく」 【4回分】</p> <p>○ 「かんじた ことや 考えた こと」 【5回分】</p> <p>○ 「心のしおり」 【毎時間分】 【内容項目ごと】</p> <p>○ 「今日のじゅ業で感じたことや考えたことを書きましょう。」 【内容項目ごとに 授業2時間分】</p> <p>○ 「心にのこっているじゅ業の記ろく」</p>	

ろく」という欄もある。

【第4学年】

- 別冊「どうとくノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。「先生や家の人に見てもらった記録」という欄もある。

【第5学年】

- 別冊「道徳ノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。「先生や家の人に見てもらった記録」という欄もある。

【4回分】

- 「学習の記録く」

【5回分】

- 「心のしおり」

【毎時間分】

【内容項目ごと】

- 「今日のじゅ業で感じたことや考えたことを書きましよう。」

【内容項目ごとに授業2時間分】

- 「心に残っているじゅ業の記録」

【4回分】

- 「話し合い活動の記録」

【3回分】

- 「体験活動の記録」(自然体験活動、ボランティア活動、他の学年との交流、地いき交流など)

【2回分】

- 「学習の記録」

【6回分】

- 「心のしおり」

【毎時間分】

【内容項目ごと】

- 「今日の授業で感じたことや考えたことを書きましよう。」

【内容項目ごとに授業2時間分】

- 「心に残っている授業の記録」

【8回分】

- 「話し合い活動の記録」

【4回分】

- 「体験活動の記録」(ボランティア活動、自然体験活動、集団宿泊活動など)

【4回分】

- 「学習の記録」

- ・心に残っている理由
- ・自分の考えを伝え、他の人の考えを聞くなどの話し合い活動を通して
- ・感じたことや考えたこと
- ・感じたことや考えたこと
- ・心に残っている理由
- ・自分の考えを伝え、他の人の考えを聞くなどの話し合い活動を通して
- ・感じたことや考えたこと

<p>廣あかつき</p>	<p>【第6学年】</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」に、道徳の時間に感じたことや考えたことを書くページや、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、自己評価したり、内容項目ごとの振り返りをしたりする折り込みを設けている。「先生や家の人に見てもらった記録」という欄もある。</p>	<p>【6回分】</p> <p>○ 「心のしおり」 【毎時間分】 【内容項目ごと】</p> <p>○ 「今日の授業で感じたことや考えたことを書きましよう。」 【内容項目ごとに授業2時間分】</p> <p>○ 「心に残っている授業の記録」 【8回分】</p> <p>○ 「話し合い活動の記録」 【4回分】</p> <p>○ 「体験活動の記録」(ボランティア活動、自然体験活動、集団宿泊活動など) 【4回分】</p> <p>○ 「学習の記録」 【6回分】</p> <p>○ 「心のしおり」 【毎時間分】 【内容項目分】</p>	<p>・感じたことや考えたこと</p> <p>・心に残っている理由</p> <p>・自分の考えを伝え、他の人の考えを聞くなどの話し合い活動を通して</p> <p>・感じたことや考えたこと</p> <p>・感じたことや考えたこと</p>
--------------	---	---	---